Nikon

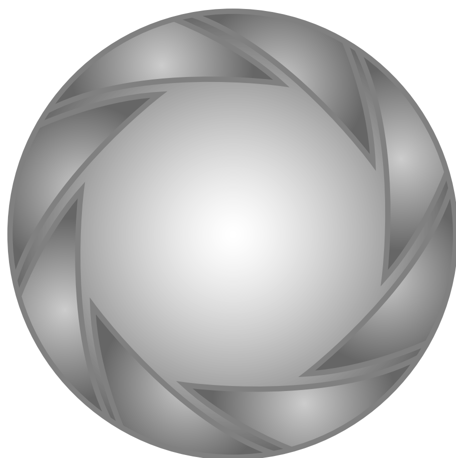
Jp

ニコンデジタルカメラ

COOLPIX 4500

クールピクス4500

COOLPIX 4500 (Jp)



使用説明書

操作の流れと簡単参照ガイド

カメラの準備をする



撮影する



再生する



…削除する

ソフトウェアをインストールする



撮影した画像を楽しむ

COOLPIX4500 のマニュアルについて
クールピクス

COOLPIX4500には次の説明書が付属しています。製品をご使用になる前にこれらの説明書をよくお読みいただき、内容をご理解のうえ、正しくお使いください。

クイックスタートガイド
クイックスタートガイドは、COOLPIX 4500での撮影・再生から、撮影した画像をパソコンに転送するまでの基本操作をステップごとに簡単に紹介しています。

使用説明書
使用説明書は、COOLPIX4500の操作方法と撮影した画像の楽しみ方について基本操作から応用まで順を追って詳しく説明しています。

Nikon View 5 リファレンスマニュアル（CD-ROM）
Nikon View 5リファレンスマニュアルは、COOLPIX4500に付属しているCD-ROM内に収録されています。Nikon View 5リファレンスマニュアルの読み方については、この使用説明書の「撮影した画像をパソコンに転送する」をご覧ください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

	△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合はプラグをコンセントから抜く)が描かれています。

 警告（カメラについて）



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止



すぐに修理依頼を

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

電池、電源を抜いて、販売店または当社サービス部門に修理を依頼してください。


電池を取る


すぐに修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
電池を取り出す際、やけどに十分注意してください。
電池を抜いて、販売店または当社サービス部門に修理を依頼してください。


水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。


使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。


見ないこと

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。


発光禁止

車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと

事故の原因となります。


発光禁止

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。
特に乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。


保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。
万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。


警告

ストラップが首に巻き付かないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息の原因となります。


警告

指定の電池または専用 AC アダプタを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。


使用禁止

AC アダプタ使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

 感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
 保管注意	**製品は幼児の手の届かないところに置くこと** ケガの原因になることがあります。
 保管注意	**使用しないときは、レンズにキャップをつけるか、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
 移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。
 使用注意	**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。 病院で使う際も、病院の指示に従ってください。
 禁止  プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池や AC アダプタ）を外すこと** 電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 AC アダプタで使用されている場合には、AC アダプタを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
 禁止	**本機器や AC アダプタは布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
 放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠ 警告（リチウム電池について）

 禁止	電池を火に入れたり、加熱しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 分解禁止	電池をショート、分解しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 警告	電池に表示された警告・注意を守ること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 警告	使用説明書に表示された電池を使用すること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 水かけ禁止	水につけたり、ぬらさないこと 液もれ、発熱の原因となります。
 保管注意	電池は幼児の手の届かない所に置くこと 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
 禁止	充電式電池以外は充電しないこと 液もれ、発熱の原因となります。
 警告	電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

⚠ 危険（専用リチウムイオン充電池について）

 禁止	電池を火に入れたり、加熱しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 分解禁止	電池をショート、分解しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 危険	専用の充電器を使用すること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 危険	ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは端子カバーをつけてください。
 使用禁止	リチャージャブルバッテリーEN-EL1は、ニコンデジタルカメラ専用の充電式電池で、COOLPIX4500に対応しています。EN-EL1に対応していない機器には使用しないこと。 液もれ、発熱の原因となります。

⚠ 警告（専用リチウムイオン充電池について）

 保管注意	電池は幼児の手の届かない所に置くこと 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
 水かけ禁止	水につけたり、ぬらさないこと 液もれ、発熱の原因となります。
 警告	変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと 液もれ、発熱の原因となります。
 警告	充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること 液もれ、発熱の原因となります。
 警告	電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。

ご確認ください

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっております。「ご愛用者氏名」および「住所」「ご購入年月日」「ご購入店」がすべて記入された保証書を必ずお受け取りください。「保証書」をお受け取りになりませんと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。もし、お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行）を行う前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能するかを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

● DCFについて

COOLPIX4500は、Design rule for Camera File system（DCF）に準拠しています。DCFは、各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のレンズ、スピードライト、バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプタなどのアクセサリーに適合するように作られておりますので、当社製品との組み合せでご使用ください。

- 他社製品との組み合せ使用により、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●デジタルカメラの特性について

きわめて希なケースとして、液晶モニタに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。万一このような状態になった場合は、電源スイッチをOFFにして電池を入れ直し、電源スイッチをONにしてカメラを作動させてみてください。その際、カメラを長時間使用していますと電池が熱くなっていることがありますので、取り扱いには十分にご注意ください。ACアダプタをご使用時は、いったんカメラから取りはずして再度カメラに取り付け、電源スイッチをONにしてカメラを作動させてみてください。また、この操作を行うことでカメラが作動しなくなった状態の時のデータは、失われるおそれがありますが、すでにコンパクトフラッシュカードに記録されているデータは失われることはありません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、当社サービス部門にお問い合わせください。

目次

ご使用になる前に


はじめに


各部の名称と機能


撮影前の準備

この章は次の３部で構成されています。

はじめに（ 2～3）
この使用説明書の構成と使用している記号について記載しています。

各部の名称と機能（ 4～8）
COOLPIX4500の各部の名称と機能について記載しています。

撮影前の準備（ 9～16）
カメラをご使用になる前に、準備する内容を説明しています。

ステップ１	ストラップを取り付けます		9
ステップ２	バッテリーを入れます		10～12
ステップ３	コンパクトフラッシュカードを入れます		13～14
ステップ４	日付と時刻を設定します		15～16

はじめに

このたびはニコンデジタルカメラCOOLPIX4500をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この使用説明書はデジタルカメラCOOLPIX4500で撮影をお楽しみいただくために必要な情報を記載しています。ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、十分に理解してから正しくお使いください。

この使用説明書は、基本操作から応用操作へと順を追って理解していただくため、下記のように構成されています。

「ご使用になる前に」では、この使用説明書で使用しているマーク、カメラ各部の名称と機能などを説明しています。

「基本操作」では、COOLPIX4500の基本的な撮影・再生方法を紹介しています。デジタルカメラを初めてお使いになる方でも、ここを順にお読みいただければ、手軽に撮影をお楽しみいただけます。

「撮影画像の楽しみ方」では、撮影した画像をパソコンに取り込んだり、テレビに映したりするなど、撮影した画像の簡単な楽しみ方を紹介しています。

「撮影機能の詳細」では、撮影に関する詳細な機能について説明しています。

「再生機能の詳細」では、画像の再生に関する詳細な機能について説明しています。

「メニュー画面」ではカメラのさまざまな設定ができるメニュー画面について説明しています。

「付録」ではカメラのお手入れ方法や別売アクセサリー、トラブル発生時の対処法などについて説明しています。

本文中のマークについて

この使用説明書は、次のマークを使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。

	カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。		カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。
	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。		関連情報を記載した参照ページを記載しています。

 カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

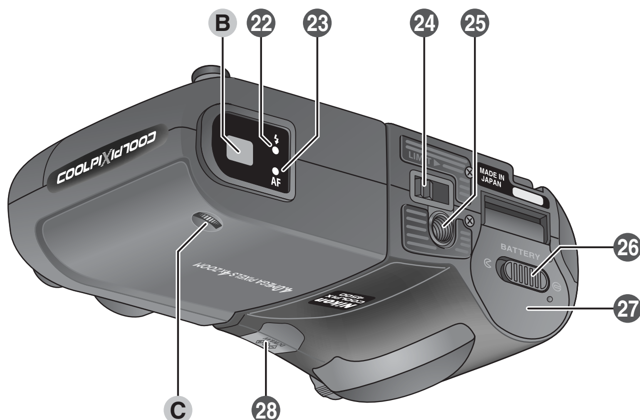
各部の名称と機能



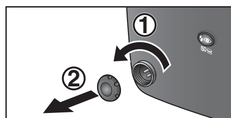
カメラ本体の名称や機能について紹介します。詳しい説明は各部の右側に記載しているページをご参照ください。

カメラ本体

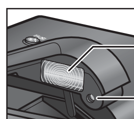
1	セルフタイマーランプ	65
2	レンズ	9、166
3	▯（液晶モニタ）ボタン	25
4	マイク	76、86
5	▶（クイックレビュー/再生）ボタン	29
6	MODE（露出モード）ボタン	47
	SMALL PIC.（スモールピクチャー）ボタン	83
7	電源ランプ	18、28
8	シャッターボタン	26
9	電源スイッチ	18、28
10	コマンドダイヤル	
11	オーディオビデオ出力端子（カバー下）	43
12	USB 端子（カバー下）	38
13	ズームボタン（▦/🔍）	32、69、82
14	コンパクトフラッシュカードカバー	13
15	スピーカー	85、86
16	ストラップ取り付け部（2 カ所）	9
17	MENU（メニュー）ボタン	48、97
18	（フォーカスモード）ボタン	64
	MF（マニュアルフォーカス）ボタン	68
	🗑（削除）ボタン	31、32、79、86



19	(スピードライトモード) ボタン 72
	ISO（感度変更）ボタン 78
20	増灯ターミナル 74
	増灯ターミナルキャップの外し方



21	内蔵スピードライト ....22、71
	内蔵スピードライトが上がった状態



22	スピードライトランプ.......... 7、27
23	AF ランプ.............................. 7、27

24	スイバルリミットレバー 21
25	三脚ネジ穴
26	バッテリーカバー開閉ノブ 10
27	バッテリーカバー 10
28	DC 入力端子カバー 12

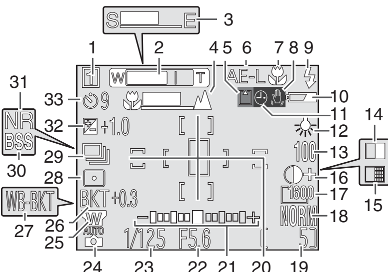
A	液晶モニタ .... 6、25
B	ファインダー 7
C	視度補正ダイヤル 8
D	FUNC/ (露出補正) ボタン ..... 8、77、136
	音声メモボタン 86
E	マルチセレクター ..... 8、97、121



表示と各部詳細

A 液晶モニタ

撮影時、液晶モニタには撮影する画像およびカメラの設定内容が表示されます。撮影モード時に液晶モニタに表示されるカメラの設定状態は次の通りです。



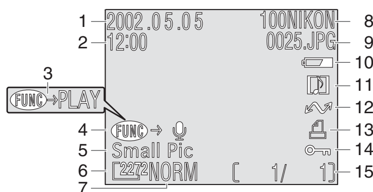
1	カスタム No.	114
2	ズーム表示	69
3	UH 連写進行表示	106
4	マニュアルフォーカスインジケーター	68
5	画像記録中表示	28
6	露出固定（AE ロック）マーク	56、119、137
7	フォーカスモード	63
8	手ブレ警告	49
9	スピードライトモード	71
10	バッテリーチェック[1]	18
11	時計マーク[2]	15
12	ホワイトバランス	101
13	感度変更モード[3]	78
14	モノクロモード	110
15	セピアモード	110
16	階調補正	109
17	画像サイズ	112
18	画質モード	111
19	カウンタ（撮影可能コマ数） 動画時間表示	18 76
20	測光エリア /AF エリア	104、121
21	露出インジケータ	61
22	絞り値	59、60
23	シャッタースピード	58、60
24	露出モード / シーンモード	46、48
25	コンバータ	116
26	ブラケティングマーク	128
27	ホワイトバランスブラケティングマーク	128
28	測光方式	104
29	連写モード	105
30	BSS	108
31	ノイズ除去	130
32	露出補正マーク / 露出補正値	77、120
33	セルフタイマー / カウントダウン表示	65

1) バッテリー残量が少なくなった場合に表示されます。

2) 日時が設定されていない場合に点滅します。

3) AUTO以外で表示されます。AUTOにセット時にカメラが自動的に感度を上げているときは、ISO マークが表示されます。

再生時に液晶モニタには、撮影された画像および画像情報が表示されます。表示される画像情報は次の通りです。

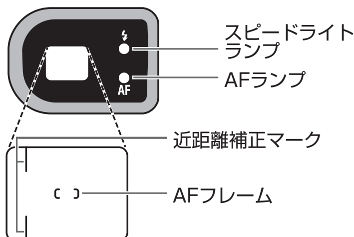


1	撮影日付	15
2	撮影時刻	15
3	音声メモ再生ガイド	86
4	音声メモ録音ガイド	86
5	スモールピクチャー表示	83
6	画像サイズ	112
7	画質モード	111
8	フォルダ名	149
9	ファイル名	87
10	バッテリーチェック *	18
11	音声メモ表示	86
12	転送マーク	161
13	プリント表示	159
14	プロテクト表示	157
15	表示画像番号 / 選択されているフォルダで表示可能な総画像コマ数	149

* バッテリー残量が少なくなった場合に表示されます。

B ファインダー

COOLPIX4500 は光学ファインダーを装備しています。明るい場所で液晶モニタが見えにくいときや、バッテリーの残量が気になる場合などにはファインダーを使った撮影をおすすめします。



- カメラと被写体との距離が 90cm 以内で撮影する場合は、ファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲にズレが生じますので、ファインダー内の近距離補正マークを使用するか、液晶モニタで構図を確認してください。近距離補正マークは、約 60cm の距離で撮影した場合に写る範囲を表しています。
- 電子ズームを使用する場合 (☞ 70)、別売のコンバータを使用する場合 (☞ 164)、3:2の画像サイズで撮影する場合 (☞ 112) は、ファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲が異なりますので、液晶モニタで構図を確認してください。

スピードライトランプ・AF ランプ

ファインダー横のスピードライトランプでスピードライトの状態を、AF ランプでピントの状態を確認することができます。





C 視度補正ダイヤル



ファインダーの視度が合わず、被写体が見えにくい場合には、ファインダーの視度を調整することができます。被写体がいちばんよく見える位置まで視度補正ダイヤルを回してください。

D FUNC ボタン



カメラを初めてご使用になる場合（初期設定）には、撮影時には露出補正ボタン（ 77）、再生時には音声メモボタン（ 86）として機能します。ただし、セットアップメニューの「FUNC」により、他の機能に割り当てることができます（ 136）。

E マルチセレクター



マルチセレクターは▲（上）/▼（下）/◀（左）/▶（右）の4方向に倒すことができ、中央部を押すと決定ボタンとして機能します。

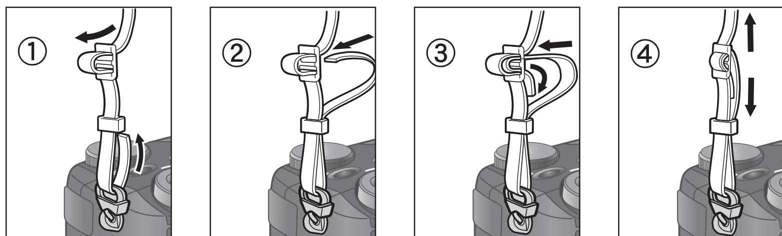
メニュー画面の操作（ 97）や、AFエリアの選択（ 121）、表示画像の切り換えや選択などに使用します。

撮影前の準備

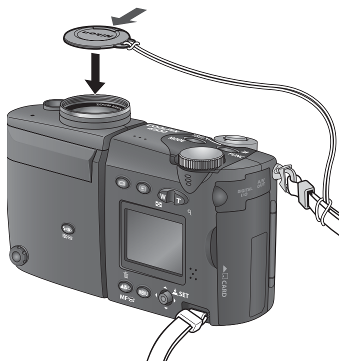
撮影前の準備を行います。

ステップ 1：ストラップを取り付けます

カメラの落下を防止するため、図のようにストラップをストラップ取り付け部（2 カ所）に取り付け、使用してください。



- レンズキャップの紛失を防止するため、付属のひもをレンズキャップの穴に通して、ストラップに結んでおくことをおすすめします。
- レンズキャップを本体に取り付けたり取り外したりするときは、レンズキャップのレバーを押し込んでください。



ステップ 2：バッテリーを入れます

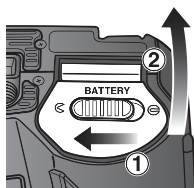
このカメラは、付属の専用Li-ionリチャージャブルバッテリー（リチウムイオン充電池）EN-EL1 または市販の6V リチウム電池（2CR5）を1 個使用します。

2.1 リチャージャブルバッテリーを充電します。

- 付属のバッテリーEN-EL1はフル充電されていません。はじめてご使用になるときやバッテリーの残量が少なくなったときは、付属のチャージャーでバッテリーをフル充電してからご使用ください。充電方法は付属のチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- 市販の6Vリチウム電池（2CR5）は充電できません。

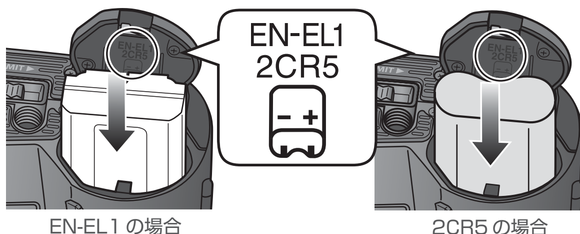
2.2 バッテリーカバーを開けます。

- バッテリー開閉ノブを⊂側にスライドさせて（①)、バッテリーカバーを開けます（②)。



2.3 バッテリーを入れます。

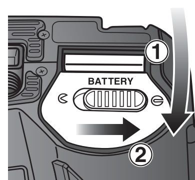
- バッテリーカバー裏面にある図に合わせて、＋と－の方向を正しく入れてください。
- 市販の6Vリチウム電池（2CR5）の場合も同じ向きで入れます。
- バッテリー、または電池を入れたときに電源ランプが一瞬点灯後、消灯します。



EN-EL1 の場合　　2CR5 の場合

2.4 バッテリーカバーを閉じます。

- バッテリーカバーを閉じて（①）、バッテリー開閉ノブを⊖側にスライドさせます（②）。
- カメラを操作中にバッテリーが落ちないように、カバーがしっかりと閉じていることを確認してください。



バッテリーについてのご注意

- 専用リチャージャブルバッテリー EN-EL1 の取り扱いについてはバッテリーの使用説明書をご覧ください。また、バッテリーを入れる際は、「安全上のご注意」の「警告」、「危険」（ ii ～ vi）や「バッテリーの取り扱いについて」（ 168）の注意事項をお守りください。
- バッテリーの特性上、残量がなくなったバッテリーを再度カメラに入れた場合、バッテリーの残量が十分な状態（バッテリー表示が何も表示されない状態）を示すことがありますのでご注意ください。
- バッテリー残量のなくなったリチャージャブルバッテリーおよび 6 V リチウム電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチの ON/OFF 切り換えを繰り返さないでください。
- カメラの使用直後にはバッテリーが熱くなっていることがあります。バッテリーを取り出す場合は、カメラの電源を OFF にしてバッテリーの温度が下がるのを待ってから取り出してください。
- カメラを三脚に取り付けた状態でバッテリーの交換はできません。

バックアップ電池について

COOLPIX4500はバッテリーとは別にバックアップ電池を内蔵しており、一時的に電源が供給されない状態でも日時などを記憶しています。このバックアップ電池はバッテリーやACアダプタでカメラに電源が供給されているときに、約10時間で充電されます。充電が完了すると、カメラのバッテリーを取りはずしたり、ACアダプタをはずしても、記憶された日時は約3日間保持されます。

購入時や、長時間電源が供給されなかったときなどは、設定内容が消去されますので、再度日時を設定してください。

- 充電が不十分な場合は、一度セットした日時データが失われることがあります。
- 日時の設定が消去されると液晶モニタに時計マーク（）が点滅します（15）。

使用できる電源について

- リチャージャブルバッテリーEN-EL1の代わりに市販の6Vリチウム電池（2CR5）が1個使用できます。
- カメラを長時間ご使用になる場合は別売のACアダプタEH-53、またはACアダプタ/バッテリーチャージャーEH-21のご使用をおすすめします。ACアダプタを使用すると家庭用電源（AC100V）からカメラへ電源を供給することができます。



ACアダプタを使用する場合はカメラのDC入力端子にACアダプタのDCプラグを差し込みます。

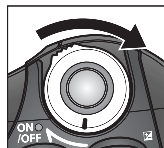
ステップ 3：コンパクトフラッシュカードを入れます

COOLPIX4500は画像データをコンパクトフラッシュカードに記録します。

3.1 カメラの電源が OFF になっていることを確認します。

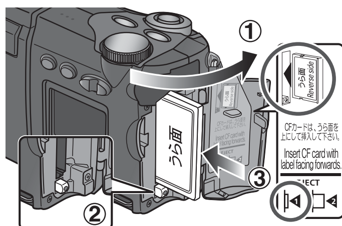
電源ランプが消灯していることを確認してください。

- 電源スイッチは、OFFの状態から矢印の方向に回すとONになり、ONの状態から再び矢印の方向に回すとOFFになります。



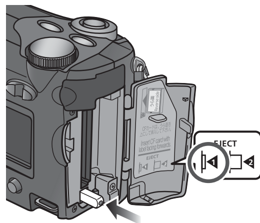
3.2 コンパクトフラッシュカードを入れます。

コンパクトフラッシュカードカバーを開けて（①)、イジェクトレバーが押し込まれていることを確認します（②)。コンパクトフラッシュカードをコンパクトフラッシュカードカバー裏側にある図のように差し込み、矢印方向にしっかりと奥まで挿入します（③)。

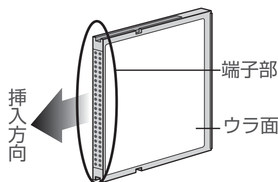


コンパクトフラッシュカードを入れるときのご注意

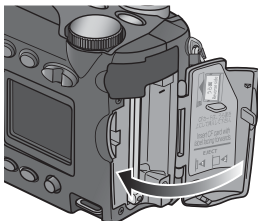
- イジェクトレバーが飛び出したまま、コンパクトフラッシュカードカバーを閉じると、カードが少しイジェクトされるため、カメラの電源をONにしたときにエラーの原因となります。コンパクトフラッシュカードを装着するときは、必ずイジェクトレバーが押し込まれている（コンパクトフラッシュカードカバー裏側の図 ⧏ の状態になっている）ことを確認してください。



- コンパクトフラッシュカードを装着するときは、コンパクトフラッシュカードの端子側（右図）からカメラに挿入してください。
  向きを間違えて装着すると、カメラおよびコンパクトフラッシュカードを破損するおそれがあります。正しい方向で挿入しているか、再度ご確認ください。



3.3 コンパクトフラッシュカードカバーを閉めます。

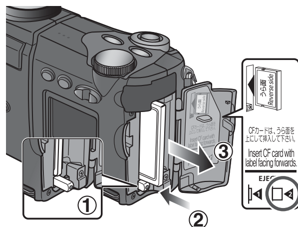


コンパクトフラッシュカードのフォーマット（初期化）

付属のコンパクトフラッシュカードはCOOLPIX4500用にフォーマットされています。その他のコンパクトフラッシュカードを初めてCOOLPIX4500で使用する場合は、あらかじめコンパクトフラッシュカードをフォーマットする必要があります。詳しい手順については、「カードフォーマット」（140）をご覧ください。

コンパクトフラッシュカードの取り出し方

コンパクトフラッシュカードを取り出すときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。コンパクトフラッシュカードカバーを開け、イジェクトレバーを押すとレバーが少し飛び出します(①、コンパクトフラッシュカードカバー裏側の図 □◂ の状態)。イジェクトレバーをもう一度押し込むと(②)、カードが少し出てきますので（③)、指でつまんでカードを取り出してください。



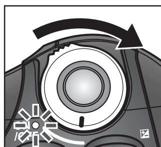
コンパクトフラッシュカードを取り出すときは

カメラの使用直後は、コンパクトフラッシュカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは十分ご注意ください。

ステップ 4：日付と時刻を設定します

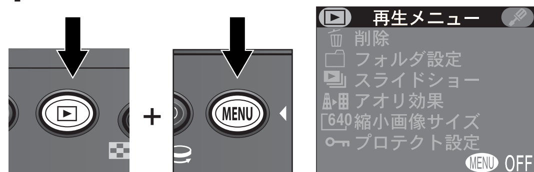
COOLPIX4500 には時計が内蔵されており、撮影した画像には撮影日時が記録されます。カメラを初めてご使用になる場合は、時計の日付と時刻が設定されていませんので、以下の手順にしたがって日時をセットしてください。

4.1



電源を ON にします。電源スイッチは、OFF の状態から矢印の方向に回すと ON になり、電源ランプが点灯します。

4.2



▶ ボタンを２回（撮影画像がない場合は１回）押して、MENU ボタンを押すと再生メニュー画面が表示されます。（再生する画像がない場合には、▶ ボタンを１回押したあとに液晶モニタに「撮影画像がありません」と表示されますが、MENU ボタンで再生メニューを表示することができます。）

4.3



マルチセレクターの▶で（セットアップメニュー）アイコンを選択します。

4.4



▼で「日時設定」を選択します。

時計マークについて

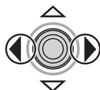
日付と時刻が設定されていない場合は、撮影時に液晶モニタの右上に時計マーク（）が点滅し（ 6）、撮影した画像の撮影日時情報には「0000.00.00　00:00」と記録されます。

4.5



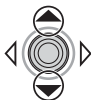

▶を押します。日付の設定画面が表示されます。

4.6



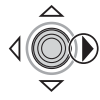

◀または▶で設定する項目（年、月、日、時間、分）を選択します（選択された項目は緑色で表示され点滅します）。

4.7



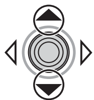

▲または▼で、選択された項目の数字を設定します。手順６～７を繰り返して、現在の日付・時刻に合わせます。

4.8



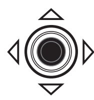

▶に倒すと、「年月日」が緑色で表示されます。

4.9




▲または▼で「年月日」「月日年」「日月年」の中から、日付の表示順を選択します。

4.10




マルチセレクターの中央部を押します。表示順が決定して、日付と時刻が設定され、セットアップメニュー画面に戻ります。撮影画面に戻るには、MENUボタンを押して再生画面に戻った後、▶ ボタンを押します。

基本操作


簡単な撮影


基本的な再生

この章は次のように構成されています。

簡単な撮影（ 18～28）

基本的な撮影方法をステップごとに説明します。

ステップ 1	撮影を始める前に	18～19
ステップ 2	AUTO（オート撮影）モードを選択します	20
ステップ 3	カメラの機能の初期設定を確認します	20
ステップ 4	構図を決めます	21～25
ステップ 5	ピントを合わせて撮影します	26～27
ステップ 6	撮影を終了します	28

基本的な再生（ 29～32）

撮影中に簡単に画像を再生したり削除する基本的な操作方法について説明します。

簡単な撮影

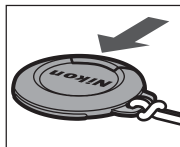
ここではカメラまかせのオート（AUTO モード）で撮影する、簡単な撮影方法について説明します。撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的にセットされるので、初めてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影できます。

ステップ 1：撮影を始める前に

撮影を始める前に、次の手順を行ってください。

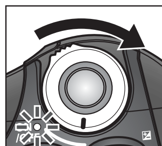
1.1 レンズキャップをはずします。

レンズキャップの着脱は、レンズキャップのレバーを押し込みながら行ってください。



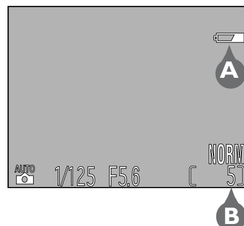
1.2 カメラの電源を ON にします。

電源スイッチは、OFFの状態から矢印の方向に回すとONになります。電源をONにすると電源ランプが点灯し、撮影モードにセットされます。



1.3 液晶モニタの表示を確認します。

撮影を始める前に、**バッテリーチェック表示**（**A**）と**カウンタ（撮影可能コマ数）**（**B**）を確認します。



- バッテリーチェック表示については次の表を参考にしてください。

表　示	内　容	カメラの状態
表示なし	バッテリーの残量は十分です。	通常
（点灯）	バッテリーの残量が少なくなりました。充電するか予備の6Vリチウム電池（2CR5）を用意することをおすすめします。	通常（連写可能コマ数等に制限があります）
電池残量がありません	バッテリーの残量がなくなりました。充電済みのバッテリーまたは新しい6Vリチウム電池（2CR5）と交換してください。	撮影できません

- バッテリーの残量がなくなると、**「電池残量がありません」**という警告メッセージが表示され、スピードライトランプとAFランプが同時にゆっくりと点滅します。
- コンパクトフラッシュカードに撮影できるメモリー残量がない場合には、**「メモリー残量がありません」**という警告メッセージが表示され、撮影を行うことができません。新しいコンパクトフラッシュカードに交換するか、コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を削除してください（147）。ただし、画質モードや画像サイズを変更することによって、撮影できる場合もあります（113）。

オートパワーオフについて

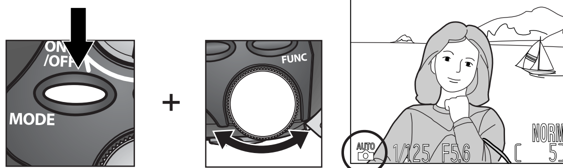
操作のないまま約1分間（初期設定）経過すると、バッテリーを長持ちさせるために自動的にカメラの電源がＯＦＦになり、液晶モニタと電源ランプが消灯します（オートパワーオフ、137）。

ステップ 2：AUTO（オート撮影）モードを選択します

ここでは、露出モードをAUTO（オート撮影）モードにセットして撮影する方法を説明します。AUTO モードではカメラの各機能がカメラまかせのオート撮影になります。

カメラを初めてご使用になる場合（この状態を初期設定といいます）、AUTO モードにセットされています。液晶モニタの左下に AUTO が表示されていない場合には、次の手順にしたがって AUTO モードを選択してください。

AUTO モードを選択するには、液晶モニタに AUTO が表示されるまで MODE ボタンを押しながら、コマンドダイヤルを回します。



ステップ 3：カメラの機能の初期設定を確認します

AUTO モードでは、カメラの各機能は、次の表のように設定されています。この「簡単な撮影」の章では、カメラの各機能を下表の初期設定にして撮影する手順について説明します。

カメラの各機能を初期設定から変更する場合は、参照ページをご覧ください。

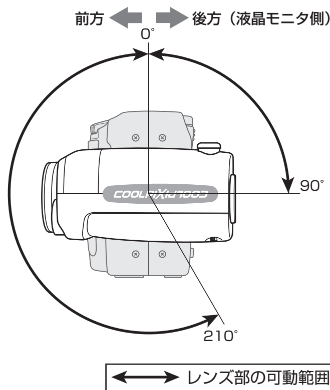
項　目	初期設定	初期設定の内容	参照ページ
スピードライトモード	自動発光	被写体が暗いときに、自動的にスピードライトが上がって発光します。	71 ～ 75
フォーカスモード	通常 AF	通常のピント合わせを行います。	63 ～ 65
画質モード	NORMAL	スナップ撮影など通常の撮影に適しています。	111
画像サイズ	2272 × 1704	2272 × 1704 ピクセルの画像サイズで撮影されています。	112
連写モード	単写	シャッターボタンを押し込むごとに 1 コマの画像を撮影します。	105 ～ 107

ステップ４：構図を決めます

レンズ部の角度と、ズーム機能で画像の構図（アングル）を決めます。

4.1 レンズ部を回転させます。

- レンズ部は、液晶モニタのある面を撮影者側にした場合、前方に最大約210°まで、後方（撮影者側）に最大約90°まで回転します。
- レンズを撮影者側に向けるとセルフポートレート撮影も可能です。液晶モニタで実際に撮影される画像の構図を確認できます。
- レンズ部は回転範囲内でゆっくり回してください。

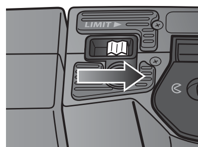


対面時の撮影について

レンズを液晶モニタ側に向けて対面撮影を行う場合は、液晶モニタには鏡に映ったような状態（鏡像）で被写体が表示されますが、撮影画像はレンズの向こう側から見た状態（正像）で記録されます。

スイバルリミット機構について

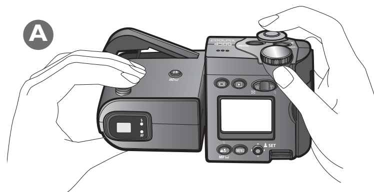
スイバルリミットレバーを矢印方向にスライドさせると、スイバルリミット機構が働いて、前方に90°を超えて回転できなくなります。別売のコンバータを装着したときに、重みによるレンズ部の不用意な回転を防止するために使用してください。

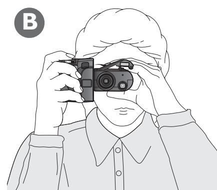


4.2 カメラを構えます。

手ブレを防ぐため、図のようにカメラは両手でしっかりと持ち、スピードライト部に指がかからないように構えてください。

構図を決めるには、液晶モニタを見ながらでも（**A**）、ファインダーをのぞきながらでも（**B**）、どちらでも行えます。





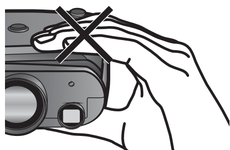
AUTO モードにセットしている場合、被写体が暗いと内蔵スピードライトが自動的に上がりますので、スピードライト部に指を置かないでください。

カメラを構えるときのご注意

カメラ前面のレンズやスピードライト発光部などに指や髪、ストラップ、ACアダプタのコードがかかったり、写り込んだりしないように注意してください。

内蔵スピードライトについてのご注意

- 露出モードを AUTO にセットしているときは、シャッターボタンを半押しすると（軽く押すと）、次の場合に内蔵スピードライトが自動的に上がります。
  - スピードライトモード（71）を自動発光、赤目軽減自動発光またはスローシンクロモードに設定している場合で、被写体が暗いとき
  - スピードライトモードを強制発光に設定している場合
- 上がっている内蔵スピードライトを指などで押さえて、撮影しないでください。この場合、シャッターボタンを半押ししたときに、液晶モニタに警告が表示され、スピードライトランプが高速点滅します。

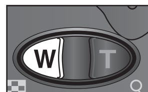


カメラを構えるときはスピードライト部に触れないようご注意ください。また、内蔵スピードライトを無理に手で持ち上げないでください。破損の原因となります。

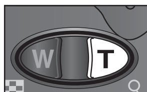
4.3 構図を決めます。

液晶モニタまたはファインダーを見ながら構図を決めます。

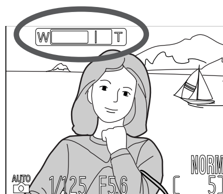
- COOLPIX4500は、4倍の光学ズームレンズを装備しています。ズームボタン（Wボタンおよび T ボタン）を押すことにより、撮影する範囲を変更することができます。



広角



望遠



上の表示はズームの量を表します。このズーム表示は、Wまたは T を押すと変化します。

- Wボタンを押すと広角側にズーミングして撮影できる範囲が広くなります。
- Tボタンを押すと望遠側にズーミングして被写体が拡大されます。
- 最も望遠側で約2秒以上T ボタンを押し続けると、自動的に電子ズームが作動し、さらに4倍（合計で16倍）まで被写体を大きく映すことができます。
- 電子ズームの作動中はAFランプが点滅し、ズーム表示の色が黄色に変化します（70）。
- 電子ズーム作動中は、ファインダーで見える範囲と撮影される範囲が異なりますので、必ず液晶モニタで確認してください。

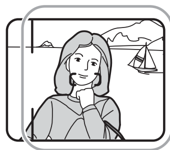
液晶モニタとファインダーについて

液晶モニタを使用して構図を決める場合は、表示された画像と同じ画像が撮影されます。また、カメラの設定内容を確認しながら構図を決めることができます。ファインダーを使用する場合は、見える範囲と撮影して得られる画像が正確に一致しない場合があります。次のような場合は液晶モニタを使用して撮影してください。

- 90cm よりも近距離で撮影する場合
- 電子ズーム（70）を使用する場合
- 画像サイズ（112）を 3:2 に設定する場合
- 別売のコンバータレンズ（164）を使用する場合

液晶モニタを使用すると、カメラの角度を自由に変えられるという利点もあります。カメラのレンズを自分自身に向けてセルフポートレート用に構図を簡単に決めることができます。

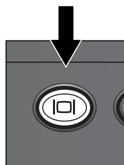
明るい場所で液晶モニタが見えにくい時はファインダーを使用すると便利です。概ね60cm以内の近距離でファインダーを使用して構図を決める場合は、ファインダー内の近距離補正マークを使用してください。

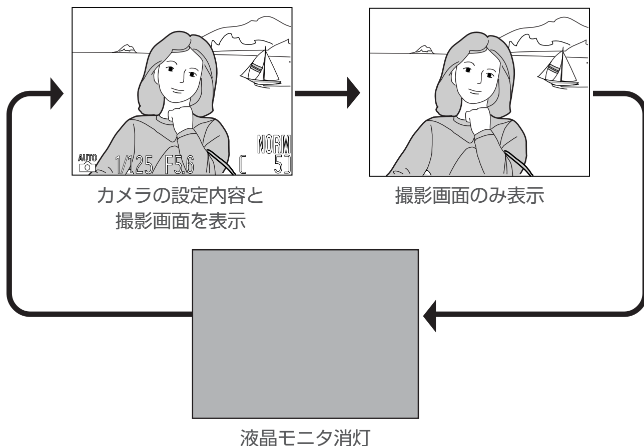


60cm 以内の撮影で写る範囲を表します。

液晶モニタの表示切り換えについて

|▭| ボタンを押すごとに液晶モニタの表示が次のように切り換わります。





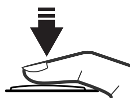
カメラの設定内容と撮影画面を表示

撮影画面のみ表示

液晶モニタ消灯

ステップ5：ピントを合わせて撮影します

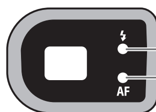
5.1 シャッターボタンを半押しして、ピントが合っていることを確認します。



シャッターボタンを軽く押して、途中で止める動作を「シャッターボタンを半押しする」といいます。シャッターボタンを半押しすると、ピントと露出が決まり、半押し中はピントと露出は固定されます。

- 露出モードで AUTO をセットしている場合は、液晶モニタの中央、もしくはファインダーのAFエリアに重なる被写体にピントを合わせます。写したいものが画面の中央になるようにしてください。

- シャッターボタンを半押ししたときのスピードライトランプ、AFランプは次の内容を表します。

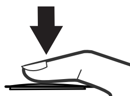


ランプの状態		内　容
スピードライトランプ	点灯	スピードライトの充電が完了しています。撮影時に発光します。
	点滅	スピードライトが充電中です。いったんシャッターボタンから指を離して、点灯後もう一度押し直してください。
	高速点滅	•発光禁止モード（71）にセットされているため、被写体が暗いとシャッタースピードが遅くなり、手ブレのおそれがあります。 •上がっているスピードライトが指などで押さえられています。スピードライトから指を離してください。
	消灯	被写体が明るいか、発光禁止になっているためスピードライトは発光しません。
AFランプ	点灯	被写体にピントが合っています。
	高速点滅	ピント合わせができません。「オートフォーカスについて」（66）をご覧ください。
スピードライトランプおよびAFランプの同時点滅		バッテリーの残量がなくなりました。充電済みのバッテリーまたは新しい6Vリチウム電池（2CR5）と交換してください。

5.2 ゆっくりとシャッターボタンを押し込み、撮影します。

シャッターボタンを最後まで押し込むと撮影できます。

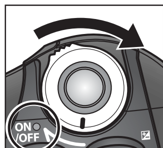
- シャッターボタンは一気に押し込むと手ブレの原因となります。ゆっくりと押し込んでください。



ステップ６：撮影を終了します

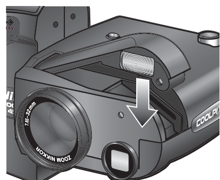
撮影を終了するときは、カメラを保管する前に次の手順を行ってください。

6.1 カメラの電源を OFF にします。



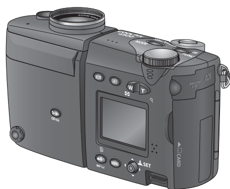
電源スイッチは、ONの状態から矢印の方向に回すとOFFになり、電源ランプが消灯します。電源がONになっているとバッテリーが消耗します。カメラを保管する前に、必ず電源が OFF になっていることを確認してください。

6.2 スピードライトが上がっている場合は、スピードライトを収納します。



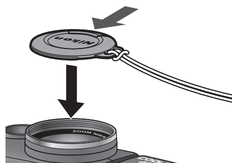
スピードライトはまっすぐに押し下げてください。斜めの力をかけて押し下げるとスピードライトに傷が付くことがあります。

6.3 レンズ部を回転させます。



レンズを図のように向けるとコンパクトに収納できます。

6.4 レンズキャップを取り付けます。



レンズを保護するために、レンズにレンズキャップを取り付けます。

画像記録中の撮影

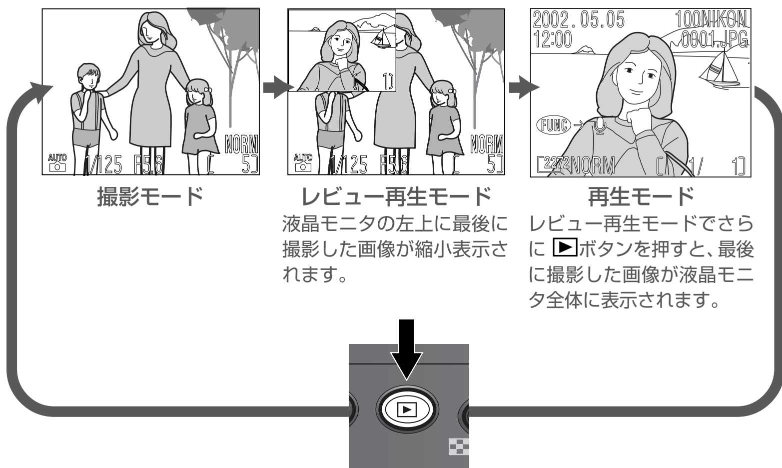
- 液晶モニタに ⌛ マークが表示されるまでは撮影を続けることができます。
- ⌛ マークまたは [▲](画像記録中表示）が表示されている場合や AF ランプが点滅している場合は、画像をコンパクトフラッシュカードに記録していますので、コンパクトフラッシュカードを取り出したり、バッテリーを抜いたりしないでください。書き込み中の画像が記録されなかったり、撮影した画像がこわれたりする場合があります。

基本的な再生

デジタルカメラは撮影後すぐに画像を確認できるので、撮り直したいと思ったときはいつでも次の撮影を行うことができます。

撮影後すぐに画像を確認するには▶ボタンを押して、レビュー再生モード、または再生モードに切り換えます。

- ▶ボタンを押すごとに液晶モニタの表示が次のように切り換わります。



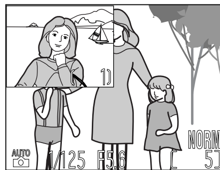
- レビュー再生モード、再生モード時にシャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻り、いつでも撮影できます。

✔ 画像再生時のご注意

AF ランプの点滅（中速点滅）中は、コンパクトフラッシュカードから画像を読み出しています。 このときバッテリーを抜いたりコンパクトフラッシュカードを取り出したりしないでください。画像データが消失したり、カメラやコンパクトフラッシュカードの破損の原因となります。

レビュー再生モード

撮影時に、▶ ボタンを１回押すとレビュー再生モードになり、撮影した画像を液晶モニタの左上に縮小表示します。



レビュー再生時は次の操作が可能です（他のボタンは撮影時と同様に操作できます）。

機　能	ボタン	内　容
前の画像を見る	▲/◀	マルチセレクターを▲または◀に倒すと、現在液晶モニタに表示されている画像の１つ前に撮影した画像を見ることができます。
次の画像を見る	▼/▶	マルチセレクターを▼または▶に倒すと、現在表示されている画像の次に撮影した画像を見ることができます。
再生モードにする	▶	レビュー再生モード時に▶ ボタンを１回押すと１コマ再生モードになり、再生画像を全画面表示します。

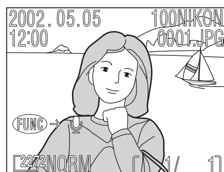
- 撮影した画像がない場合は「撮影画像がありません」、すべての画像が非表示に設定されている場合は「表示可能な画像がありません」と表示されます（👁 158）。この場合▶ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻ります。

再生モード

撮影時に▶ボタンを2回押すと再生モードになり、最後に撮影された画像が液晶モニタ全体に表示されます。

1コマ再生モード

1コマ再生モード時は、次の操作が可能です。

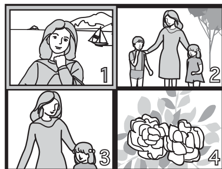


機能	ボタン	内容
前の画像を見る	マルチセレクター ▲/◀	マルチセレクターを▲または◀に倒すと、現在液晶モニタに表示されている画像の1つ前に撮影した画像を見ることができます。倒し続けると早送りされます。
次の画像を見る	マルチセレクター ▼/▶	マルチセレクターを▼または▶に倒すと、現在表示されている画像の次に撮影した画像を見ることができます。倒し続けると早送りされます。
サムネイル表示にする	⊞（W）	⊞（W）ボタンを押すと4コマの縮小した画像が表示されるサムネイル表示になります（32）。
表示されている画像を削除する	🗑（▲❀⏲）	🗑（▲❀⏲）ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターを▲または▼に倒して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択します。マルチセレクターの中央部を押すと、選択が実行されます。 [削除確認画面: ▶ 削除 / 削除します よろしいですか？ / いいえ / はい / ◀戻る / MENU OFF] • **いいえ**：画像は削除されず1コマ表示に戻ります。 • **はい**：画像が削除されます。
撮影モードに戻る	▶ / シャッターボタン	画像の再生を終了して撮影モードに切り換わります。

• 再生に関する詳細は「再生機能の詳細」（81）をご覧ください。

サムネイルモード

1 コマ再生モード表示時に (W)ボタンを押すと、最大9コマまでのサムネイル画像（縮小した画像）が表示されます。サムネイルモード時は次の操作が可能です。



機　能	ボタン	内　容
画像を選択する	マルチセレクター	マルチセレクターを▲/▼/◀/▶に倒して画像を選択します。
画面のスクロール	コマンドダイヤル	コマンドダイヤルを回すと一画面分のスクロールを行います。
表示コマ数を変更する	(W)/ (T)	サムネイルの4コマ表示時に (W)ボタンを押すと、サムネイル画像の9コマ表示になります。9コマ表示時に (T)ボタンを押すと4コマ表示に、4コマ表示時に (T)ボタンを押すと1コマ表示になります。
選択した画像を削除する	🗑 ()	🗑()ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターを▲または▼に倒して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択します。マルチセレクターの中央部を押すと、選択が実行されます。 削　除 削除します よろしいですか？ いいえ はい ◀戻る　MENU OFF • **いいえ**：画像は削除されず、サムネイル表示に戻ります。 • **はい**：画像が削除されます。
撮影モードに戻る	▶/シャッターボタン	画像の再生を終了して撮影モードに切り換わります。

撮影した画像の楽しみ方


撮影した画像を
パソコンに転送する


撮影した画像を
テレビで再生する

この章では、デジタルカメラで撮影した画像の簡単な楽しみ方について説明します。デジタルカメラで撮影した画像はテレビに映したり、パソコンに転送して保存することができます。パソコンに転送した画像は、編集したり、プリントしたり、電子メールに添付するなど、さまざまな方法で楽しむことができます。

撮影した画像をパソコンに転送する
(👁 34～42)
Nikon View 5 を使って画像をパソコンに転送する方法を紹介します。

撮影した画像をテレビで再生する
(👁 43)
カメラをテレビやビデオに接続して、撮影した画像をテレビで再生したり、ビデオで録画することができます。

撮影した画像をパソコンに転送する

ここでは、Nikon View 5を使って画像をパソコンに転送する方法を紹介します。

転送の前に：Nikon View 5 のインストール

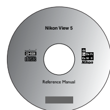
Nikon View 5 はコンパクトフラッシュカードに記録されている画像をパソコンに転送し、画像の一覧表示や編集を可能にするアプリケーションです。

Nikon View 5は次のOSに対応しています。動作環境の詳細については「仕様」（179）をご覧ください。

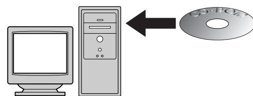
Windows	Windows XP Home Edition/Professional、 Windows 2000 Professional、 Windows Millennium Edition（Me）、 Windows 98 Second Edition（SE） ※ すべてプリインストールモデルのみ対応
Macintosh	Mac OS 9.0 ～ 9.2、 Mac OS X（10.1.2 ～ 10.2） ※ すべて USB ポート内蔵モデルのみ対応

Nikon View 5はカメラとパソコンを接続する前に、あらかじめパソコンにインストールしておく必要があります。インストールの方法については、クイックスタートガイド、または Nikon View 5 インストールマニュアルをお読みください。インストールマニュアルは、付属の Nikon View 5 リファレンスマニュアル（CD-ROM）に入っています。

1 Nikon View 5 リファレンスマニュアル CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入します。



パソコンを起動し、CD-ROM ドライブに Nikon View 5リファレンスマニュアルCD-ROMを挿入してください。



- **Windows の場合**

  「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックしてウィンドウを開き、その中のCD-ROMドライブ（Nikon）をダブルクリックすると、Nikon フォルダが開きます。

- **Macintosh の場合**

  Mac OS 9をご使用の場合、デスクトップ上にNikonフォルダが自動的に開きます。Mac OS X をご使用の場合、デスクトップ上の CD-ROM（Nikon）をダブルクリックすると、Nikon フォルダが開きます。

2 Adobe Acrobat Readerをインストールします。

Nikon View 5インストールマニュアルはPDF形式で書かれています。マニュアルを読むにはAdobe Acrobat Reader 4.0以降が必要です。Adobe Acrobat Readerがすでにインストールされている場合は、ステップ3にお進みください。

Adobe Acrobat Readerをインストールするには、まずJapaneseのフォルダをダブルクリックして、次にインストーラアイコンをダブルクリックします。インストール開始画面が表示されますので、画面に表示される指示にしたがってインストールを完了してください。

3 Nikon View 5インストールマニュアルの指示にしたがって、Nikon View 5をインストールします。

Nikonウィンドウ内のINDEX.pdfアイコンをダブルクリックして、Nikon View 5リファレンスマニュアルの見出し（INDEX)を表示させてください。ご使用のパソコン、システムに応じたインストールマニュアルを参照してNikon View 5のインストールを行います。インストールマニュアルはAcrobat Readerの［ファイル］メニューにある［プリント...］コマンドでプリントできます。

すでに他のNikon Viewがインストールされている場合は

ご使用のパソコンに他のニコンデジタルカメラに付属するNikon Viewがすでにインストールされている場合は、COOLPIX4500に付属のNikon View 5にアップグレードする必要があります。詳しくはNikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

パソコンに画像を転送する

Nikon View 5のインストールが完了すると画像や動画をパソコンに転送することができます。画像や動画は、パソコンとカメラを専用のUSBケーブルで接続して転送します。また、カメラからコンパクトフラッシュカードを取り出して、カードリーダー、またはPCカードスロットに挿入して転送することもできます。

USBケーブルUC-E1で画像を転送する

1 パソコンの電源を入れます。

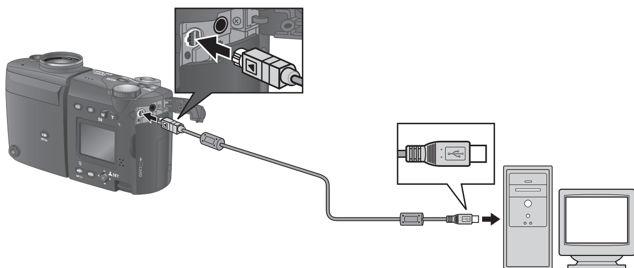


Windows XP Home Edition/Professional、Windows 2000 Professionalをご使用になる場合のご注意

Nikon View 5をご使用になる場合（インストール/アンインストールする場合も含む）は、「コンピュータの管理者」アカウント（Windows XP Home Edition/Windows XP Professionalの場合）もしくは「Administrator」アカウント（Windows 2000 Professionalの場合）でログオンしてください。

2 カメラとパソコンを専用 USB ケーブル UC-E1 で接続します。

カメラとパソコンを専用USBケーブルUC-E1で下図のように接続します。



3 カメラの電源を ON にします。

- カメラの液晶モニタは消灯し、電源スイッチ以外の操作はできなくなります。
- パソコンが自動的にカメラを認識してパソコンのモニタ画面にNikon View 5（ニコントランスファ）を表示します。詳しくは付属のNikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

カメラをパソコンに接続するときのご注意

カメラをパソコンに接続する前に、必ずNikon View 5をインストールしてください。

USB ハブについて

USB ハブに接続した場合の動作は、保証しておりません。

4 Nikon View 5（ニコントランスファ）の ボタンをクリックして、転送を開始します。

- 「転送の条件」で「全画像」を選択している場合は、コンパクトフラッシュカードに記録されているすべての画像がパソコンに転送されます。



5 画像の転送が完了すると、Nikon View 5 のニコンブラウザに転送された画像が表示されます。

 UH 連写およびパノラマアシストで撮影された画像の転送

「ニコントランスファ」ウィンドウの「変更...」をクリックすると「転送先とファイル名」の画面が表示されますので、「カメラ上で指定したフォルダに分けて転送する」にチェックを入れてください。シーンモードのパノラマアシストおよびUH連写で撮影された画像がパソコンに転送されるときに、一連のフォルダごとに転送されます。

 選択画像のみの転送

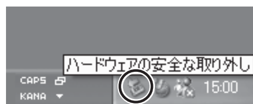
再生メニューの「転送画像設定」（161）で転送する画像を選択することができます。「ニコントランスファ」ウィンドウの「転送の条件」で「転送マーク ON 画像のみ」を選択すると、選択した画像のみが転送されます。

6 カメラとパソコンの接続を外します。

パソコンの画面に転送した画像が一覧で表示されたら、転送は終了です。カメラとパソコンの接続を外す方法は、USB通信方式の設定によって異なります。

- USB 通信方式を「PTP」に設定した場合（144）：
  接続を終了するには、カメラの電源を OFF にしてください。
- USB 通信方式を初期設定の「Mass Storage」から変更していない場合：
  接続を終了するには、必ず次の操作をしてからカメラの電源をOFFにしてください。

Windows XP Home Edition/Professional の場合：
パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）を安全に取り外します。」を選択してください。



Windows 2000 Professional の場合：
パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）を停止します」を選択してください。

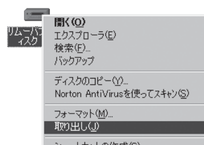


Windows Millennium Edition の場合：
パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして「USB ディスク－ドライブ（E:）の停止」を選択してください。

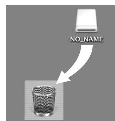
* 「ドライブ（E:）」の **E** はご使用のパソコンによって異なります。



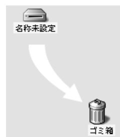
Windows 98SE の場合：
マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。



Mac OS X の場合：
デスクトップ上の「NO_NAME」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。



Mac OS 9 の場合：
デスクトップ上の「名称未設定」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。



画像転送中のご注意

画像の転送中は、次の操作は行わないでください。カメラおよびパソコンが作動しなくなる場合があります。

- USB ケーブルを抜く
- カメラの電源を OFF にする
- コンパクトフラッシュカードを抜く

使用する電源について

カメラからパソコンにデータを転送するときは、確実に電源を供給できる AC アダプタ EH-53（別売）、または AC アダプタ / バッテリーチャージャー EH-21（別売）のご使用をおすすめします。カメラをバッテリーで操作するときは、バッテリーが十分に充電されていることをご確認ください（予備バッテリーのご用意をおすすめします）。バッテリー残量が少なくなったら、手順 7（40）に従ってカメラの電源を OFF にした後、バッテリーを交換してください。

カードリーダー、または PC カードスロットから画像を転送する

コンパクトフラッシュカードリーダーをお持ちの場合、またはパソコンにPCカードスロットが装備されている場合には、コンパクトフラッシュカードをカメラから取り出してパソコンに画像を転送することができます。

コンパクトフラッシュカードリーダーをご使用の場合

カードリーダーへの挿入方法は、ご使用のパソコン本体、カードリーダーの使用説明書をご参照ください。

1 パソコンを起動します。

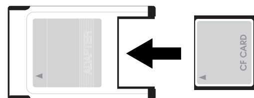
カードリーダーが外付けタイプの場合は、パソコンを起動する前にカードリーダーを接続しておいてください。

2 カードリーダーにコンパクトフラッシュカードを挿入します。

Nikon View 5 が自動的にカードを認識して起動します。画像をパソコンに転送する方法については、Nikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

PC カードスロットをご使用の場合

1 コンパクトフラッシュカードをPCカードアダプタ EC-AD1（別売）に挿入します。



2 パソコンを起動します。

3 PC カードスロットに PC カードアダプタを挿入します。

Nikon View 5 が自動的にカードを認識して起動します。画像をパソコンに転送する方法については、Nikon View 5リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

PC カードスロットについて

ノート型パソコンなどの「PCMCIA（Personal Computer Memory Card International Association）」に適合するPCカードスロットを使用する場合、カメラから取り出したコンパクトフラッシュカードを読み込むために、PCカードアダプタ EC-AD1（別売）が必要です。

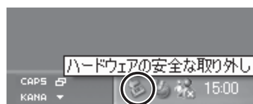
コンパクトフラッシュカードを取り出す場合の注意点

カードリーダーやPCカードスロットからコンパクトフラッシュカードを取り出すときは、画像の転送が完了していることを確認してください。

パソコン画面に転送中を示すインジケータが表示されている場合は、コンパクトフラッシュカードを取り出さないでください。

またカードリーダーやPCカードスロットからコンパクトフラッシュカードを取り出す前に、次の操作を行ってください。

- Windows XP Home Edition/Professional の場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして、コンパクトフラッシュカードを取り出してください。



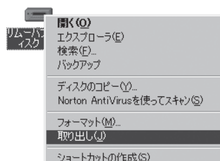
- Windows 2000 Professional の場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして、コンパクトフラッシュカードを取り出してください。



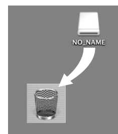
- Windows Millennium Edition の場合：
  パソコン画面右下の「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックして、コンパクトフラッシュカードを取り出してください。



- Windows 98SE の場合：
  マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選択してください。



- Mac OS X の場合：
  デスクトップ上の「NO_NAME」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。

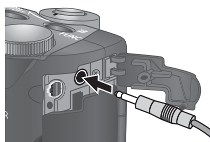


- Mac OS 9 の場合：
  デスクトップ上の「名称未設定」のアイコンをゴミ箱に捨ててください。



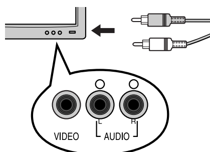
撮影した画像をテレビで再生する

付属のオーディオビデオケーブル（以下 AV ケーブル）を使用して、COOLPIX 4500をテレビやビデオデッキに接続し、撮影された画像をテレビで再生することができます。



1 AV ケーブルをカメラに接続します。

デジタル端子・オーディオビデオ出力端子カバーをめくり、AV ケーブルの黒いプラグをカメラのオーディオビデオ出力端子に接続します。



2 AV ケーブルを映像機器に接続します。

AV ケーブルの黄色のプラグを映像機器の映像入力端子に、白色のプラグを映像機器の音声入力端子にそれぞれ接続します。

3 映像機器の入力をビデオ入力または外部入力に切り換えます。

詳しくは映像機器の使用説明書をご覧ください。

4 カメラの電源を ON にし、▶ボタンを２回押して再生モードにします。

テレビには撮影された画像が表示され、液晶モニタは消灯します。

バッテリー使用時のご注意

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL1 や市販の 6V リチウム電池（2CR5）でカメラをご使用の場合は、「パワーオフ設定」(👁 137）での設定時間（30秒/1分/5分/30分）操作が行われないとオートパワーオフが作動して自動的に電源が OFF になり、テレビへの出力が停止し、テレビには画像が表示されなくなります。カメラを長時間ご使用になる場合は、別売のACアダプタ EH-53またはACアダプタ/バッテリーチャージャー EH-21 のご使用をおすすめします。

撮影機能の詳細

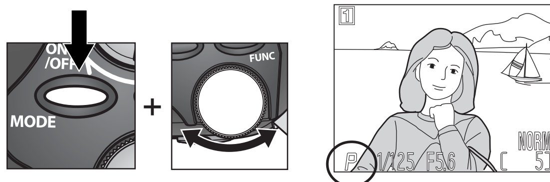
この章では、撮影モード時のカメラの各撮影機能について詳しく説明します。

露出モードについて

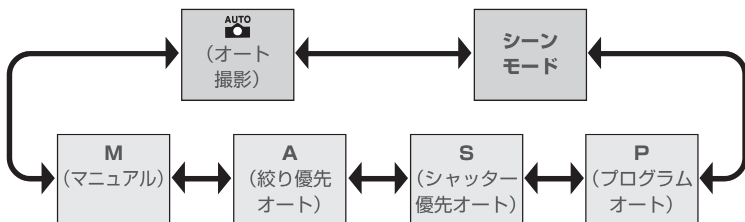
COOLPIX4500 には AUTO（オート撮影）モードやシーンモードによる「カメラまかせの露出モード」と、プログラムオートからマニュアルまで「撮影者がいろいろ工夫できる露出モード」があります。各モードの特長を活用すれば、被写体や撮影者のイメージに合った撮影が行えます。詳細は各参照ページをご覧ください。

露出モード	内　容	操作可能なメニュー
AUTO（オート撮影）（20）	最も手軽に撮影できるオート撮影のモードです。スナップ撮影をはじめ、シャッターチャンスを逃さずにすぐに撮影したいときなどに便利です。	画質モードと画像サイズのみ変更できます。（111）
シーンモード（48）	撮影状況や被写体に合わせて 16 種類のシーンモードが選択できます。	シーンモードの選択と、画質モードと画像サイズの変更ができます。（48、111）
P（プログラムオート）（57）	適正露出となるようにシャッタースピードも絞り値もカメラが自動的にセットします。プログラムシフト（57）や露出補正（77）などで、撮影者の意思も反映できます。	**P**、**A**、**S**、**M** の各露出モードでは、すべての撮影メニュー（100）とセットアップメニュー（134）が操作できます。メニュー画面で設定した内容は、これらの露出モードで共通の設定となります。
S（シャッター優先オート）（58）	撮影者がセットしたシャッタースピードに合わせて適正露出となるように、カメラが自動的に絞り値をセットします。	
A（絞り優先オート）（59）	撮影者がセットした絞り値に合わせて適正露出となるように、カメラが自動的にシャッタースピードをセットします。	
M（マニュアル）（60）	シャッタースピードも絞り値も撮影者が自由にセットできます。	

露出モードは MODE ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して切り換えます。



• 露出モードは次のように切り換わります。

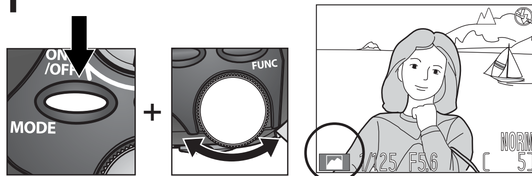


シーンモード

COOLPIX4500 には、撮影状況や被写体に合ったモードを選択するだけで、イメージに合った撮影が簡単に楽しめる 16 種類のシーンモードがあります。

シーンモードは、次の手順で選択します。

1



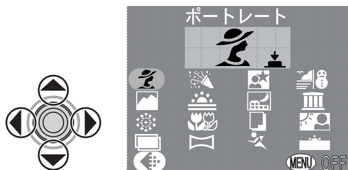
シーンモードのアイコン（絵表示）が表示されるまで、**MODE** ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。

2



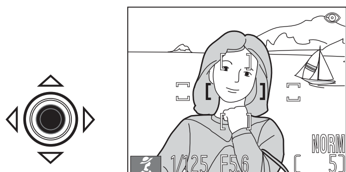
MENU ボタンを押すと、シーンモード選択画面が表示されます。

3



マルチセレクターを使用して、選択するモードのアイコンを選択します。選択されたシーンモードの内容が画面の上部に表示されます。

4



マルチセレクターの中央部を押すと、選択したシーンモードがセットされて撮影画面に戻ります。

- 選択されたシーンモードのアイコンが液晶モニタ画面の左下に表示されます。

について（97）

シーンモード選択画面でを選択して、マルチセレクターの中央部を押すと、「画質・画像サイズ」メニューが表示され、画質モード、画像サイズが変更できます。

シーンモードの種類と特徴

- 手ブレ表示のあるシーンモードでは、被写体の明るさによってシャッタースピードが遅くなります。特にスピードライトモードが発光禁止にセットされ、1/30秒より遅いシャッタースピードになるような場合では、手ブレを警告する ✋ アイコンが液晶モニタに表示されます。この場合、手ブレ度合いに応じて、次のようにカメラを固定してください。

  ★　：脇を締めて、カメラを固定するようにしっかりと構えてください。
  ★★：三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定してください。

- スピードライトモードとフォーカスモードは、各シーンモードで使用可能なものです。表の内容は次の通りです。

スピードライトモード ⚡👁	
表　示	内　容
表示なし	自動発光
⊘⚡	発光禁止
👁	赤目軽減自動発光
⚡	強制発光
🌃	スローシンクロ

フォーカスモード ▲🌷⏱	
表　示	内　容
表示なし	通常 AF
▲	遠景
🌷	マクロ
⏱	セルフタイマー

シーンモード	使用する場面	⚡👁 (📖 71)	▲🌷⏱ (📖 63)	手ブレ
ポートレート	ポートレート撮影に使用します。背景をぼかし、人物を浮き立たせて立体感のある画像に仕上げます。 • 背景をぼかす度合いは、光の明るさで変化します。 • AFエリアはマニュアルになります。マルチセレクターでAF エリアを選択してください（📖 121）。	👁 ⚡ 🌃 **自動発光** ⊘⚡	通常 AF ⏱	—

シーンモード	使用する場面	(71)	(63)	手ブレ
パーティー	パーティー会場などで、キャンドルライトをきれいに写すなど被写体の背景を生かした雰囲気のある画像に仕上げます。	自動発光	通常 AF	★
夜景ポートレート	夕景や、夜景をバックに人物を撮影したいとき、背景を黒くつぶすことなく、人物も背景も自然に表現できます。		通常 AF	★
海・雪	晴天の海や湖、砂浜や雪景色を明るく鮮やかに撮影します。	自動発光	通常 AF	—
風景	木々の緑や青空などの輪郭やコントラストを強調して鮮やかな色の画像に仕上げます。			—
夕やけ	美しい赤い夕やけ（朝やけ）を見た目のままに美しく表現します。	※	通常 AF	★

※初期設定はになります。ただし ボタンを押してマニュアルでスピードライトを上げると、( ) 内のスピードライトモードが選択できます。なお、この場合は被写体の明るさに関係なく常に発光します。

シーンモード	使用する場面	(71)	(63)	手ブレ
夜景	夜景を撮影する際、スローシャッターで夜景の雰囲気を表現した写真を撮影できます。 • ノイズ除去機能が自動的にセットされます。			★★
ミュージアム	スピードライトの発光が禁止されている博物館や美術館など、スピードライトを発光させたくない場所で撮影するときに使用します。 • BSS機能（108）が自動的にオンになります。シャッターボタンを押し込んでいる間、最大10コマの連続撮影を自動的に行い、カメラが自動的により鮮明な画像を1コマ選択します。 • 博物館、美術館等によっては撮影自体禁止されている場合があります。あらかじめご確認ください。		通常AF	★
打ち上げ花火	スローシャッターで、大きく広がる打ち上げ花火をきれいに撮影できます。			★★

ノイズ除去機能について

夜景など、シャッタースピードが長時間になる撮影を行った場合、記録された画像に星状のノイズが生じることがあります。シーンモードの夜景またはトワイライトモード選択時で、1/4秒より遅いシャッタースピードになる撮影では、自動的にノイズを軽減するノイズ除去（130）が行われます。この場合、撮影後の画像の記録に通常より2倍以上の時間がかかります。ノイズ除去機能が行われると、液晶モニタにノイズ除去表示（**NR**）が表示されます。



シーンモード	使用する場面	⚡◉ (👁 71)	▲🌷⏱ (👁 63)	手ブレ
🌷 クローズアップ	草花や昆虫、小さな被写体などを色鮮やかに撮影することができます。 • 液晶モニタの🌷マークが黄色に表示されるズーム位置（ミドルポジション）では、レンズ前約2cmまで被写体にピントを合わせることができます。 • ズーム位置により、最短撮影距離は変化します。 • AFエリアはマニュアルになります。マルチセレクターでAFエリアを選択してください（👁 121）。	⊛※ ⚡ ◉ 🖼	🌷 ⏱	★
▢ モノクロコピー	ホワイトボードや名刺、印刷物の文字などを、シャープに複写することができます。 • 複写するものが赤色、青色などの場合、文字などが薄くなることがあります。 • フォーカスモードが通常AFの場合、最短撮影距離がレンズ前約70cmとなります。 • 近くのものを撮影する場合には、マクロモード（👁 63）にセットしてください。マクロモードにセットすると、液晶モニタの🌷マークが黄色に表示されるズーム位置（ミドルポジション）では、レンズ前約2cmまで被写体にピントを合わせることができます。	⊛※ ⚡ ◉ 🖼	通常AF ▲ 🌷 ⏱	—
逆光	逆光状態の時に、人物が影にならず美しく撮影することができます。	⚡	通常AF ⏱	—

シーンモード	使用する場面	⚡👁（71）	▲🌷⏲（63）	手ブレ
多重露出	同一コマ上に２回画像を重ねて写し込みます。シャッターボタンを押すごとに１回ずつ撮影されます。 •１回目の画像が撮影されると、撮影された画像が撮影画面上に半透明に表示されます。２回目に撮影する画像の構図の目安にしてください。 •2回画像を重ねて写し込むと、多重露出が完了します。 •画像の背景を暗くすると効果的です。 •同一コマ上に2回露出を与えますので、背景や被写体が重なっていく場合、撮影する画像に合わせて露出補正（77）を行う必要があります。 ・露出補正量の目安は－１段（－1.0）ですが、条件によって異なりますので、テスト撮影を行うことをおすすめします。 ・背景が完全に黒く、被写体が画面内で重ならないような場合は、露出補正を行わず、適正露出で撮影するのが基本です。 •必ず撮影後は再生して確認することをおすすめします。	※	通常 AF	—

多重露出・パノラマアシスト時の対面撮影

多重露出やパノラマアシストで対面撮影を行った場合は、液晶モニタに表示される画像と再生される画像はいずれも上下逆となります。

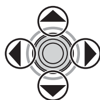
思いどおりの画像に近づけるには

被写体によっては、必ずしも選択したシーンモードでは思いどおりの画像とならないことがあります。このような場合には、露出モードを AUTO（オート撮影）モードにセットして、再度撮影してください。

シーンモード	使用する場面	⚡👁（71）	▲🌷⏱（63）	手ブレ
パノラマアシスト	複数の画像を、最初に撮影した画像と同じホワイトバランスと露出で撮影します。後からパノラマ画像作成ソフトを使用して、複数の画像を組み合わせて1つの画像に合成する場合に便利です。 • ホワイトバランスと露出は1枚目に撮影した値に固定されます。 • パノラマアシストモードの撮影が開始されるごとに「P_」（例：P_001）という名称の専用のフォルダがコンパクトフラッシュカードに作成され、一連の画像が保存されます。	⚡※	通常 AF	—
スポーツ	高速シャッターで一瞬の動きを鮮明に写します。動きの激しい被写体の一瞬の動きを捕らえた躍動感のあるスポーツ写真を撮影したいときに使用します。	⚡※	通常 AF	—
トワイライト	夜明け前や日没後のわずかな自然光のなかで、風景を見たままに写します。 • ノイズ除去機能が自動的にセットされます。	⚡	通常 AF	★

パノラマアシストモードの撮影手順

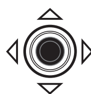
1

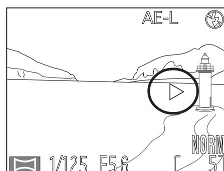




シーンモード選択画面でマルチセレクターで、パノラマアシストモードのアイコン（▭）を選択します。

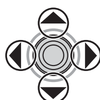
2

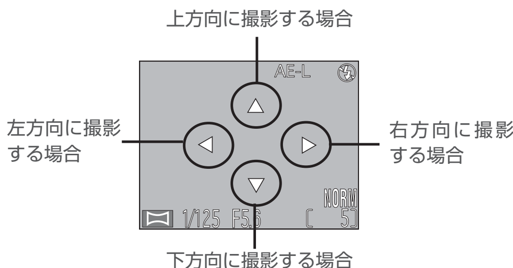




マルチセレクターの中央部を押すと、撮影画面上で画像をつなげるパノラマ方向表示（▷）が表示されます。

3



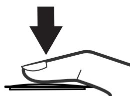


画像をつなげる方向をマルチセレクターの▲（上）/▼（下）/◀（左）/▶（右）で選択します。選択したパノラマ方向表示が撮影画面に表示されます。

パノラマアシストモードで撮影された画像の再生

パノラマアシストモードで撮影された画像を再生するときには、フォルダ設定（149）を「すべてのフォルダ」にするか、「P_」で始まる専用フォルダを選択してください。

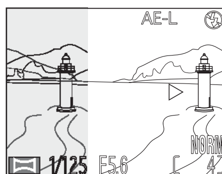
4



シャッターボタンを押して最初の画像を撮影します。

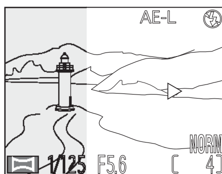
- 露出固定（AE-L）マークは、1 コマ目の撮影後に露出が固定されるため、黄色から白色に変わります。

5



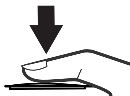
撮影した画像の約 1/3 が、選択した方向の反対側の撮影画面上に半透明に表示されます。たとえば、手順３で▶（右）方向が選択されている場合は、撮影画面の左端に、先に撮影した画像の右端約 1/3 が半透明で表示されます。

6



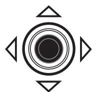
先に撮影した画像の絵柄と、撮影画面の絵柄が重なるように、カメラの構図を合わせます。

7



シャッターボタンを押して次の画像を撮影します。手順 6、7 を繰り返して、パノラマ画像を構成する全ての画像を撮影します。

8



マルチセレクターの中央部を押すと、一連のパノラマアシストモードによる撮影が終了します。

 パノラマアシスト撮影のご注意

- 1 コマ目を撮影した後は、画像をつなげる方向を変更できません。
- パノラマアシストモードで景色を撮影する場合には、スピードライトをマニュアルで上げないで撮影することをおすすめします。

 三脚の使用について

パノラマアシストモードで撮影する場合は、三脚を使用すると、組み合わせる画像の構図を合わせやすくなります。

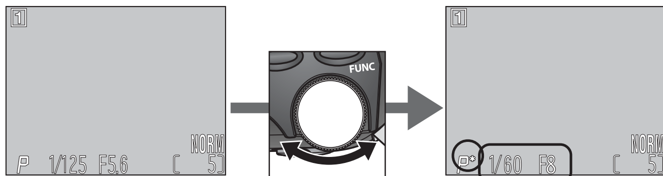
P: プログラムオート

被写体の明るさに応じてシャッタースピード（1 秒～ 1/2300 秒）と絞り値の最適な組み合わせをカメラが自動的にセットします。プログラムシフト、露出補正（77）、またはブラケティング（128）などによって撮影者の意図も反映できます。

プログラムシフトについて

露出モードを **P** にセットし、コマンドダイヤルを回すと、露出を一定にしたままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができるプログラムシフトが可能です。この機能によりプログラムオートのままシャッター優先オート（**S**）や絞り優先オート（**A**）のような使い方ができます。

- プログラムシフトを行うには、液晶モニタに表示されるシャッタースピードと絞り値の表示がセットしたい組み合わせになるまで、コマンドダイヤルを回してください。プログラムシフト中は液晶モニタの露出モード表示（**P**）の横にプログラムシフトマーク（*）が点灯します。

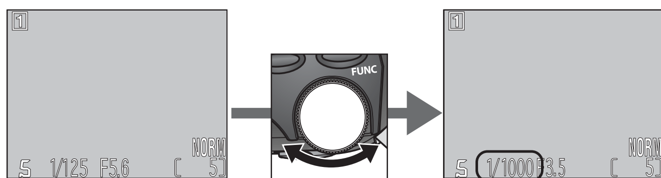


- プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマーク（*）が消灯するまでコマンドダイヤルを回す、他の露出モードに切り換える、再生モードに切り換える、電源を OFF にするなどで可能です。

S: シャッター優先オート

撮影者が任意にセットしたシャッタースピード（8 秒〜 1/2000 秒）に合わせて、適正露出になるように、カメラが絞り値を自動的にセットします。好みのシャッタースピードを使って、スポーツシーンの撮影など被写体の動きを速いシャッタースピードで写し止める、または遅いシャッタースピードで動きを強調するなど、シャッタースピードを重視した撮影に最適です。

露出モードを **S** にセット後、コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを 8 〜 1/2000 秒の範囲で 1 段ごとにセットできます。



シャッタースピードの使用制限

連写モードで UH 連写または動画を設定した場合（105）、1 秒間に撮影されるコマ数は一定になります。1 コマが進む速さ（UH 連写では 1/30 秒、動画では 1/15 秒）以下の低速にシャッタースピードをセットすることはできません。

カメラの制御範囲について

露出モードが **S** または **A** の場合、被写体が明るすぎたり暗すぎたりして、カメラの制御範囲を超えているときは、シャッターボタンを半押しするとセットしたシャッタースピードまたは絞り値が点滅表示されます。この場合は適正な露出が得られませんので、設定値を変更してください。

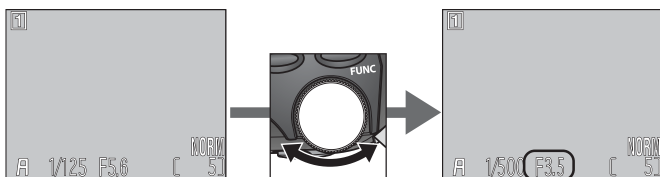
低速シャッター時のご注意

シャッタースピードが 1/4 秒より遅くなる撮影では、画像の暗い部分に星状のノイズが生じることがあります。このような場合には液晶モニタのシャッタースピード表示が黄色に点灯して警告します。星状のノイズはノイズ除去（130）により軽減することができます。

A: 絞り優先オート

撮影者が任意にセットした絞り値（開放絞り～最小絞り）に合わせて、適正露出になるように、カメラがシャッタースピード（8 秒～ 1/2300 秒）を自動的にセットします。好みの絞りを使って、開放絞り側（小さい数値）で背景をボカした美しいポートレート写真を撮ったり、最小絞り側（大きい数値）で奥行きのある風景を鮮明に写すなど、被写界深度（ピントの合う前後の範囲）を優先した撮影に最適です。

露出モードを A にセット後、コマンドダイヤルを回すと、絞り値を開放絞り（最も数値の小さい絞り）から最小絞り（最も数値の大きい絞り）の範囲で、1/3 段ごとにセットできます。



1/2300 秒の高速シャッタースピード

被写体の明るさによりますが、ズームを広角側にセットして、絞りを最小側（大きい数値）にセットすると、1/2300 秒の高速シャッタースピードが実現可能になります。

絞りとズーム

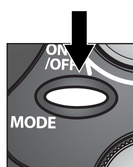
絞り値（F 値）とはレンズの明るさを示す値で、数値が小さくなるにしたがって明るくなり、大きくなるにしたがって暗くなります。また、そのレンズの絞りの一番小さい数値を開放絞り値といい、一番大きい数値を最小絞り値といいます。COOLPIX4500 のレンズ（7.85 ～ 32mm F2.6 ～ 5.1）はズーミングによって絞り値が変化します。通常、望遠側にすると絞り値が大きくなり、広角側にすると絞り値が小さくなります。撮影メニューの「ズーム：ズーム時F値保持」（124）をONに設定することにより、この絞り値の変化を最小限におさえることができます（制御できる絞り値の範囲は F5 ～ F7 です）。

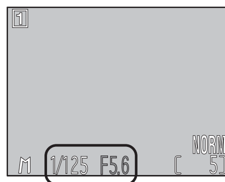
M: マニュアル

シャッタースピードも絞り値も撮影者が自由にセットします。シャッタースピードは、最長５分までの長時間露出（BULB）および８秒～ 1/2000 秒の範囲で１段ごとに、絞り値は開放絞り～最小絞りの範囲で 1/3 段ごとにセットできます。個性的な映像表現にトライしたいときに便利です。

1. 露出モードを **M** にセット後、いったん MODE ボタンから指を離します。

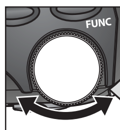
2. MODE ボタンを押すごとに、液晶モニタに絞り値とシャッタースピードが交互に緑色に表示されます。

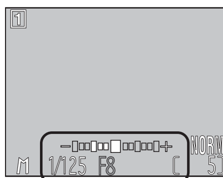




3 コマンドダイヤルを回して、シャッタースピードまたは絞り値をセットします。

- セットした絞り値とシャッタースピードの組み合わせによる露出値と、カメラが測光した適正露出値の差が、液晶モニタ上の露出インジケータに表示されます。





設定された露出値とカメラの測光した適正露出値の差が、液晶モニタ上の露出インジケータに－ 2EV から＋ 2EV の範囲で 1/3 段ごとに表示されます。

アンダー露出 ↔ オーバー露出

－２ ±０ ＋２



露出インジケータ

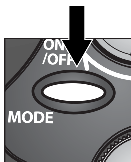
低速シャッター時のご注意

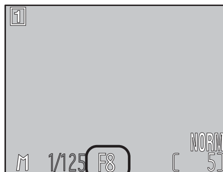
シャッタースピードが 1/4 秒より遅くなる撮影では、画像の暗い部分に星状のノイズが生じることがあります。このような場合には液晶モニタのシャッタースピード表示が黄色に点灯して警告します。星状のノイズはノイズ除去（130）により軽減することができます。

シャッタースピードの赤色表示について

シャッタースピードを 1/2000 秒にセットして赤色に表示された場合は、液晶モニタの露出インジケータを確認しながら、絞りを絞り込んでください。

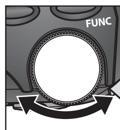
4 MODEボタンを押して、セット中の項目（絞り値またはシャッタースピードのいずれか）を切り換えます。

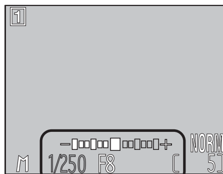




5 コマンドダイヤルを操作して、露出インジケータを確認しながら、希望する露出をセットします。

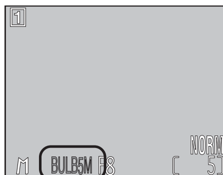
- 必要な場合は手順4と5を繰り返してセットしたいシャッタースピードと絞り値の組み合わせをセットします。





長時間露出撮影（BULB）

シャッタースピードを８秒（8"）の次のBULBにセットすると最長５分までの長時間露出になり、シャッターボタンが押されている間はシャッターが開いたままになります。



- 撮影を終了するにはシャッターボタンから指を離してください。
- 長時間露出（BULB）にセットできるのは撮影メニューの「連写：単写」にセットされているときのみです。
- 強制発光以外のスピードライトモードではスピードライトは発光しません。
- 手ブレを防ぐため、三脚とリモートコードMC-EU1（別売）のご使用をおすすめします。
- 長時間露出撮影時に、画像の暗い部分に発生する星状のノイズを軽減するため、ノイズ除去（130）をONにすることをおすすめします。

フォーカスモードについて

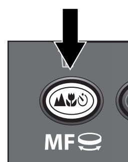
撮影目的に応じて3種類のフォーカスモードとセルフタイマーが選択できます。

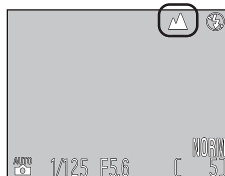
フォーカスモード	内　容
(表示なし) 通常 AF	被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。レンズから30cm以上(ズームのワイドポジションのみ50cm)離れた被写体の撮影に使用します。
▲ 遠景	フォーカスは遠景にピントが合うようにセットされます。スピードライトは自動的に発光禁止になります。風景、建物など遠くにある被写体や窓越しの景色などを撮影するときに使用します。
マクロ	液晶モニタの マークが黄色に表示されるズーム位置(ミドルポジション)では、レンズ前約2cmまで被写体に近づけます。花や昆虫などの小さな被写体の近接撮影をするときに使用します。
セルフタイマー (65)	約10秒または約3秒のセルフタイマー撮影が選択できます。撮影者自身が写りたいときや、手ブレを防ぎたいときに使用します。 • セルフタイマーモードにすると、マクロモード撮影も可能になり、マークも同時に表示されます。

マクロモードについてのご注意

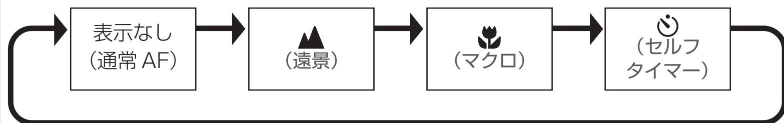
- マクロモードで近接撮影する場合は、ファインダーで確認した構図と実際に写る範囲の間にズレが生じますので、液晶モニタを見て構図を決めることをおすすめします。
- 50cm よりも近距離側でスピードライトを使用すると、光が十分に行きわたらない(ケラレる)ことがあります。テスト撮影をして、液晶モニタで画像をご確認ください。

フォーカスモードは 🌄🌷⏲ ボタンを押して切り換えます。セットされたフォーカスモードが液晶モニタに表示されます。





• フォーカスモードは 🌄🌷⏲ ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



• セットされているシーンモードによっては選択できないフォーカスモードがあります（👁 49～54）。

セルフタイマー撮影

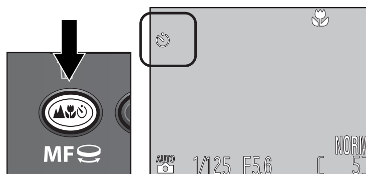
記念写真など、撮影者自身が写りたいときや、シャッターボタンを押すときに生じる手ブレを防止したいときなどに使うと便利です。

1 カメラを固定します。

- 三脚などを使用して、カメラを安定させてください。

2 ボタンを押して、セルフタイマー表示 を点灯させます。

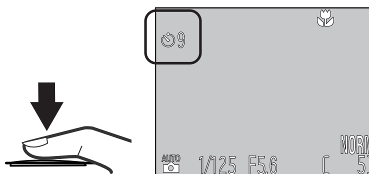
- 同時にマークも表示され、マクロモード撮影も可能になります。



3 構図を決め、シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

4 シャッターボタンを深く押し込んで、セルフタイマーを作動させます。

- シャッターボタンを一度押すと10秒間タイマー、もう一度押すと3秒間タイマーが作動します。シャッターボタンをさらにもう一度押すとセルフタイマーは停止します。
- セルフタイマーが作動し始めると、液晶モニタにタイマー時間がカウントダウン表示されます。セルフタイマーランプはシャッターがきれる約1秒前まで点滅し、撮影前の約1秒間点灯します。



オートフォーカスについて

通常AFモード、マクロモードで撮影する場合、液晶モニタ点灯時と消灯時ではピント合わせのタイミングが異なります。

- 液晶モニタ点灯時に、露出モードがAUTO（オート撮影）モードまたはシーンモードのクローズアップモードの場合は、シャッターボタンの操作に関係なく、カメラは常にピント合わせを行います（C-AF、122）。
- 液晶モニタ消灯時または露出モードが**P**（プログラムオート）、**S**（シャッター優先オート）、**A**（絞り優先オート）、**M**（マニュアル露出）のいずれかの場合は、シャッターボタンを半押しするまでカメラはピント合わせを行いません（S-AF、122）。

いずれの場合も、シャッターボタンを半押しするとピントが固定され、シャッターボタンを半押ししている間はそのまま固定され続けます（AFロック）。撮影メニューの「フォーカス：AFモード」（122）で液晶モニタ点灯時にもS-AFをセットすることができます。

オートフォーカスが苦手な被写体

次のような場合は、オートフォーカスでは適切なピント合わせができないことがあります。

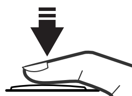
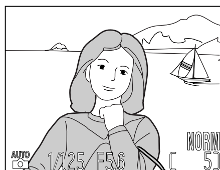
- 被写体が非常に暗い場合
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない場合（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する場合（オリの中の動物など）
- 動きの速い場合

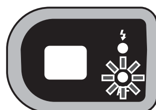
オートフォーカスでのピント合わせが正常に行えない場合は、AFロックで撮影したい被写体と同距離の他の被写体にピントを合わせるか、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください（68）。

AF/AEロック

シャッターボタンを半押しして写したい被写体にピントを合わせ、そのまま半押しを続けると、ピントはそのまま固定（AFロック）され、露出の固定（AEロック）も同時に行われます。AFロックは構図を工夫したい撮影や、「オートフォーカスが苦手な被写体」の撮影のときなどに便利です。

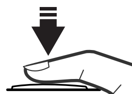
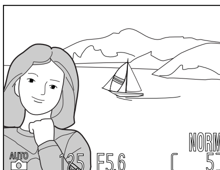
1



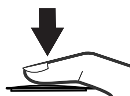
シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。
- ピントが合うとAF ランプが点灯します。

2

シャッターボタンを半押ししたまま構図を変えます。
- シャッターボタンを半押ししている間は、ピントと露出が固定されます。
- 被写体との距離を変えないでください。

3

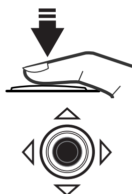


シャッターボタンを押し込んで撮影します。

 AF ロック時の AF エリア選択について

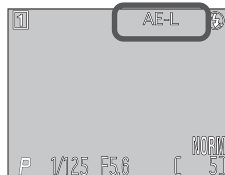
AF ロックを行うときは、中央の AF エリアを選択されることをおすすめします。

 AE ロックについて



シャッターボタンを半押ししている間は AF ロックと AE ロックが同時に行われますので、構図を変えても被写体に露出を合わせたままの撮影が可能です。この場合、中央の AF エリア選択とスポット測光または中央部重点測光を組み合わせると効果があがります。またセットアップメニューの「ボタン設定：AE-L, AF-L」（137）を AE-L に設定すると、マルチセレクターで AE ロックのみ行うことができます。露出を合わせたい部分とその周囲の明るさが著しく異なる場合などに便利です。

- シャッターボタンを半押しして、特に露出を合わせたい部分をスポット測光などにより測光し、マルチセレクターの中央部を押したままピントを合わせて撮影してください。
- AE ロック中は、液晶モニタに露出固定（AE-L）マークが白色で表示されます。



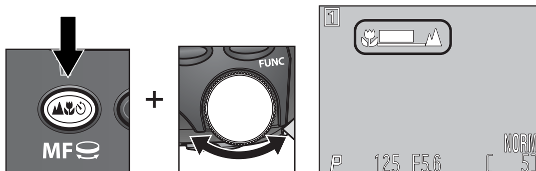
マニュアルフォーカス

露出モードが**P**（プログラムオート）、**S**（シャッター優先オート）、**A**（絞り優先オート）、**M**（マニュアル露出）のいずれかにセットされているときに、マニュアルフォーカスを使用して撮影することができます。被写体との撮影距離をあらかじめ想定して撮影する場合や、オートフォーカスではピントが合わない場合に便利です。

1 **MF** ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すとマニュアルフォーカスに切り換わり、液晶モニタにマニュアルフォーカスインジケータが表示されます。

2 **MF**ボタンを押したまま、マニュアルフォーカスインジケータを目安にして、写したい被写体のピントが合うまでコマンドダイヤルを回してください。

- セットできる撮影距離（レンズ前面より被写体までの距離）は、約2cm（🌷）（ズーム位置はミドルポジション）から無限遠（▲）までです。



- マニュアルフォーカスで撮影すると、液晶モニタ上でピントが合っている部分の輪郭が強調されてピントが確認しやすいピーキング（🔍 122）に自動的にセットされます（撮影メニューの「フォーカス：ピーキング」でOFFにセット時を除く）。
- マニュアルフォーカスをキャンセルするにはMFボタンを押してください。

マニュアルフォーカス時のご注意

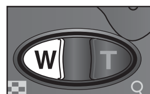
- マニュアルフォーカスとセルフタイマーを併用する場合は、セルフタイマーをセットしてからマニュアルフォーカスをセットしてください。
- マニュアルフォーカスインジケータの🌷側にセットすると、ズームの領域によってピントが合わない場合があります。この場合、液晶モニタでマニュアルフォーカスインジケータが赤く表示されます。
- コンバータ使用時は、オートフォーカスで撮影を行ってください。
- マニュアルフォーカスをセットした後にズーミングした場合は、マニュアルフォーカスを再度セットしなおしてください。

ズーム機能について

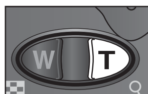
COOLPIX4500は、4倍の光学ズームと、さらに4倍にする電子ズームを装備しています。ズームボタンで被写体の大きさを変えることができます。

光学ズーム

4倍光学ズームは、カメラのズームレンズを使用して、被写体を4倍まで拡大します。



広角



望遠

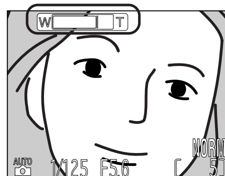


ズームボタンを押している間、液晶モニタにズーム表示が表示されます。

- W ボタンを押すと広角側にズーミングして、撮影できる範囲が広くなります。
- T ボタンを押すと望遠側にズーミングして、被写体が拡大されます。

電子ズーム

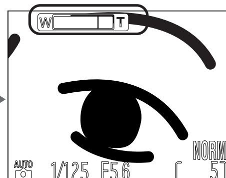
光学ズームを最も望遠側にして、Tボタンを2秒以上押し続けると、さらに4倍までの電子ズーム（合計 16 倍）が自動的に作動します。



T ボタンを押して光学ズームを最も望遠側にします。

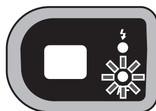


T ボタンを 2 秒以上押し続けます。



電子ズームが作動すると、ズーム表示が黄色に変わります。

- 電子ズームの作動中は AF ランプが低速点滅します。



- 電子ズームを解除するには、W ボタンを押すと電子ズームの倍率が低くなり、さらに押し続けると電子ズームが解除されます。また、電源をOFFにしても解除されます。

電子ズームの注意点

- 撮影メニューの「ズーム：電子ズーム」（123）で OFF に設定すると、電子ズームは作動しません（初期設定は ON）。
- 液晶モニタの消灯時や、画質モードのHI（111）、連写モード（105）のマルチ連写、UH 連写、彩度調整のモノクロまたはセピア（110）にセットされているときは、電子ズームは作動しません。
- 動画撮影中は電子ズームのみ使用できます。光学ズームは作動しません。
- 電子ズームの作動中は、ファインダーで見える範囲と撮影される範囲が異なります。必ず液晶モニタで構図を確認してください。
- 電子ズームの作動中は、AF エリアは中央に固定され、測光モードは中央部重点測光相当になります。
- 電子ズームは画像の中央部分を画面全体に拡大するため、電子ズームの倍率が高くなるにつれ、粒子の粗い画像になります。

スピードライトモードについて

撮影状況に応じて 5 種類のスピードライトモードを選択できます。

スピードライトモード	内　容
(表示なし) 自動発光	被写体が暗い場合にシャッターボタンを半押しすると、内蔵スピードライトが自動的に上がり、撮影時に発光します。内蔵スピードライトが上がっていても、被写体が明るい場合は発光しません。
発光禁止	内蔵スピードライトの発光を禁止します。
赤目軽減 自動発光	内蔵スピードライトが発光する前に、あらかじめ数回小発光させて人物の目が赤く写る赤目現象を軽減します。ポートレート撮影に使用します(被写体が調光範囲内にいて小発光を見つめると効果的です)。小発光からシャッターがきれるまで多少時間がかかりますので、動いている被写体や早くシャッターをきりたい場合などにはおすすめできません。
強制発光	被写体の明るさにかかわらず、内蔵スピードライトが発光します。逆光時などに使用します。
スロー シンクロ	自動発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせることにより、被写体も背景も明るく写します。

• 50cm未満の近距離で内蔵スピードライトを発光した場合、画像にケラレ（光が行きわたらない部分）が生じることがあります。

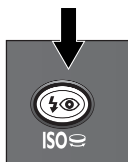
内蔵スピードライトが発光しない場合

次のような場合は、内蔵スピードライトが自動的に発光禁止になります。

• 遠景モードにセットした場合（63）
• 単写以外の連写モードにセットした場合（105）
• OFF 以外のコンバータモードにセットした場合（116）
• 「スピードライト：発光切替」の「内蔵発光禁止」にセットした場合（126）

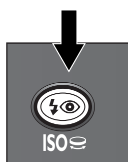
スピードライトモードは ボタンを押してセットします。

1



ボタンを押して、セットしたいスピードライト表示を表示させせます。

2

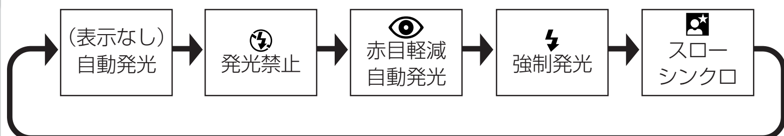




セットするスピードライトモードが液晶モニタに表示されるまで繰り返し ボタンを押してください。

- スピードライトモードが自動発光にセットされている場合は、液晶モニタにアイコンが表示されません。

スピードライトモードは次のように切り換わります。



- セットされているシーンモードによっては選択できないスピードライトモードがあります（49～54）。

「スピードライト：ポップアップ」を「マニュアル」に設定している場合

撮影メニューの「スピードライト：ポップアップ」を「マニュアル」に設定している場合(125)には、 ボタンを押して内蔵スピードライトを上げた後にスピードライトモードを選択します。なお、この場合は被写体の明るさに関係なく常に発光します。マニュアル時のスピードライトモードは次のように切り換わります。



内蔵スピードライトの取り扱いについて

- 収納されている内蔵スピードライトを無理に手で持ち上げないでください。破損の原因となります。内蔵スピードライトは撮影メニュー「スピードライト：ポップアップ」（125）で自動的に上がる（オート）か、ボタン操作で上げる（マニュアル）かを選択できます。
- 内蔵スピードライトを収納するときは、内蔵スピードライトをまっすぐに押し下げてください。斜めの力をかけて押し下げると内蔵スピードライトに傷が付くことがあります。また内蔵スピードライトを収納する時に爪や指、髪の毛などをはさまないようにご注意ください。
- 内蔵スピードライトを使用しない場合は、内蔵スピードライトの保護のため、収納することをおすすめします。

カメラを構えるときのご注意

- 内蔵スピードライトは撮影状況によって自動的に上がります。上がっている内蔵スピードライトを指などで押さえて撮影しないでください。この場合シャッターボタンを半押ししたときに、液晶モニタに警告が表示され、スピードライトランプが高速点滅します。
- スピードライト発光部や調光センサーなどに指や髪、ストラップ、ACアダプタのコードがかからないように注意してください。

低速シャッター時のご注意

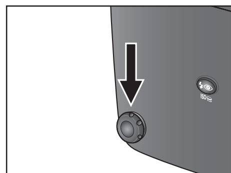
- シャッタースピードが1/4秒より遅くなる撮影では、画像の暗い部分に星状のノイズが生じることがあります。このような場合には液晶モニタのシャッタースピード表示が黄色に点灯して警告します。星状のノイズはノイズ除去（130）により軽減することができます。
- シャッタースピードが1/30秒より遅くなる撮影では、手ブレを警告するアイコンが液晶モニタに表示されます。この場合、三脚を使用するか、安定した台などにのせて、カメラを固定することをおすすめします。

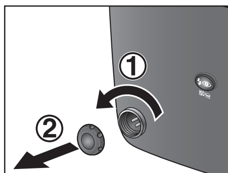
スピードライトランプが点滅しているときは

シャッターボタンを半押ししてスピードライトランプが点滅する場合は、内蔵スピードライトが充電中です。いったんシャッターボタンから指を離して、スピードライトランプが点灯してから再度シャッターボタンを押してください。

増灯ターミナル

COOLPIX4500と増灯ブラケットSK-E900（別売）および使用可能な当社製スピードライト（別売）を組み合わせて使用することで、外付けスピードライトの増灯撮影が可能になります。





増灯ターミナルのキャップをはずし、増灯アダプタのカメラ取り付けプラグを接続します。

- 使用可能な当社製外付けスピードライトはSB-80DX、SB-30、SB-28DX、SB-28、SB-26、SB-25、SB-24、SB-22s、SB-22です。その他の当社製外付けスピードライトをご使用の場合は、当社サポート部門までお問い合わせください。
- 外付けスピードライトは撮影状況に応じてスピードライトモードを選択できます（127）。
- マクロモードでの撮影時は、光が十分に行きわたらない（ケラレる）ことがありますのでご注意ください。
- 外付けスピードライトの照射角は28mmよりも広角側にセットしてください。また、外付けスピードライトの種類によってはオートパワーズーム機能がありますが、COOLPIX4500との組み合わせでは機能しません。マニュアルで照射角をセットしてください。
- 外付けスピードライトの発光モードをTTLにセットしてください。
- 外付けスピードライトのアクティブ補助光は点灯しません。
- 増灯ブラケットSK-E900、外付けスピードライトの基本的な性能や使用方法については、各使用説明書をご覧ください。

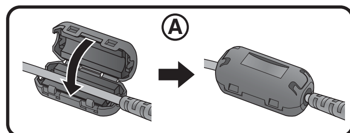
✔ 他社製のスピードライトについて

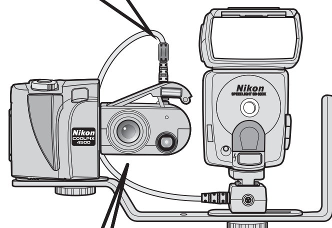
他社製のスピードライト（カメラの増灯ターミナルにマイナス電圧や250V以上の電圧がかかるもの、アクセサリーシュー部の接点をショートさせてしまうもの）を使用しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないだけでなく、カメラおよびスピードライトのシンクロ回路を破損するおそれがあります。

外付けスピードライト使用時のご注意

- COOLPIX4500と外付けスピードライト（別売）を組み合わせてご使用になる場合には、付属のフェライトコアを図Ⓐのように接続ケーブルに取り付けます。

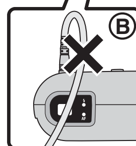
  ※ 取り付けの対象となる接続コードは、増灯アダプタAS-E900（増灯ブラケットSK-E900に付属）、シンクロコードSC-25（SK-9ブラケットセットに付属）および増灯ケーブルSC-18、SC-19です。





増灯ブラケットSK-E900
に取り付けた場合

- 増灯スピードライト使用時には、接続ケーブルがファインダー部の邪魔にならないように接続してください（図Ⓑ）。



外付けスピードライトを発光させる場合のご注意

外付けスピードライトを発光させる場合は、内蔵スピードライトの調光センサーを使用します。

- 露出モードがAUTOモードまたはシーンモードの場合、あるいは撮影メニューの「スピードライト：ポップアップ」（125）を、「オート」（初期設定）に設定している場合は、被写体が暗いと調光センサーを使用するために内蔵スピードライトが自動的に上がりますので、内蔵スピードライトを指などで押さえないようにしてください。
- 調光センサーに指や髪、ストラップ、増灯コードや、ACアダプタのコードがかからないように注意してください。

動画撮影（P、S、A、M のいずれかの露出モード）

露出モードが **P**、**S**、**A**、**M** のときに、画像サイズが 320 × 240 の動画を、音声付きで約 35 秒間撮影することができます。

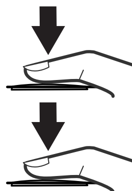
1 **P**、**S**、**A**、**M** のいずれかの露出モードにセットします。

2 撮影メニューの「連写」（105）を「動画」に設定します。

- メニューの操作方法については「メニュー操作」（97）をご覧ください。

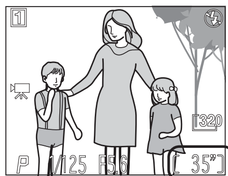


3 シャッターボタンを深く押し込むと、動画の撮影を開始します。



4 シャッターボタンをもう一度深く押し込むと、動画の撮影を終了します。

- 液晶モニタには、撮影可能コマ数表示のかわりに、記録可能な時間が表示されます。
- 動画は撮影開始後 35 秒経過した場合や、コンパクトフラッシュカードの記録容量がなくなった場合に自動的に終了します。



- 動画は画像サイズ 320 × 240 で 15 フレーム / 秒で撮影されます。拡張子は「.MOV」の「Quick Time ムービーファイル」として記録されます。
- 動画の再生については「動画再生」（85）をご覧ください。

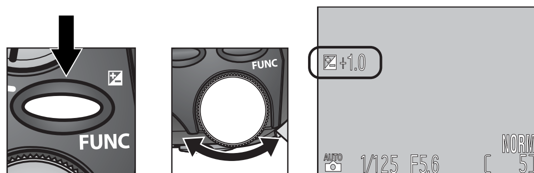
動画撮影時について

- ズームは電子ズーム（70）のみ作動します。
- スピードライトは発光しません。
- 対面撮影を行った場合は、液晶モニタに表示される画像と再生される画像はいずれも上下逆となります。
- 動画撮影時では、AF モードが S-AF にセットされている場合には、シャッターボタンを押したときにピントが固定されます（初期設定）。（122）

露出補正

被写体が極端に明るい場合や、暗い場合、被写体の明るさの差が著しく異なる場合は、作画意図に応じてカメラが決めた適正露出を意図的に変える露出補正を行うことができます。

露出補正は－2.0EVから＋2.0EVの範囲で、1/3ステップごとにセットすることができます。露出補正をセットするには、(露出補正) ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。



- ±0.0 以外にセットされると、液晶モニタに (露出補正マーク)と補正値が表示されます。

FUNC ボタン

セットアップメニューの「ボタン設定：FUNC」(136) により、(露出補正) ボタンで他の機能がセットできるように変更できます。ただし、その場合は、ボタンで露出補正値をセットすることはできません。

露出補正値の選択

- 構図の大部分が非常に明るい場合（太陽が反射する水や砂、雪を撮影する場合など）、背景が被写体よりも明るすぎる場合は、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。被写体が暗すぎるときは補正値を＋側にセットしてください。
- 構図の大部分が非常に暗い場合（濃い緑の森を撮影する場合など）、背景が被写体よりも暗すぎる場合は、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。被写体が明るすぎるときは補正値を－側にセットしてください。

露出補正をキャンセルするには

露出補正をキャンセルするときには、露出補正値を±0.0にセットしてください。ただし、AUTOモードおよびシーンモードセット時は電源をOFFにするか、他の露出モードに切り換えるとキャンセルできます。

撮影メニュー：露出制御（119）

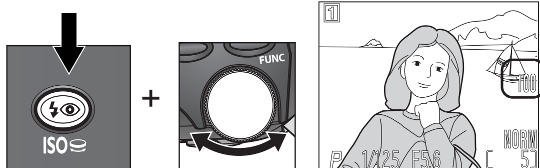
露出補正は、撮影メニューの「露出制御：露出補正」でも行えます。

撮像感度について

撮像感度を撮影目的に応じて変更することができます。

セットできる撮像感度は 100、200、400、800（それぞれISO感度相当）と AUTO です。AUTO にセットした場合は、通常は標準感度の ISO100 相当にセットされますが、低輝度時には自動的に感度が上がります。

露出モードを P、S、A、M のいずれかにセットし、⚡◉ ボタンを押しながら、コマンドダイヤルを回して、セットしたい撮像感度を表示してください。



• 撮像感度は次のように切り換わります。



• AUTO にセットして感度が自動的にアップしているときは、液晶モニタに感度変更表示（ISO）が表示されます。

• AUTOにセットしても、露出モードで**S**（シャッター優先オート）または**M**（マニュアル露出）が選択されている場合は、撮像感度は ISO100 相当のままとなります。

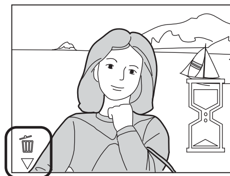
• 撮像感度の感度変更は、露出モードが **P**、**S**、**A**、**M** にセット時のみです。

高感度撮影について

撮像感度が上がるほど、ザラついた画像になる傾向が強くなります。暗い場所や速い被写体の撮影以外は、100で撮影することをおすすめします。通常の撮影では、400より低い感度での撮影をおすすめします。800 は高速シャッタースピードで手ブレを防止したい場合などに使用してください。800 にセットする場合はザラついた画像になるため、撮影メニューの「輪郭強調」（115）をOFF にして撮影してください。なお、800 にセットすると、液晶モニタに「800」と赤色で表示されます。

記録中の画像の削除

画質モードがHI、連写モードがUH連写または動画にセットされている場合、撮影された画像がコンパクトフラッシュカードに記録されている間に液晶モニタに 🗑▽ が表示されます。この場合、次の操作が可能です。



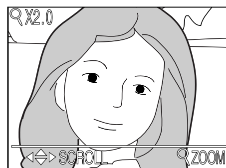
目的	ボタン	カメラの動作
表示されている画像を削除する	🗑 ▽ (ボタン)	ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターを▲/▼に倒して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択し、マルチセレクターの中央部を押すと、選択が実行されます。 削　除 削除します よろしいですか？ いいえ はい • **「いいえ」**：画像は削除されずコンパクトフラッシュカードに記録されます。 • **「はい」**：画像は記録されず削除されます。 ただし、セットアップメニューの「削除禁止」（143）がONになっている場合は、画像の削除はできません。

再生機能の詳細

この章では、再生モード時の拡大表示、スモールピクチャーの作成、音声メモ、動画再生など再生機能の詳細について説明します。

拡大表示モード

1コマ再生モード時に(T)ボタンを押すと、表示された画像を拡大表示します。



機能	ボタン	内　容
画像を拡大表示する	(T)	Tボタンを押すごとに画像を拡大表示します。最大約6倍まで拡大されます。拡大表示中は アイコンと拡大倍率が液晶モニタの左上に表示されます。
画像の他の部分を表示する		マルチセレクターを◀/▶/▲/▼に倒すと、画像をスクロールさせて、見たい部分に移動することができます。
拡大表示を終了する	W	拡大表示時に W ボタンを押すと、拡大表示を終了して1コマ再生モードに戻ります。

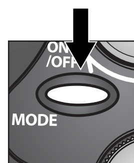
拡大表示モードについて

- 拡大表示の状態から前後の画像を表示する場合には、いったん拡大表示モードを終了してから画像の表示を切り換えてください。
- 画質モードがHIの画像では、拡大画像の表示までに時間がかかることがあります。
- UH 連写の画像、動画、スモールピクチャーの拡大表示はできません。

スモールピクチャーの作成

再生モードの 1 コマ表示時に MODE（SMALL PIC.）ボタンを押すと、元の画像とは別に表示している画像の画像サイズを縮小したスモールピクチャー（縮小画像）を作成します。ファイルサイズが小さいので電子メールで送ったりホームページで使用する場合に適しています。スモールピクチャーの画像サイズは、再生メニューの「縮小画像サイズ」（156）で 640 × 480、320 × 240、160 × 120、96 × 72 から選択することができます。

1

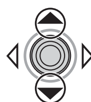




スモールピクチャーを作成する画像を表示させて MODE（SMALL PIC.）ボタンを押します。

- 確認画面が表示されます。

2

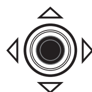


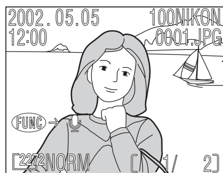


マルチセレクターを▲または▼に倒して「はい」を選択します。

- スモールピクチャーの作成を中止する場合は「いいえ」を選択してマルチセレクターの中央部を押します。

3

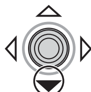


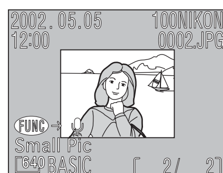


マルチセレクターの中央部を押します。

- スモールピクチャーが作成されて、元の画像が表示されます。

4





▼に倒して、作成したスモールピクチャーを確認します。

- 作成されたスモールピクチャーは、最後に記録された画像の一つ後にグレー色の枠で表示されます。
- スモールピクチャーは、サムネイルモードでもグレー色の枠で表示されます。
- スモールピクチャーの撮影日時は、元の画像と同じです。

スモールピクチャーは元画像とは別の画像として記録されます。

- スモールピクチャーの画質モードは、元画像の画質モードにかかわらずBASICになります。
- スモールピクチャーのファイル名は、先頭文字「SSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に1を加えた番号）を付けた名前（拡張子は.JPG）となります。例：SSCN0015.JPG
- 元画像を削除してもスモールピクチャーは削除されません。またスモールピクチャーを削除しても元画像は削除されません。
- 元画像のプリント指定やプロテクト設定はスモールピクチャーには反映されません。またスモールピクチャーのプリント指定やプロテクト設定は元画像には反映されません。個別に設定してください。
- スモールピクチャーの拡大表示はできません。
- コンパクトフラッシュカードのメモリー残量が少ない場合、スモールピクチャーを作成できないことがあります。画像の削除などを行って、メモリー残量を確保してからスモールピクチャーを作成してください。

スモールピクチャーが作成できない場合

次の場合はスモールピクチャーを作成することはできません。

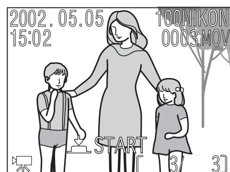
- スモールピクチャーからさらにスモールピクチャーを作成する場合
- レビュー再生モード時
- UH連写および動画で撮影した画像、または画質モードがHIの画像からスモールピクチャーを作成する場合

スモールピクチャーについてのご注意

- COOLPIX4500で作成されたスモールピクチャーをCOOLPIX4500以外のデジタルカメラで再生すると、正常に表示できない場合やパソコンへの転送ができない場合があります。
- COOLPIX4500以外のデジタルカメラで撮影された画像に対しては、スモールピクチャー機能の動作は保証しておりません。

動画再生

動画は１ コマ再生モード時に液晶モニタで再生することができます。動画の画像には、動画であることを示すアイコン 🎥 が表示されます。



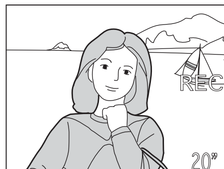
機能	ボタン	内 容
再生を開始する		マルチセレクターの中央部を押すと、動画の再生を開始します。再生が終了すると、最後のフレームが約１秒表示され、続いて最初のフレームが表示されます。
再生中に一時停止／再開する		動画の再生中にマルチセレクターの中央部を押すと、動画は一時停止します。もう一度押すと再開します。
一時停止中に１フレーム戻る		動画を一時停止している間にマルチセレクターを▲または◀に倒すと、動画中の１フレーム前の画像をコマ送りで戻します。
一時停止中に１フレーム送る		動画を一時停止している間にマルチセレクターを▼または▶に倒すと、動画中の１フレーム後の画像をコマ送りで再生します。最後のフレームが表示されて一時停止している場合は再生が終了し、最初のフレームに戻ります。
音声の大きさを選択	W / T	動画再生中に W ボタンまたは T ボタンを押すと、液晶モニタに音声表示（◢、◢、◿）が表示され、音声の大きさを大、小、または音声なしの中から選択することができます。W ボタンを押すと音声は小さくなり、T ボタンを押すと音声は大きくなります。

動画で対面撮影を行った場合

対面撮影を行った動画を表示・再生する場合、画像の上下が逆になります。

音声メモ

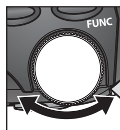
1コマ再生モード時に表示されている画像に対して音声メモを録音します。音声メモは音声ファイル(.WAV)としてコンパクトフラッシュカードに記録され、画像には♪マークが表示されます。



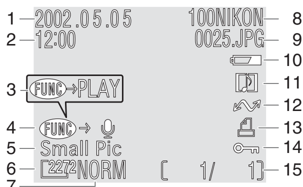
機能	ボタン	内容
録音する	FUNC	FUNCボタンを押している間、最長で約20秒まで音声を録音します。FUNCボタンから指を離すか、約20秒経過すると録音が終了します。録音中は液晶モニタに「REC」が点滅し、録音可能な時間が表示されます。 •録音可能な画像には「FUNC→🎤」が表示されます。
再生する	FUNC	音声メモが録音された♪マーク付の画像を表示中にFUNCボタンを1回押すと、音声メモを再生します。FUNCボタンをもう1回押すか、録音内容が終了すると再生を停止します。再生中はマルチセレクターの中央部を押して、一時停止/再開を行うことができます。
音声メモを消去する	🗑	音声メモの再生中に🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。マルチセレクターを▲または▼に倒して、「いいえ」か「はい」のいずれかを選択します。マルチセレクターの中央部を押すと、選択が実行されます。 [画面: 削除 / ♪削除します よろしいですか？ / いいえ / はい / ◀戻る MENU OFF] • **いいえ**：音声メモは削除されません。 • **はい**：再生中の音声メモが削除されます。
音声の大きさを選択する	W / T	音声メモの再生中にWボタンまたはTボタンを押すと、音声の大きさを大、小、または音声なし（◢、◢、◺）の中から選択することができます。Wボタンを押すと音声は小さくなり、Tボタンを押すと音声は大きくなります。

画像情報の切り換え

1コマ再生モード時にコマンドダイヤルを回すと、表示中の画像に関する画像情報の内容が切り換わります。次の内容を表示できます。



1.　基本画面



1	撮影日付
2	撮影時刻
3	音声メモ再生ガイド
4	音声メモ録音ガイド
5	スモールピクチャー表示（スモールピクチャーで表示）
6	画像サイズ
7	画質モード
8	フォルダ名
9	ファイル名（下４ケタを表示）
10	バッテリーチェック表示（バッテリーの残量が少ないときに表示）
11	音声メモ表示（音声メモが録音された画像に表示）
12	転送マーク（転送設定された画像に表示）
13	プリント表示（プリント設定された画像に表示）
14	プロテクト表示（プロテクト設定された画像に表示）
15	表示画像番号 / 選択されているフォルダで表示可能な総画像コマ数

2.　詳細情報表示画面（1）



1	撮影カメラ
2	カメラのファームウェアのバージョン（COOLPIX4500 の撮影画像のみ）
3	測光方式
4	露出モード
5	シャッタースピード
6	絞り値

ファイル名とフォルダ名

COOLPIX4500 で撮影した画像は、DSCN＋４桁の番号（スモールピクチャーの場合はSSCN＋４桁の番号、アオリ効果画像の場合は TSCN＋４桁の番号）というファイル名で記録されます。このファイル名はカメラが自動的に作成するもので、４桁の番号は撮影順に連番でつけられます。各ファイル名の最後にはファイルのタイプを示す拡張子がつきます。画質モードが FINE、NORMAL、BASIC 時は .JPG、HI 時は .TIF、動画の場合は .MOV、音声メモの音声ファイルの場合は .WAV です。また、ファイルを保存するフォルダもカメラが自動的に作成し、フォルダ名には３桁のフォルダ番号がつけられます。

3. 詳細情報表示画面（2）

1 — EXP +/− : 0.0
2 — FOCAL LENGTH : f7.85mm
3 — FOCUS : A F
4 — SPEED LIGHT : OFF
5 — IMG ADJUST : AUTO
6 — SENSITIVITY : AUTO

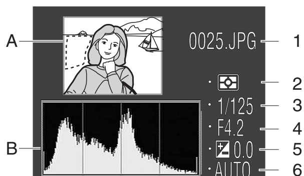
1	露出補正
2	焦点距離
3	フォーカスモード
4	スピードライト
5	階調補正
6	撮像感度

4. 詳細情報表示画面（3）

1 — WHITEBAL : AUTO
2 — SATURATION : 0
3 — SHARPNESS : AUTO
4 — DIGITAL TELE : X1.00
5 — CONVERTER : OFF
6 — FILE SIZE : 912KB

1	ホワイトバランス
2	彩度調整
3	輪郭強調
4	電子ズームの倍率
5	コンバータ
6	撮影画像のファイルサイズ

5. ヒストグラム表示画面



A	画像のハイライト部分を白黒の点滅で表示します。
B	画像の輝度分布をヒストグラムで表示します。横軸は輝度（0～255）を、縦軸はドット数を表します。軸のスケールはドット数の最大値により変わります。

1	ファイル名
2	測光方式
3	シャッタースピード
4	絞り値
5	露出補正値
6	撮像感度

6. ピーキング表示画面

画像中でピントが合っている被写体の輪郭を強調して表示します。



1	ファイル名
2	焦点距離
3	シャッタースピード
4	絞り値
5	フォーカスモード
6	ノイズ除去
7	選択 AF エリア（赤色で表示）

メニュー画面


メニュー一覧


メニュー操作


撮影メニュー


セットアップメニュー


再生メニュー

この章ではカメラのメニュー画面について詳しく説明します。

メニュー一覧（90～96）
COOLPIX4500 で操作できるメニューを一覧で紹介します。

メニュー操作（97～99）
メニュー画面の操作方法を説明します。

撮影メニュー（100～133）
撮影に関する詳細な設定を行う撮影メニューについて説明します。

セットアップメニュー（134～145）
カメラの基本的機能の設定を行うセットアップメニューについて説明します。

再生メニュー（146～162）
撮影された画像に関する詳細な設定を行う再生メニューについて説明します。

メニュー一覧



撮影（画質・画像サイズ）メニュー

（AUTOモードまたはシーンモードセット時）

AUTOモードまたはシーンモードセット時に操作できるメニューです。「画質・画像サイズ」メニューでは、画質モード、画像サイズが変更できます。



画質モード

画像を記録するときの圧縮の比率を3種類の中から選択します。

 111

▶ FINE
NORMAL
BASIC

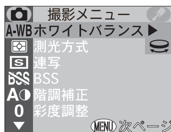


画像サイズ

画像サイズ（ピクセル数）をAUTOモード時は6種類、シーンモード時は2272 × 1520(3:2)を除く5種類から選択します。

 112

▶ 2272 × 1704
1600 × 1200
1280 × 960
1024 × 768
640 × 480
2272 × 1520(3:2)

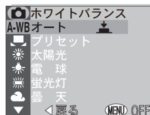


撮影メニュー

（露出モードを**P**、**S**、**A**、**M**にセット時）

露出モードを**P**、**S**、**A**、**M**にセット時に操作できる18項目の撮影に関するメニューです。

- マークが付いている項目は、メニュー画面でコマンドダイヤル操作によって設定内容を切り換えることができます。



ホワイトバランス

撮影状況に合わせて、ホワイトバランスを選択します。

 101

▶ A-WB オート
プリセット
太陽光
電球
蛍光灯
曇天
スピードライト



測光方式

露出を検出する測光方式を、撮影状況に応じて選択します。

 104

▶ マルチ
スポット
中央重点
AF スポット

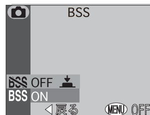


連写

撮影状況に合わせて単写、連写などの連続撮影モード、および動画を選択します。

 105

▶ 単写
連写
マルチ連写
UH 連写
動画



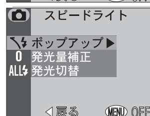
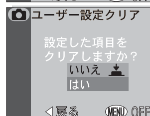
BSS

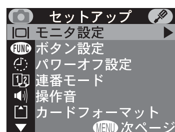
BSS（ベストショットセレクタ：手ブレの影響が最も少ない画像を選択して記録する機能）を設定します。

 108

▶ OFF
ON

メニュー	説明	参照ページ	設定
階調補正	画像のコントラストや明るさを調整します。	109	AUTO / 標準 / コントラスト強め / コントラスト弱め
彩度調整	画像の鮮やかさを調整します。	110	+2 彩度+2 / +1 彩度+1 / 0 標準 / −1 彩度−1 / −2 彩度−2 / モノクロ / セピア
画質モード	画像を記録するときの圧縮の比率を4種類の中から選択します。	111	HI / FINE / NORMAL / BASIC
画像サイズ	画像サイズ（ピクセル数）を6種類から選択します。	112	2272 × 1704 / 1600 × 1200 / 1280 × 960 / 1024 × 768 / 640 × 480 / 2272 × 1520(3:2)
カスタム No.	メニューの設定内容の組み合わせを3とおり記憶させ、一括して呼び出します。	114	1 / 2 / 3
輪郭強調	撮影した画像の輪郭を強調する度合いを設定します。	115	オート / 強 / 標準 / 弱 / OFF
コンバータ	各種コンバータを使用する撮影に適したカメラの設定を行います。	116	OFF / ワイドコンバータ / テレコンバータ1 / テレコンバータ2 / フィッシュアイ1 / フィッシュアイ2 / スライドアダプタ
露出制御	露出をコントロールします。	119	露出固定 ▶ OFF/ON/ リセット 露出補正 ▶ − 2.0 〜+ 2.0
フォーカス	ピント合わせについて設定します。	121	AF エリア選択 ▶ オート/マニュアル/OFF AF モード ▶ C-AF/S-AF ピーキング ▶ MF/ON/OF

	**ズーム** ズーム機能について設定します。 123	電子ズーム 起動時ズーム位置 ズーム時F値保持	OFF/ON OFF時位置/WIDE OFF/ON
	**スピードライト** 内蔵および別売スピードライトに関する設定を行います。 125	ポップアップ 発光量補正 発光切替	オート/マニュアル －2.0～＋2.0 内蔵発光禁止/ALL 内蔵＋外部
	**ブラケティング** 露出またはホワイトバランスを自動的にずらした複数の画像の撮影をします。 128	OFF ON WB-BKT	3、±0.3/3、±0.7/3、±1.0/5、±0.3/5、±0.7/5、±1.0
	**ノイズ除去** 長時間露出時に生じるノイズを軽減します。 130	OFF ON	
	**ユーザー設定クリア** 各メニューで設定した内容を初期設定に戻します。 131	いいえ はい	



セットアップメニュー

（撮影モードで露出モードが **P**、**S**、**A**、**M** にセット時）

カメラの基本的な機能の設定を行う 13 項目のメニューです。

モニタ設定 液晶モニタに関する設定を行います。	135	モニタ表示	モニタON/レビューON/レビューOFF/モニタOFF
		画面の明るさ	（5段階にセット可能）
ボタン設定 各ボタンの設定状態の記憶と、FUNC ボタンの割り当てを行います。	136	FUNC	☒ / 連写 / QUAL / ホワイトバランス / 測光方式
		AE-L, AF-L	AE-L&AF-L/AE-L/AF-L
パワーオフ設定 操作を行わないと自動的にカメラの電源を OFF にするオートパワーオフ機能の作動時間をセットします。	137		30 秒 1 分 5 分 30 分
連番モード 画像ファイルに連続する通し番号を自動的に付ける設定を行います。	138		ON OFF リセット
操作音 カメラの状態を知らせる操作音を設定します。	139		OFF ON
カードフォーマット コンパクトフラッシュカードのフォーマット（初期化）を行います。	140		いいえ フォーマットする
日時設定 カメラに内蔵された時計の日時を設定します。	141		年・月・日・時・分 日付表示順



撮影確認 LED

セルフタイマーランプを撮影時の確認ランプとして点灯できます。

141

- OFF
- ON

info.txt

撮影データをテキストファイルとしてコンパクトフラッシュカードに記録します。

142

- OFF
- ON

ビデオモード

ビデオ出力方式を選択します。

142

- NTSC
- PAL

言語（LANG）

メニューなど液晶モニタに表示する言語を選択します。

143

- De（ドイツ語）
- En（英語）
- Fr（フランス語）
- 日（日本語）
- Es（スペイン語）

削除禁止

全画像を削除禁止に設定します。

143

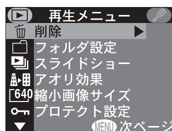
- OFF
- ON

USB

パソコンと接続するときの通信方法を選択します。

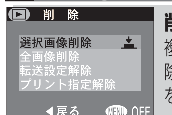
144

- PTP
- Mass Storage



再生メニュー

撮影画像に関する詳細な設定や操作を行う9項目のメニューがあります。再生モード時に操作できます。

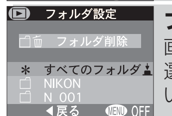


削除

複数の画像の同時削除や全画像削除、転送設定およびプリント指定を解除します。


147

- 選択画像削除 ▶ （画像の選択）
- 全画像削除
- 転送設定解除
- プリント指定解除

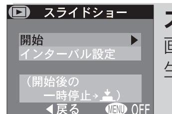


フォルダ設定

画像を再生するフォルダの選択や、フォルダの削除を行います。


149

- フォルダ削除 ▶ （フォルダの選択）
- すべてのフォルダ
- （フォルダ選択）

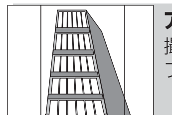


スライドショー

画像を一定間隔で順番に再生します。


151

- 開始
- インターバル設定 ▶ 2秒/3秒/5秒/10秒



アオリ効果

撮影済みの画像にアオリ処理をして、別ファイルとして保存します。


153

▶ 操作画面

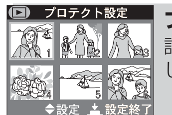


縮小画像サイズ

スモールピクチャーの画像サイズを指定します。


156

- 640 640 × 480
- 320 320 × 240
- 160 160 × 120
- 96 96 × 72



プロテクト設定

記録画像を不用意に削除しないように保護します。


157

▶ （画像の選択）

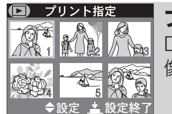


非表示設定

記録されている画像が再生画面や選択画面で表示されないように設定します。


158

▶ （画像の選択）

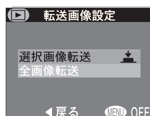


プリント指定

DPOF 対応のプリンタでプリントする画像の選択とプリント枚数を設定します。


159

▶ （画像の選択とプリント枚数の設定、および日付・撮影情報印字選択）



転送画像設定
パソコンに転送するための、転送マークを付ける画像を指定します。  161

選択画像転送 ▶（画像の選択）
全画像転送



セットアップメニュー（再生モード時）

カメラの基本的な機能の設定を行う6項目のメニューです。これらのメニュー項目は、撮影モード時のセットアップメニューでも操作可能です。



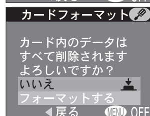
画面の明るさ
液晶モニタの明るさを5段階から設定できます。  135

▶（5 段階にセット可能）



操作音
カメラの状態を知らせる操作音を設定します。  139

▶ OFF
ON



カードフォーマット
コンパクトフラッシュカードのフォーマット（初期化）を行います。  140

▶ いいえ
フォーマットする



日時設定
カメラに内蔵された時計の日時を設定します。  141

▶ 年・月・日・時・分
日付表示順



ビデオモード
ビデオ出力方式を選択します。  142

▶ NTSC
PAL



言語（LANG）
メニューなど液晶モニタに表示する言語を選択します。  143

▶ De（ドイツ語）
En（英語）
Fr（フランス語）
日（日本語）
Es（スペイン語）

メニュー操作

表示できるメニューは、セットされているモードによって異なります。

- 撮影モードで AUTO モードおよびシーンモードセット時は、「画質・画像サイズ」メニューが表示されます。
- 撮影モードで露出モードが**P**、**S**、**A**、**M**にセット時は、撮影メニューとセットアップメニューが表示されます。
- 再生モード時は再生メニューとセットアップメニューが表示されます。

1 メニュー画面を表示します。



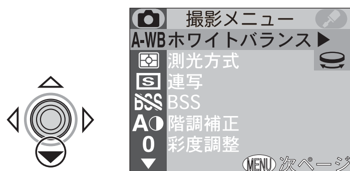
- 撮影モード時にMENUボタンを押すと撮影メニューが、再生モード時にMENUボタンを押すと再生メニューが表示されます。
- 撮影モードで AUTO モードセット時は、MENUボタンを押すと「画質・画像サイズ」メニューが表示されます。
- 撮影モードでシーンモードセット時は、MENUボタンを押し、マルチセレクターで を選択してマルチセレクターの中央部を押すと、「画質・画像サイズ」メニューが表示されます。





- 露出モードが **P**、**S**、**A**、**M** にセット時または再生モード時に、セットアップメニュー画面を表示する場合には、メニュー画面タイトルの横にある または アイコンだけが選択されているときにマルチセレクターを▶に倒して を選択します。

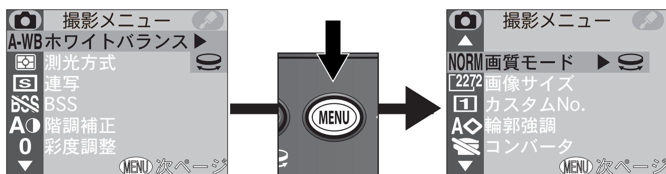
2 メニューに入ります。



マルチセレクターを▼に倒すと、メニュー項目が選択可能になります。

3 ページを切り換えます。

メニュー画面が2ページ以上ある場合、MENUボタンを押してページを切り換えます。



- 画面の下に「OFF」が表示されるページは最終ページです。MENU ボタンを押すとメニュー画面を終了します。
- マルチセレクターの▲または▼で画面をスクロールさせて、前後のページに移動することもできます。

4 メニュー項目の内容を設定します。

4.1



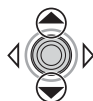
▲または▼で設定するメニュー項目を選択します。

4.2



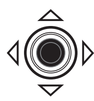
▶に倒すと、設定内容の選択肢が表示されます。

4.3



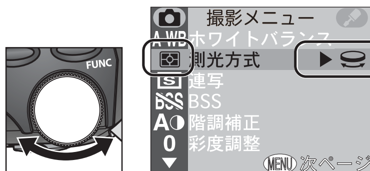

▲または▼で設定内容を選択します。さらにサブメニューが表示される場合は、手順4.2～4.3を繰り返してください。

4.4




マルチセレクターの中央部を押すと、選択された設定内容が決定します。

- 撮影メニュー項目の横に アイコンが表示されている場合は、項目の選択がメインメニュー画面（手順2の画面）からコマンドダイヤルで行えます。現在選択されている設定を示すアイコンは、メインメニュー画面の左端に表示されています。



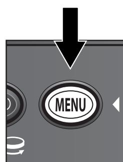
コマンドダイヤルを回します。



選択したい項目のアイコンが表示されるまで回します。

5 メニュー画面を終了します。

メニュー画面を終了して撮影モードまたは再生モードに戻るには、各メニュー画面の最終ページ（画面の下に「OFF」が表示されるページ）を表示してMENUボタンを押します。

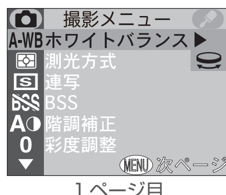


 メニュー画面をすぐに終了させるには

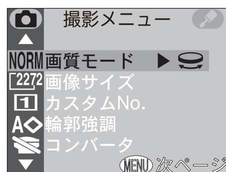
メインメニューの画面（手順2の画面）が表示されているときにマルチセレクターを◀に倒すと、メニュー画面がすぐに終了します。

撮影メニュー

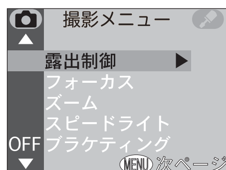
ここでは、撮影モード時に使用する撮影メニュー項目について紹介します。撮影メニューは、露出モード（**P**/**S**/**A**/**M**）で操作可能です。



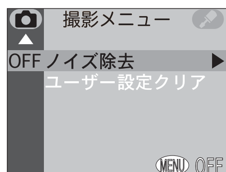
1ページ目



2ページ目



3ページ目



4ページ目

メニュー項目	👁
ホワイトバランス	101
測光方式	104
連写	105
BSS	108
階調補正	109
彩度調整	110
画質モード	111
画像サイズ	112
カスタム No.	114
輪郭強調	115
コンバータ	116
露出制御	119
フォーカス	121
ズーム	123
スピードライト	125
ブラケティング	128
ノイズ除去	130
ユーザー設定クリア	131

ホワイトバランス

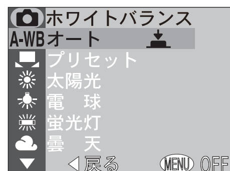
ホワイトバランスについて

人間の目は、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。それに対してデジタルカメラでは、人間の目で白く見える色を画像でも白く見えるようにするには、照明光の色に合わせて調整を行う必要があります。この調整を「ホワイトバランス」を合わせると言います。

ホワイトバランスの設定

露出モードが **P**、**S**、**A**、**M** 時には、撮影時の照明光に合わせて、ホワイトバランスを設定することができます。

（AUTOモードやシーンモードセット時は、照明光の状態に応じてホワイトバランスが自動的にセットされます。）



- ほとんどの場合はA-WB（**オート**）で撮影できますが、意図どおりのホワイトバランスにならない場合や、特定の照明光や撮影条件に固定したい場合には他のホワイトバランスにセットしてください。

設　定	内　容
A-WB **オート**	照明の状態に合わせて、ホワイトバランスを自動的に調整します。
プリセット	撮影者が白い被写体を基準にホワイトバランスを調整できます。セット方法は 103 ページを参照してください。
太陽光	太陽光の下で撮影するときに使用します。
電球	白熱電球を灯している室内で撮影するときに使用します。
蛍光灯	蛍光灯を灯している室内で撮影するときに使用します。
曇天	曇り空の下で撮影するときに使用します。
スピードライト	スピードライト撮影をするときに使用します。

ホワイトバランスの微調整

A-WB（オート）と （プリセット）以外の設定では、ホワイトバランスの微調整が可能です。ホワイトバランスの微調整はコマンドダイヤルを回して行います。微調整は−3〜＋3の範囲で1段ごとに行います。＋側に設定すると画像が青みがかり、−側にすると赤みがかるか黄色っぽくなります。



（蛍光灯）に設定した場合は表のように蛍光灯の種類に応じた設定が可能です。

名称	光源
FL1	白色（W）
FL2	昼白色（N）
FL3	昼光色（D）

ホワイトバランス表示について

ホワイトバランスをオート以外に設定すると、設定したホワイトバランスが液晶モニタに表示されます。



プリセットホワイトバランスについて

プリセットホワイトバランスは、強い色合いの照明下でホワイトバランスを調整する場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など）。「ホワイトバランス」メニューから（プリセット）を選択すると、液晶モニタに右のようなプリセットホワイトバランス設定画面が表示されます。



設定	内容
現在の設定	前回使用されたプリセットホワイトバランスを使用します。
新規設定	プリセットホワイトバランス設定画面に写っている被写体を基準に、新たにホワイトバランスを調整します。

- 「新規設定」を選択する場合は、撮影する照明下で紙などの白い被写体をプリセットホワイトバランス設定画面に映して、マルチセレクターの中央部を押してください。プリセット中はシャッターがきれる音がして、レンズがズーミングしますが、画像は撮影されません。

測光方式

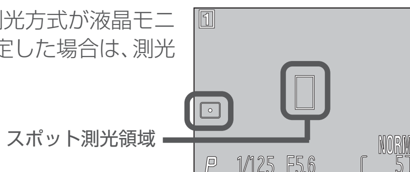
構図や光の状況に適した測光方式を、4つの測光方式から選択します。



設　定	特　徴	用　途
マルチ	CCDの撮像領域を256分割して測光し、最適な露出値を決定するマルチ測光になります。	さまざまな撮影状況に対応します。通常の撮影では、マルチ測光をおすすめします。
スポット	撮影画面中心部の、全体の1/32を占める領域のみで測光するスポット測光になります。測光領域は液晶モニタ中央部に表示されます。	被写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使用します。露出を合わせたい部分が画像中心部にないときは、AEロック（67）を使用してください。
中央重点	撮影画面中央部の、全体の1/4を占める領域に約80%のウェイトを置いて測光する中央部重点測光になります。	ポートレート撮影など重点的に画像中央部に露出を合わせたいときなどに使用します。露出を合わせたい部分が画像中央部にないときは、AEロック（67）を使用してください。
AFスポット	選択しているAFエリアのみが測光されるAFスポット測光になります。	撮影メニューの「フォーカス：AFエリア選択」で「オート」または「マニュアル」にセットされているときに選択できます（121）。AFエリアと連動した測光エリアで撮影する場合に使用します。

測光方式表示について

マルチ以外に設定すると、設定した測光方式が液晶モニタに表示されます。スポット測光に設定した場合は、測光範囲も表示されます。



連写

撮影状況に合わせて単写、連写などの連続撮影モード、および動画を選択します。



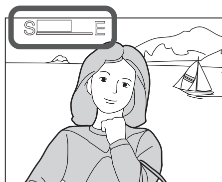
設定	特 徴	セット可能な画質モード	セット可能な画像サイズ	速度（NORMALセット時）
単写	シャッターボタンを押し込むごとに、1コマ撮影します。	全て	全て	—
連写	シャッターボタンを押し続けている間、連続して撮影を行います。	HI以外	全て	約1.5コマ/秒※
マルチ連写	シャッターボタンを押し込むと、連続して16コマの撮影を行います。16コマの画像は4×4コマに並べられて、1つの画像として保存されます。	HI以外	2272×1704	—
UH連写	シャッターボタンを押し込むと、約30コマ/秒で70コマの撮影を行います。撮影を行うごとに専用のフォルダを作成し、一連の画像を保存します。	NORMALに自動設定	320×240に自動設定	約30コマ/秒
動画	シャッターボタンを押し込むと、最長で約35秒の音声付き動画を撮影します。撮影中に再度シャッターボタンを押すと、撮影を終了します。	—	320×240に自動設定	約15フレーム/秒

※画像サイズが2272×1704セット時。ただしカメラ内部のメモリ空き状態により、速度が変化します。

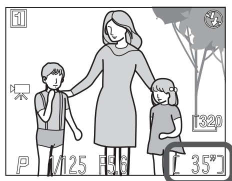
- 連写、マルチ連写、UH連写では、AF、測光値、ホワイトバランスは撮影1コマ目の条件に固定されます。

UH 連写・動画使用時のご注意

- UH連写で撮影を開始すると液晶モニタに進行状況が表示されます。動画を選択するとカウンタ（撮影可能コマ数）の代わりに残り時間（秒）が表示されます。



UH 連写撮影時



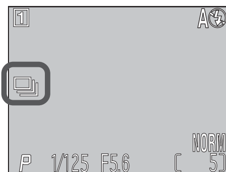
動画選択時

- UH連写で撮影された画像を再生する時には、フォルダ選択を「すべてのフォルダ」にするか、「N_」で始まる専用フォルダを選択してください。
- UH連写および動画では、対面撮影を行った場合は液晶モニタに表示される画像と再生される画像はいずれも上下逆となります。
- UH連写および動画では液晶モニタを点灯して行ってください。液晶モニタを消灯すると、自動的に単写にセットされます。ただし、再度液晶モニタを点灯すると、再びそれぞれの連写モードに戻ります。
- UH連写モードセット時に、撮影メニューの「BSS」（108）、「ピーキング」（122）または「ブラケティング」（128）を同時にセットすることはできません。
- 動画モードセット時に、撮影メニューの「BSS」、「ブラケティング」または「ピーキング」（122）を同時にセットすることはできません。



連写表示について

連写モードを単写以外に設定すると、設定した連写モードが液晶モニタに表示されます。



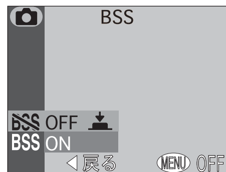


連写時のスピードライト

連写モードを単写以外に設定すると、内蔵スピードライトは使用できません。単写・連写・マルチ連写に設定した場合、増灯ブラケット（74）を併用して、外付けスピードライトが使用できます。ただし、内蔵スピードライトの調光センサーを使用するため、内蔵スピードライトが上がった状態でないと外付けスピードライトは発光しません。

BSS

BSSとは「ベストショットセレクタ」(Best Shot Selector)のことで、手ブレなどで鮮明な画像が得られない場合などに使用します。最大10コマまで連続撮影し、その画像の中でカメラが自動的により鮮明な画像を1コマ選び、コンパクトフラッシュカードに記録します。



BSSをONにすると、次のような手ブレをしやすい撮影時に効果的です。

- カメラを望遠側にズーミングしている場合やテレコンバーターを使用して望遠撮影を行っている場合
- マクロ撮影時
- 照明が暗いときにスピードライトを使用できない場合(例えば、スピードライトが届かないところに被写体があったり、暗い照明で自然な光を撮影する場合など)

設　定	内　容
OFF	BSSをセットしません。
ON	BSSをセットします。シャッターボタンを深く押し続けていると最大10コマの画像を連続撮影し、カメラがその中から自動的により鮮明な画像を1コマ選んでコンパクトフラッシュカードに記録します。フォーカス、露出、ホワイトバランスは撮影する最初の画像で決定します。

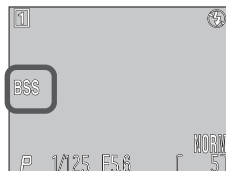
- BSSをONにしても、動きのある被写体を撮影する場合や、連続撮影中に構図を変更した場合には、効果が得られないことがあります。

BSSと併用できない機能

- BSSをONにセット時に、撮影メニューの単写以外の連写モード、ブラケティング、またはノイズ除去を同時にセットすることはできません。
- BSS機能をONにするとスピードライトは発光禁止になります。

BSS表示について

BSS機能をオンにすると、液晶モニタに「BSS」の文字が表示されます。



階調補正

画像のコントラストや明るさを調整します。

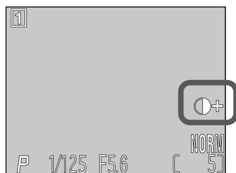


設　定	内　容
A◑ **AUTO**	撮影状況に応じて、カメラが自動的にコントラストや明るさを調整します。
▢ **標準**	標準的な階調に調整します。画像をパソコンでレタッチする場合などに使用します。
◑+ **コントラスト強め**	明暗差を強調して、メリハリをつけます。低コントラストの撮影条件や、曇天での撮影に使用します。
◑− **コントラスト弱め**	明暗差を抑えて、コントラストを低くします。被写体の影を押さえたい場合などに使用します。



階調補正表示について

階調補正をオート以外に設定すると、設定した階調補正が液晶モニタに表示されます。ただし、彩度調整（110）でモノクロが設定されている場合はモノクロアイコン（▐）が、セピアが設定されている場合はセピアアイコン（▦）が表示されます。



彩度調整

色彩の鮮やかさを調整します。

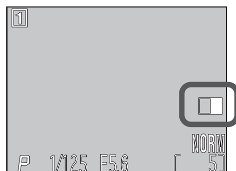


設　定	内　容
+2 **彩度+2**	彩度を鮮やかにします。+1よりも+2の方がより鮮やかになります。画像をプリンタで直接出力する場合に適しています。
+1 **彩度+1**	
0 **標準**	標準的な彩度に調整します。通常の撮影ではこの設定を使用することをおすすめします。
−1 **彩度−1**	彩度を抑えます。−1よりも−2の方がより抑えられます。画像をパソコンでレタッチする場合などに適しています。
−2 **彩度−2**	
モノクロ	撮影画像をモノクロ画像として記録し、液晶モニタの撮影画面もモノクロ画面になります。ファイルサイズはカラー画像と同様ですが、カラー画像に比べて解像感の高い画像になります。
セピア	撮影画像をセピア調の画像として記録し、液晶モニタの撮影画面もセピア調の画面になります。ファイルサイズはカラー画像と同様です。



モノクロ・セピア

彩度調整をモノクロまたはセピアに設定すると、撮影画面もモノクロまたはセピア調の画像となり、各表示が緑色に表示されます。モノクロが設定されている場合はモノクロアイコン（）が、セピアが設定されている場合はセピアアイコン()が液晶モニタ上に表示されます。



画質モード



画像を記録する際に処理を施して画像ファイルの容量を小さくすることを圧縮といいます。COOLPIX 4500は画像をJPEG形式で圧縮して記録します。画質モードによって画像ファイル記録時の圧縮率が決まります。

圧縮率を低くすると：

- ファイルサイズが大きくなるためコンパクトフラッシュカードに記録できる画像数が減少します。
- 画像の細部の描写が維持され、高画質になります。

圧縮率を高くすると：

- ファイルサイズが小さくなるため、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像数が増加します。
- 画像の細部の描写が失われ、画質は低下します。

設定できる画質モードは次のとおりです。

設　定	圧縮率	ファイル形式	内　容
HI ※	非圧縮	TIFF	最も高画質になります。画像ファイルを圧縮しないため、細部の描写が維持されます。
FINE	約1/4	JPEG	画像を拡大する場合や、細かい模様をプリンタで表現したい場合に適しています。
NORMAL	約1/8	JPEG	通常の記念撮影などの画像をパソコンの画面に表示したり、プリントする場合に適しています。
BASIC	約1/16	JPEG	電子メールで送る画像やホームページ用の画像に適しています。

※ AUTOモード、シーンモードセット時は選択できません。
　また、2272 × 1704および2272 × 1520（3:2）以外の画像サイズは選択できません。

画像サイズ

6種類の画像サイズから選択します。画像サイズによって画像のピクセル数（解像度）が決定します。



画像サイズを大きくすると：

- ファイルサイズが大きくなるためコンパクトフラッシュカードに記録できる画像数が減少します。
- 大きくプリントするときに適しています。

画像サイズを小さくすると：

- ファイルサイズが小さくなるため、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像数が増加します。
- 電子メールやホームページで使用するのに適しています。

設定できる画像サイズは次のとおりです。

設定（ピクセル）	プリント時のサイズ（画像解像度を 300dpi に設定した場合）
2272 × 1704	約 19 × 14 cm
1600 × 1200	約 13 × 10 cm
1280 × 960	約 10 × 8 cm
1024 × 768	約 9 × 7 cm
640 × 480	約 5 × 4 cm
2272 × 1520（3:2） ※	約 19 × 13 cm

※シーンモードセット時は選択できません。



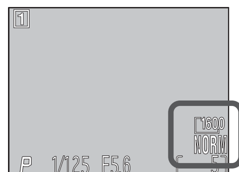
画像サイズとプリントサイズ

小さい画像で大きくプリントしようとすると、粒子の粗い画像になります。また同じ画像サイズでも、プリント時の解像度が高いほど、プリントのサイズは小さくなります。



画質モード表示と画像サイズ表示について

設定した画質モードと画像サイズは、右図のように液晶モニタに表示されます。ただし、画像サイズを2272×1704 に設定した場合は、画像サイズは表示されません。



画質モードと画像サイズの関係

コンパクトフラッシュカードに記録される画像ファイルの大きさは、画質モードと画像サイズで決定します。そのため、コンパクトフラッシュカードに記録できる画像の数は、画質モードと画像サイズの組み合わせによって変わります。16MB、64MB、128MB のコンパクトフラッシュカードに記録できる画像コマ数の目安は次の通りです。

カード	画質モード	画像サイズ					
		2272×1704	1600×1200	1280×960	1024×768	640×480	2272×1520 (3:2)
16MBカード	HI	1	—	—	—	—	1
	FINE	8	16	24	37	86	9
	NORMAL	16	31	47	69	144	17
	BASIC	32	59	86	121	229	34
64MBカード	HI	5	—	—	—	—	6
	FINE	33	65	100	151	347	36
	NORMAL	65	125	190	278	578	71
	BASIC	130	236	347	488	918	139
128MBカード	HI	10	—	—	—	—	12
	FINE	66	130	201	304	698	73
	NORMAL	132	253	383	560	1163	144
	BASIC	261	475	698	981	1847	280

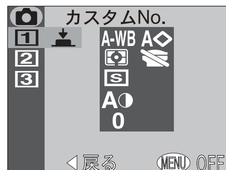


カウンタ（撮影可能コマ数）表示について

上の表はおおよその目安です。撮影可能コマ数は、画像の絵柄によって大きく変化します。液晶モニタに表示されるカウンタ（撮影可能コマ数）表示を確認しながら撮影されることをおすすめします。

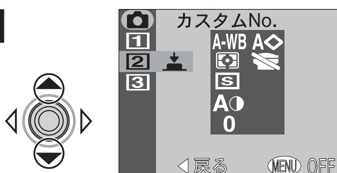
カスタム No.

頻繁に使用する機能や撮影状況に応じた撮影メニューの設定の組み合わせを、3とおりに記憶させ、一括して呼び出すことができます。なお、ユーザー設定で記憶された設定を「ユーザー設定クリア」(131)で一括して初期状態に戻すことができます。



カスタム No. の設定

1



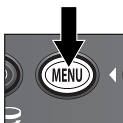
マルチセレクターを▲または▼の方向に倒して設定を記憶させるカスタム番号を選択し、マルチセレクターの中央部を押して設定します。

2



選択したカスタム番号に記憶させる撮影メニューを設定します。

3



メニュー画面の最終ページ（MENU OFF）を表示し、MENU ボタンを押してメニューを終了します。

これで選択したカスタム番号に指定した撮影メニューの設定が記憶されます。カスタムに記憶された撮影メニューの設定は、電源をオフにしたり、他のカスタムを選択しても、再度そのカスタム番号を選択すると呼び出すことができます。また、記憶させたメニューの設定は、再度カスタム番号を選択した後、撮影メニューの設定を変更すると、その内容に更新されます。

カスタムに記憶できる撮影メニュー項目

記憶できる撮影メニュー項目は、ホワイトバランス、測光方式、連写、階調補正、彩度調整、輪郭強調、コンバータです。このメニュー項目が初期設定以外にセットされると、カスタムNo.のメインメニュー画面（手順1）で表示されるアイコンが赤色で表示されます。

カスタム No. 表示について

露出モードを**P**（プログラムオート）、**S**（シャッター優先オート）、**A**（絞り優先オート）、**M**（マニュアル露出）のいずれかにセットすると、液晶モニタに選択したカスタム番号が表示されます。



輪郭強調

撮影状況や好みに応じて、記録する画像の輪郭の強弱を調整します。輪郭を強調する度合いを意図的に調整できます。



設　定	内　容
A◇ オート	画像に最適な輪郭を、カメラが自動的に調整します。
強	輪郭強調を強めに設定します。個々の被写体の輪郭がはっきりとした画像になるため、画像にメリハリをつけたい場合などに使用します。
標準	撮影した画像を標準的な輪郭に固定します。
弱	輪郭強調を弱めに設定します。個々の被写体の境目がソフトな感じの画像になります。
OFF	輪郭強調を行いません。

輪郭強調について

輪郭強調の効果は撮影時の液晶モニタで確認できません。

レタッチする画像には

画像をパソコンで加工する場合は、輪郭強調を**標準**または**弱**に設定することをおすすめします。

コンバータ

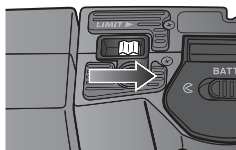
ワイド、テレ、フィッシュアイなどの各コンバータやスライドコピーアダプタ（164）を装着する場合に設定します。各コンバータの取り付け、使用方法については、各コンバータの使用説明書をご覧ください。



設　定	装着するコンバータ / スライドコピーアダプタの種類
OFF	コンバータモードを OFF にセット
ワイドコンバータ	ワイドコンバータ
テレコンバータ 1	テレコンバータ TC-E2
テレコンバータ 2	テレコンバータ TC-E3ED
フィッシュアイ 1	フィッシュアイコンバータ（画像が円形に撮影されます）
フィッシュアイ 2	フィッシュアイコンバータ（画像の隅に影が出ることなく撮影されます：対角魚眼）
スライドアダプタ	スライドコピーアダプタ

スイバルリミット機構について

スイバルリミットレバーを矢印方向にスライドさせると、スイバルリミット機構が働いて、前方に90°を超えて回転できなくなります。別売のコンバータやスライドコピーアダプタを装着したときに、重みによるレンズ部の不用意な回転を防止します。



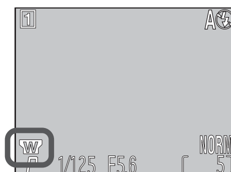
コンバータを設定すると、カメラの各機能が次のようになります。

設　定	ロックされるボタン	焦点距離（ズーム）	ズームの手動操作
W ワイドコンバータ	※1	最も広角側（ワイド端）	可
X2 テレコンバータ1	※1	最も望遠側（テレ端）	可
X3 テレコンバータ2	※1	最も望遠側（テレ端）	可
F1 フィッシュアイ1 ※2	※3　※4	最も広角側（ワイド端）	不可
F2 フィッシュアイ2	※3　※4	ミドルポジション	不可
□ スライドアダプタ ※5	※6　※4	ミドルポジション	可

※1　別売スピードライトのみ発光します。コンバータ装着時は、オートフォーカスで撮影してください。マニュアルフォーカスモード、遠景モードでは設定した距離と実際にピントが合う距離が異なります。
※2　ピントは無限遠、測光モードは中央部重点測光に固定されます。絞りが一部制限されます。
※3　セルフタイマーは設定可能です。
※4　内蔵スピードライトと別売スピードライトが発光禁止になります。
※5　階調補正はコントラストー、露出補正は＋0.7EVに設定されますが、コンバータ設定後に変更可能です（通常に設定時）。
※6　マクロモードに固定されます。セルフタイマーは設定可能です。

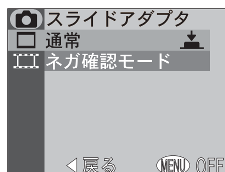
 コンバータ表示について

コンバータをOFF以外に設定すると、設定したコンバータが液晶モニタに表示されます。



スライドアダプタの設定

スライドアダプタを選択した場合は、さらにサブメニューが表示されます。フィルムの種類に合わせて選択してください。



設　定	内　容
通常	リバーサルフィルム複写時にセットします。
ネガ確認モード	ネガフィルムの画像を確認する場合にセットします。

ネガ確認モードについて

- ネガフィルム複写時の照明には十分な明るさが必要です。光量が不足している場合は液晶モニタの画像が白みがかります。画像のノイズが気になる場合は「輪郭強調」を OFF か弱にセットすることをおすすめします。(115)
- ネガ確認モードは液晶モニタ上でネガフィルムを確認するためのモードです。フィルムの種類、メーカーなどによって画質が大きく変化します。画質を重視される方は、ニコン COOLSCAN 等のフィルムスキャナのご使用をおすすめします。

露出制御

カメラが測光した適正露出値を露出固定により固定したり、露出補正により意図的に補正することができます。



露出固定

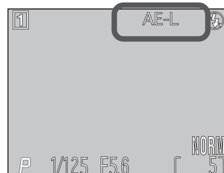
一連の画像を同じ絞り、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランスに固定して撮影します。複数の画像を同じ条件で撮影する場合などに便利です。



設　定	内　容
OFF	露出固定は解除され、通常の撮影を行います。
ON	設定後、最初に撮影された画像の絞り、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランスに固定されます。スピードライトは発光禁止になります。
リセット	リセット後、最初に撮影された画像の絞り、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランスに固定されます。

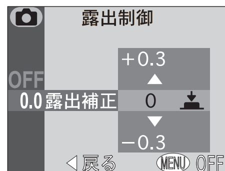
 露出固定（AEロック）マークについて

露出固定をONに設定すると露出固定（AEロック）マーク（AE-L）が液晶モニタに黄色で表示されます。撮影を行うと、最初に撮影された画像の絞り、シャッタースピード、撮像感度、ホワイトバランスに固定され、露出固定マークは黄色から白色に変わります。以後、固定された撮影条件で撮影を行うことができます。



露出補正

カメラが適正と判断した露出を、画像が明るくなるように、または暗くなるように意図的に補正します。−2.0EV〜+2.0EVの範囲で1/3EVステップで設定できます。画像を明るくする場合は+側に、暗くする場合は−側に設定してください。



露出補正表示について

露出補正を0以外に設定すると、液晶モニタに (露出補正マーク）と補正値が表示されます。



フォーカス

AF エリアの選択や AF モードによりピント合わせの方法を変更したり、ピーキングによりピントを確認することができます。



AF エリア選択

5つのAFエリアから、ピント合わせに使用するAFエリアの選択方法を設定します。

- 液晶モニタ消灯時や電子ズーム作動中は自動的に **OFF** になります。



設定	内容
オート	5 つの AF エリアのいずれかに重なる被写体のうち、自動的に最もカメラに近い被写体を選択してピントを合わせます。シャッターボタンを半押しすると、カメラが選択した AF エリアが液晶モニタで赤く表示されます。不規則に動き回る被写体の撮影やピント合わせに時間をかけられない場合などに使用します。
マニュアル	撮影者がマルチセレクターを使用して、任意の AF エリアを選択します。比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合や A F ロック（66）を使用しないでピント合わせを行う場合に適しています。
OFF	中央のAFエリアのみを使用してピントを合わせます。AFエリアは液晶モニタ上に表示されません。AF ロックを行う場合に便利です。

AF スポット測光（104）

AFスポット測光時は、オートまたはマニュアルで選択されたAFエリアのみが測光されます。

AF モード

ピント合わせの方法を設定します。

- 液晶モニタ消灯時は自動的に **S-AF** になります。



設　定	内　容
C-AF	シャッターボタンの操作にかかわらず、液晶モニタの点灯中は常にピント合わせを繰り返します。シャッターボタンを半押しするとピントを固定（AFロック）します。ピントが合っていなくてもシャッターがきれますので、シャッターボタン半押し時に AF ランプの点灯を確認してください。
S-AF	シャッターボタンを半押ししている間のみピント合わせを行い、ピントが合うとAFロックを行います。液晶モニタの点灯中は、ピントが合っていなくてもシャッターがきれますので、シャッターボタン半押し時に AF ランプの点灯を確認してください。

ピーキング

液晶モニタの撮影画面で、ピントが合っている部分の輪郭を強調表示します。

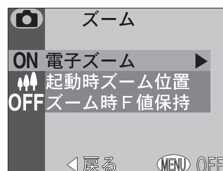
- ピーキングは液晶モニタ上で輪郭を強調表示するもので、撮影される画像には影響ありません。



設　定	内　容
MF	マニュアルフォーカスのセット時のみ、ピントが合っている部分の輪郭が液晶モニタ上で強調表示されます。
ON	ピントが合っている部分の輪郭が液晶モニタ上で常に強調表示されます。
OFF	輪郭は強調表示されません。

ズーム

電子ズーム、起動時ズーム位置、ズームF値保持の3項目のズーム機能に関する設定をします。



電子ズーム

電子ズーム（70）を作動させるかどうかを設定します。



設　定	内　容
OFF	T ボタンを押し続けても電子ズームは作動しません。
ON	光学ズームが最も望遠側にある状態で T ボタンを2秒以上押すと電子ズームが作動します。

起動時ズーム位置

電源を ON にした直後のズーム位置を設定します。



設　定	内　容
OFF時位置	前回電源を OFF にしたときのズーム位置に復帰します。
WIDE	最も広角側にします。

ズーム F 値保持

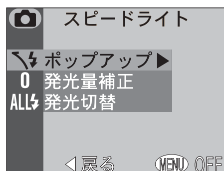
通常、ズーミングに対応してF（絞り）値が変化しますが、ズーム時F値保持をONにすると、露出モードが**A**または**M**時に、セットした絞り値を最小限におさえながらズーミングを行うことができます。



設　定	内　容
OFF	ズーミングに対応してF（絞り）値が変化します。
ON	露出モードが**A**、**M**の場合、セットした絞りを最小限におさえながらズーミングを行います。ただし、ズーミングによって制御範囲を超えてしまうことがあります。絞りは約F5～F7の範囲でご使用ください。

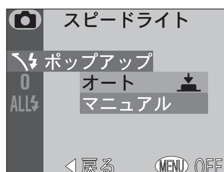
スピードライト

ポップアップ、発光量補正、発光切替の3項目のスピードライトに関する設定をします。



ポップアップ

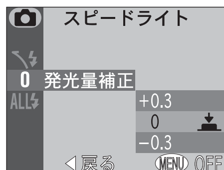
内蔵スピードライトが発光する条件で、収納している内蔵スピードライトを自動的に上げるか、またはマニュアルで上げるかを設定します。



設定	内容
オート	内蔵スピードライトが発光する条件で、シャッターボタンを半押しすると内蔵スピードライトが自動的に上がります。
マニュアル	ボタンを押して内蔵スピードライトを上げます。内蔵スピードライトを上げると、被写体の明るさに関係なく常に発光します。スピードライトモード（71）は内蔵スピードライトを上げた場合に変更できますが、発光禁止モード（）はセットできません。

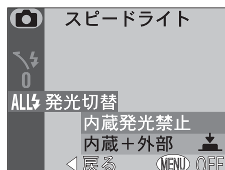
発光量補正

撮影目的や撮影条件に合わせてスピードライトの発光量を調整します。－2EVから＋2EVまで、1/3EVステップで発光量が補正できます。



発光切替

別売の外付けスピードライトを使用するときに内蔵スピードライトを同時に発光させるかどうかを選択できます。



設　定	内　容
内蔵発光禁止	内蔵スピードライトを発光禁止にして、外付けスピードライトのみを発光可能にします。
ALL **内蔵＋外部**	外付けスピードライトと内蔵スピードライトを同時に発光可能にします。外付けスピードライトを使用していない場合も、内蔵スピードライトは通常通り発光します。

- 外付けスピードライトの使用方法、ご注意については「増灯ターミナル」(74)をご覧ください。

外付けスピードライトを発光させる場合のご注意

外付けスピードライトを発光させる場合は、内蔵スピードライトの調光センサーを使用します。

- 露出モードがAUTOモードまたはシーンモードの場合、あるいは撮影メニューの「スピードライト：ポップアップ」(125)を、「オート」(初期設定)に設定している場合は、被写体が暗いと調光センサーを使用するために内蔵スピードライトが自動的に上がりますので、内蔵スピードライトを指などで押さえないようにしてください。

- 調光センサーに指や髪、ストラップ、増灯コードや、ACアダプタのコードがかからないように注意してください。

外付けスピードライトのスピードライトモード

内蔵発光禁止に設定すると、内蔵スピードライトが発光禁止になり、外付けスピードライトのみが発光します。この場合、⚡◉ ボタンによるスピードライトモードは外付けスピードライトのみに対して有効となり、液晶モニタは内蔵スピードライトの発光禁止マーク（⊛）と外付けスピードライトのスピードライトモードを表示します。



• 内蔵発光禁止セット時の外付けスピードライトのスピードライトモード表示は次の通りです。

スピードライトモード	液晶モニタ
自動発光	A ⊛
発光禁止	⊛
赤目軽減自動発光※	◉ ⊛
強制発光	⚡ ⊛
スローシンクロ	[スローシンクロマーク] ⊛

※赤目軽減発光はカメラの内蔵スピードライト側で行います。内蔵スピードライトを上げた状態で撮影してください。

ブラケティング

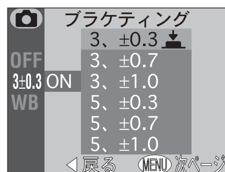
適正な露出補正やホワイトバランスの調整が難しい場合や、撮影ごとに画像を確認して露出やホワイトバランスを調整する時間がない場合などにブラケティングを設定します。カメラが自動的に露出またはホワイトバランスを一定間隔でずらして補正しながら撮影します。



OFF

ブラケティングを行いません。

ON



露出のブラケティングを行います。標準、＋側、－側の順で自動的に露出をずらしながら、5コマまたは3コマの画像を撮影します。シャッターボタンを押すごとに1コマずつ撮影されます。露出モードが**P**の時はシャッタースピードと絞りが、**A**および**M**の時はシャッタースピードが、**S**の時は絞りが変化します。

- 補正した露出が制御範囲を超える場合は、露出は変化しません。

設　定 （撮影コマ数と補正ステップ）	撮影順序（EV）
3、±0.3	0 →＋ 0.3 →－ 0.3
3、±0.7	0 →＋ 0.7 →－ 0.7
3、±1.0	0 →＋ 1.0 →－ 1.0
5、±0.3	0 →＋ 0.7 →＋ 0.3 →－ 0.3 →－ 0.7
5、±0.7	0 →＋ 1.3 →＋ 0.7 →－ 0.7 →－ 1.3
5、±1.0	0 →＋ 2.0 →＋ 1.0 →－ 1.0 →－ 2.0

WB-BKT

ホワイトバランスのブラケティングを行います。1回の撮影で設定されているホワイトバランスを中心に、赤みがかった画像から青みがかった画像の順に自動的に3コマの画像を記録します。

ブラケティングの制限

次の設定とブラケティングは同時にセットすることができません。

- 連写モードのマルチ連写、UH 連写、動画（105）
- BSS（108）
- 露出固定（119）
- ノイズ除去（130）

ブラケティング表示について

ブラケティングを設定すると、液晶モニタにブラケティングマークと、次に撮影するコマの補正量が表示されます。



ホワイトバランスブラケティングの制限

次の設定とホワイトバランスブラケティングは同時にセットすることができません。

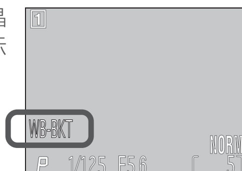
- 画質モードのHI（111）
- 単写以外の連写モード（105）
- BSS（108）
- 露出固定（119）
- ノイズ除去（130）

ホワイトバランスブラケティング設定時のコンパクトフラッシュカードへの書き込み時間

1 回の撮影で3コマの画像を記録しますので、コンパクトフラッシュカードへの書き込みに、通常より 3 倍程度時間がかかります。

ホワイトバランスブラケティングマークについて

ホワイトバランスのブラケティングを設定すると、液晶モニタにホワイトバランスブラケティングマークが表示されます。



ノイズ除去

夜景など、シャッタースピードが1/4秒より長時間になる撮影では、記録された画像に星状のノイズが生じることがあります。ノイズ除去を **ON** に設定すると、この星状のノイズを軽減することができます。ただしシャッタースピードが1/4秒より速い撮影では、ノイズ除去をONにしてもノイズ除去は行われません。



画像の記録時間について

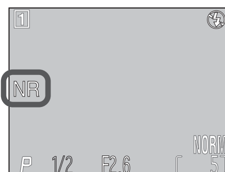
ノイズ除去モードでは、撮影開始からコンパクトフラッシュカードへの画像の記録が完了するまでに通常より 2 倍以上時間がかかります。

ノイズ除去と併用できない機能

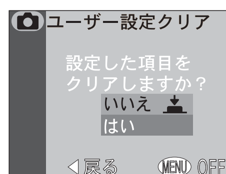
BSS (108)、単写以外の連写モード (105)、ブラケティング (128) をセット時にノイズ除去を設定できません。

ノイズ除去表示について

ノイズ除去を**ON**に設定し、ノイズ除去が行われると、液晶モニタにノイズ除去表示が表示されます。



ユーザー設定クリア



現在設定されているカスタムＮｏ．の各項目およびその他の各メニューで設定した内容をクリアして、初期設定に戻します。詳細は次ページの表の通りです。ただし、現在設定されていない他のカスタムNo.で設定された内容（表の太字項目）は初期設定にリセットされず、各セット内容は保持されます。

確認画面が表示されますので、ユーザー設定クリアを実行する場合は、「はい」を選択してマルチセレクターの中央部を押します。

キャンセルする場合は「いいえ」を選択してマルチセレクターの中央部を押してください。



ユーザー設定クリアを実行すると、各メニュー項目の設定内容は次のようになります。

撮影メニュー

メニュー項目	設定内容
ホワイトバランス	オート※1
測光方式	マルチ
連写	単写
BSS	OFF※2
階調補正	AUTO
彩度調整	標準
画質モード	クリアされない
画像サイズ	クリアされない
カスタム No.	クリアされない
輪郭強調	オート
コンバータ	OFF
露出制御	
露出固定	OFF
露出補正	0

メニュー項目	設定内容
フォーカス	
AF エリア選択	オート
AF モード	S-AF
ピーキング	MF
ズーム	
電子ズーム	ON
起動時ズーム位置	WIDE
ズーム時 F 値保持	OFF
スピードライト	
ポップアップ	オート
発光量補正	0
発光切替	内蔵＋外部
ブラケティング	OFF
ノイズ除去	OFF

※1　微調整した数値もリセットされます。

※2　現在設定されていない他のカスタムNo.でBSSを設定している場合には、他のカスタム No. での設定内容は初期設定にリセットされず、内容は保持されます。

セットアップメニュー

メニュー項目		設定内容
モニタ設定		
	モニタ表示	モニタ ON
	画面の明るさ	中間値
ボタン設定		
	FUNC	クリアされない
	AE-L AF-L	AE-L&AF-L
パワーオフ設定		1 分
連番モード		クリアされない

メニュー項目	設定内容
操作音	ON
日時設定	クリアされない
撮影確認 LED	OFF
info.txt	クリアされない
ビデオモード	クリアされない
言語	クリアされない
削除禁止	OFF
USB	クリアされない

再生メニュー

メニュー項目		設定内容
スライドショー		
	インターバル設定	3 秒

※ その他の再生メニュー項目はクリアされません。

セットアップメニュー

セットアップメニュー画面には次のメニュー項目があります。

撮影モード時



1ページ目



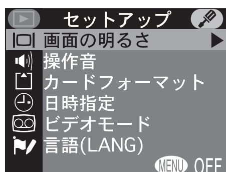
2ページ目



3ページ目

メニュー項目	
モニタ設定	135
ボタン設定	136
パワーオフ設定	137
連番モード	138
操作音	139
カードフォーマット	140
日時設定	141
操作確認 LED	141
info.txt	142
ビデオモード	142
言語（LANG）	143
削除禁止	143
USB	144

再生モード時



メニュー項目	
画面の明るさ	135
操作音	139
カードフォーマット	140
日時設定	141
ビデオモード	142
言語（LANG）	143

モニタ設定

モニタに関する設定をします。



モニタ表示（露出モードを**P**、**S**、**A**、**M**に設定時のみ）

電源をONにしたときの液晶モニタの点灯/消灯、および撮影した画像が撮影後に数秒間表示されるレビュー画面表示について設定します。露出モードを AUTO（オート撮影）またはシーンモードにセットすると、自動的に**モニタ ON**になります。



設　定	電源を ON にしたときの液晶モニタ	撮影後のレビュー画面
モニタ ON	点灯	表示
レビュー ON	消灯	表示
レビュー OFF	点灯	非表示
モニタ OFF	消灯	非表示

- 液晶モニタの点灯/消灯は、（液晶モニタ）ボタンを押すことによっていつでも切り換えることができます。

画面の明るさ

液晶モニタの明るさを5段階から設定できます。マルチセレクターの▲または▼で緑色の指標を希望する明るさに調整します。指標が移動するごとに連動して液晶モニタの明るさが変わります。マルチセレクターの中央部を押して設定します。



画面の明るさ

画面の明るさの設定画面では、指標を移動した時点で新しい設定が有効になります。

ボタン設定

FUNCボタンでの機能割当ての設定およびマルチセレクターでのAE-L, AF-Lボタンの機能設定を行います。



FUNC

露出モードが**P**、**S**、**A**、**M**時にFUNCボタンに機能を割り当てることにより、各機能をメニュー画面を表示せずに設定できます。



設　定	内　容
(露出補正アイコン)	FUNCボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、露出補正値が変わります（初期設定）。（☞ 77）
連写	FUNCボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、連写モードが切り換わります。（☞ 105）
QUAL	FUNCボタンを押すごとに画質モードが切り換わります。FUNCボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、画像サイズが切り換わります。（☞ 111、112）
ホワイトバランス	FUNCボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ホワイトバランスが切り換わります。（☞ 101）
測光方式	FUNCボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、測光モードが切り換わります。（☞ 104）

AE-L, AF-L



初期設定では、マルチセレクターの中央部を押すと露出（AE）とフォーカス（AF）の両方がロックされます。AE-L，AF-L メニュー画面により露出（AE）とフォーカス（AF）のいずれか一方のみをロックするように設定できます。

- AE ロックを行うと、露出固定マークAE-Lが、液晶モニタに白く表示されます。

設　定	内　容
AE-L&AF-L	マルチセレクターの中央部を押すと露出とフォーカスの両方がロックされます。
AE-L	マルチセレクターの中央部を押すと露出のみがロックされます。フォーカスはシャッターボタンを半押しするとロックされます。
AF-L	マルチセレクターの中央部を押すとフォーカスのみがロックされます。露出はシャッターボタンを半押しするとロックされます。

パワーオフ設定



オートパワーオフ機能が作動するまでの時間を設定します。初期設定ではバッテリーを使って操作する場合、1 分間カメラの操作を行わないとカメラのオートパワーオフ機能が作動し、自動的にカメラの電源がOFF になり、電源ランプが消灯します。ただし AC アダプタ接続中は 30 分間に固定されます。

設　定	時　間
30 秒	30 秒
1 分	1 分
5 分	5 分
30 分	30 分

連番モード

COOLPIX4500で撮影した画像ファイルにはDSCN＋4桁の番号が付けられます（87）。「連番モード」を使用するとファイル番号を次のように管理できます。



設　定	内　容
ON	新規フォルダが作成されたり、コンパクトフラッシュカードを交換しても、連続した番号で画像ファイル名を作成します。このため同一名のファイルが存在せず、パソコンで画像を管理する場合などに便利です。
OFF	ファイル番号は、フォルダごとに常に0001から0200まで撮影順にカメラが自動的に指定します。複数のコンパクトフラッシュカードを使用したり、複数のフォルダが作成されると同名のファイルが複数存在することになります。
リセット	連番モードをいったん解除し、次回の撮影以降再び0001から連番を付けます。フォルダ内にすでに画像ファイルがある場合、フォルダ内にある一番大きい番号の次の番号から連番を付けます。

※ シーンモードのパノラマアシストで撮影された画像ファイルは、連番モードの設定にかかわらず、撮影ごとに常に0001から連番を付け、一連の画像を専用フォルダに保存します（54）。

「連番」について

フォルダの中の画像ファイル番号が9999を超える場合、連番モードの設定がON/OFFにかかわらず、フォルダ番号に1を加えたフォルダ（例：100NIKON→101NIKON）を自動的に新規作成し（3桁のフォルダ番号は、100から999まで連番で付けられます）、そのフォルダ内で新たに0001から連番で画像ファイルを保存していきます。なお、1つのフォルダに保存できる画像ファイル数は200コマです。

ファイル名を0001から連番にしたいときは

ファイル名を0001から連番にするときは、コンパクトフラッシュカードをフォーマット（140）した後、**連番モード**の**リセット**を選択してください。ただしコンパクトフラッシュカードをフォーマットすると、プロテクト設定された画像を含むすべての画像が消去されますのでご注意ください。

操作音

カメラの状態を知らせる操作音の ON/OFF を設定します。



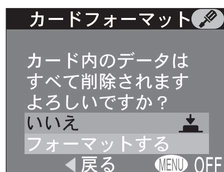
操作音の回数	お知らせする内容
1回	• カメラの電源が ON になりました。 • シャッターボタンが押し込まれ、シャッターがきれました。 • 次の設定や操作が完了しました。 マニュアルフォーカス、コンバータ、カードフォーマット、削除、プロテクト設定、非表示設定、プリント指定、転送画像設定、操作音 ON
2回	• 液晶モニタの消灯時にピントが合いません。 • コンパクトフラッシュカードの空き容量が不足しています。

フォルダ名・ファイル名についてのご注意

フォルダ番号が999のときにファイル名の画像番号が9999に達した場合には、コンパクトフラッシュカードの記録容量に余裕があってもそれ以上撮影できません。コンパクトフラッシュカードを交換するか、カードをフォーマット（140）してください。

カードフォーマット

コンパクトフラッシュカードのフォーマット（初期化）を行います。フォーマットを行うとコンパクトフラッシュカードに記録されているすべてのデータが消去されます。



設　定	内　容
いいえ	フォーマットを行いません。
フォーマットする	マルチセレクターの中央部を押すと、すぐにフォーマットが開始されます。

カードフォーマットのご注意

- フォーマット中はコンパクトフラッシュカードを取り出したり、電源を OFF にしないでください。
- フォーマットを行うと、コンパクトフラッシュカード内のすべてのデータが消去されます。また、フォーマットを取り消すことはできませんのでご注意ください。

削除禁止（143）

セットアップメニューの**削除禁止**を **ON** に設定するとカードフォーマットが行えません。

コンパクトフラッシュカードのフォーマット

付属のコンパクトフラッシュカードは COOLPIX4500 用にフォーマットされています。その他のコンパクトフラッシュカードを初めてCOOLPIX4500で使用する場合は、あらかじめコンパクトフラッシュカードをフォーマットする必要があります。

日時設定

カメラに内蔵された時計の日付と時刻を設定します。詳しくは「日付と時刻の設定」（ 15）をご覧ください。



撮影確認 LED

ON に設定すると、セルフタイマーランプを撮影完了時に確認用ランプとして点灯するようにできます。ただし、スピードライト発光時は点灯しません。



info.txt

ONに設定すると、撮影時に画像ファイル名や撮影データを記述したテキストファイルを作成します。このテキストファイルは対応する画像ファイルと同じフォルダに記録されます。テキストファイルの内容は次のとおりです。



DSCN0001.JPG（例）	：画像ファイル名
CAMERA	：カメラの名称とファームウェアのヴァージョン
METERING	：測光モード
MODE	：露出モード
SHUTTER	：シャッタースピード
APERTURE	：絞り値
EXP ＋/－	：露出補正値
FOCAL LENGTH	：焦点距離と電子ズーム
IMG ADJUST	：階調補正
SENSITIVITY	：撮像感度
WHITEBAL	：ホワイトバランス
SHARPNESS	：輪郭強調
DATE	：撮影日時
QUALITY	：画像サイズと画質モード
SATURATION	：彩度調整
FOCUS AREA	：フォーカスエリア

ビデオモード

ビデオ出力方式を選択します。テレビやビデオデッキなどの接続先の機器に合わせて選択します。



設　定	内　容
NTSC	NTSC方式に設定します。通常、日本国内で使われている方式です。
PAL	PAL 方式に設定します。欧州で使われている方式です。

言語（LANG)

メニュー画面やエラーメッセージなどで液晶モニタに表示する言語を選択します。



設　定	言　語
De	ドイツ語
En	英語
Fr	フランス語
日	日本語
Es	スペイン語

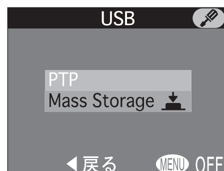
削除禁止

ONに設定すると、カメラのすべての削除機能を禁止します。記録されている画像を誤操作によって削除することを防止します。また、カードフォーマット（140）も禁止します。



USB

使用するパソコンのOS（オペレーティングシステム）によってUSB通信方式が異なります。USBケーブルでカメラとパソコンを接続する前に、使用するパソコンのOSに合わせてUSB通信方式を選択します（初期設定では「Mass Storage」に設定されています）。



O S	USB通信方式
Windows XP Home Edition/Professional Mac OS X（10.1.2～10.2）	**PTP** または **Mass Storage**
Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition （Me） Windows 98 Second Edition（SE） Mac OS 9.0～9.2	**Mass Storage**

 Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE、Mac OS 9をご使用の場合のご注意

COOLPIX 4500を上記OSのパソコンに接続する場合、セットアップメニューの「USB」を“PTP”に設定しないでください。
（初めてカメラをお使いになる場合の設定〔初期設定〕は、“Mass Storage”となっています。）

「USB」を“PTP”に設定して、上記OSのパソコンと接続した場合には、下記の要領でパソコンとの接続を外してください。

再度パソコンと接続する場合は、必ず「USB」を“Mass Storage”に変更した後、パソコンと接続してください。

Windows 2000 Professionalの場合：

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows Meの場合：

「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Windows 98SEの場合：

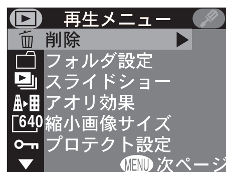
「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

Mac OS 9の場合：

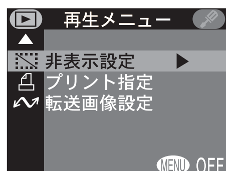
「USB装置“Nikon Digital Camera E4500_PTP”に必要なドライバが使用できません。インターネット経由でドライバを捜しますか？」と表示されますので、「キャンセル（中止）」を選択して画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

再生メニュー

再生メニュー画面には次のメニュー項目があります。



1ページ目



2ページ目

メニュー項目	👁
削除	147
フォルダ設定	149
スライドショー	151
アオリ効果	153
縮小画像サイズ	156
プロテクト設定	157
非表示設定	158
プリント指定	159
転送画像設定	161

🗑 削除

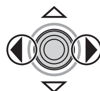
画像の削除方法を以下から選択できます。

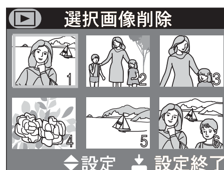


設　定	内　容
選択画像削除	「選択画像削除」画面で選択した画像を削除します。
全画像削除	すべての画像を削除します。
転送設定解除	転送設定をすべて解除します。
プリント指定解除	プリント指定をすべて解除します。

選択画像削除

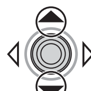
1





マルチセレクターを◀または▶に倒して削除したい画像に緑色の枠を合わせます。

2

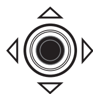




▲または▼で削除する画像を設定します。

- 削除される画像には 🗑 が表示されます。1と2 の手順を繰り返して削除する画像を選んでください。
- 選択された画像は、赤枠で表示されます。
- 画像の選択を取り消すときは、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼に倒して 🗑 の表示を消してください。

3

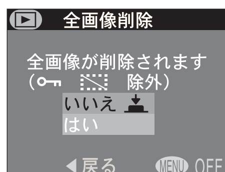




マルチセレクターの中央部を押すと、削除確認画面が表示されます。▲または▼で「はい」または「いいえ」を選択し、もう一度マルチセレクターの中央部を押してください。

- **いいえ**：画像が削除されずに再生メニューに戻ります。
- **はい**：　選択した画像がすべて削除されて、再生メニューに戻ります。

全画像削除



すべての画像を削除します。ただし、プロテクト設定または非表示設定された画像は削除されません。削除確認画面が表示されますので、マルチセレクターを▲または▼に倒して「はい」を選択してマルチセレクターの中央部を押してください。

- キャンセルする場合は「いいえ」を選択してマルチセレクターの中央部を押してください。

転送設定解除

転送画像設定（ 161）の設定を解除します。「転送設定解除」を選択してマルチセレクターの中央部を押し込むと、すぐに解除が実行されます。キャンセルはできません。

プリント指定解除

プリント指定（ 159）の設定を解除します。「プリント指定解除」を選択してマルチセレクターの中央部を押し込むと、すぐに解除が実行されます。キャンセルはできません。

「プリント指定解除」についてのご注意

プリント指定の解除を実行すると、プリント指定とともに動画にセットされた転送マークも解除されますので、ご注意ください。

削除できない画像

- 選択画像削除・全画像削除でプロテクト設定または非表示設定（ 158）された画像を削除することはできません。なお、非表示設定された画像は、選択画像削除の選択画面に表示されません。
- 「削除禁止」（ 143）をONに設定している場合は、すべての画像が削除できません。

フォルダ設定

画像を再生するフォルダの選択や、フォルダを削除します。



設定	内容
フォルダ削除	パノラマアシストおよびUH連写で作成されたフォルダの削除を行います。フォルダが削除されると、フォルダ内のすべての画像も消去されます。
すべてのフォルダ	コンパクトフラッシュカード内にあるすべての画像を再生します。
NIKON	NIKON フォルダにある画像のみ再生します。
(「N_」で始まるフォルダ名)	UH 連写（105）で作成されたフォルダのうち、選択されたフォルダにある画像のみ再生します。UH 連写で作成されたフォルダの名称は「N_」で始まります。
(「P_」で始まるフォルダ名)	パノラマアシスト（54）で作成されたフォルダのうち、選択されたフォルダにある画像のみ再生します。パノラマアシストで作成されたフォルダの名称は「P_」で始まります。

UH 連写およびパノラマアシストで撮影された画像の再生

- UH 連写で撮影された画像は、「N_」で始まる名称の専用フォルダに保存されます。UH 連写で撮影された画像を再生するには、すべてのフォルダか、「N_」で始まる名称の専用フォルダを選択してください。
- パノラマアシストで撮影された画像は、「P_」で始まる名称の専用フォルダに保存されます。パノラマアシストで撮影された画像を再生する時には、すべてのフォルダか、「P_」で始まる名称の専用フォルダを選択してください。

フォルダ削除

UH連写で作成されたフォルダ（名称が「N_」で始まるフォルダ）およびパノラマアシストモードで作成されたフォルダ（名称が「P_」で始まるフォルダ）を削除します。NIKONフォルダは削除できません。フォルダを削除すると、フォルダ内のすべての画像も削除されます。

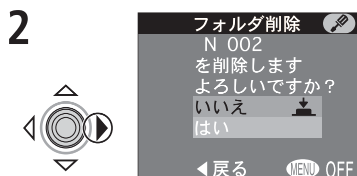
- 「フォルダ設定」で「フォルダ削除」を選択してマルチセレクターの中央部を押すと、フォルダ削除選択画面が表示されますので、次の手順で操作してください。

1



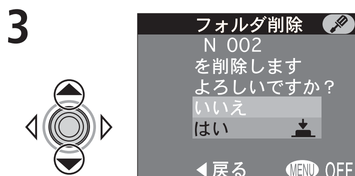
マルチセレクターを▲または▼に倒して削除したいフォルダを選択します。

2



マルチセレクターを▶に倒します。削除確認画面が表示されます。

3



▲または▼に倒して「はい」を選択します。（キャンセルする場合は「いいえ」を選択してマルチセレクターの中央部を押してください。）

4



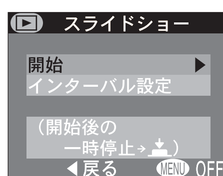
マルチセレクターの中央部を押すと、削除が完了します。

フォルダの削除ができない場合

- 削除禁止（143）がONに設定されている場合は、フォルダの削除はできません。
- プロテクト設定または非表示設定された画像があるフォルダは削除できません。ただし同じフォルダ内のプロテクト設定および非表示設定がされていない画像は削除されます。

スライドショー

画像を一定間隔で順番に再生する、スライドショーを行います。



開始

「**スライドショー**」で「**開始**」を選択してマルチセレクターを▶に倒すと、スライドショーを開始します。すべての画像の表示を終えると、一時停止メニュー画面が表示されます。

- スライドショーの再生中は次の操作が可能です。

再生メニュー	操作ボタン	内　容
一時停止		スライドショーが一時停止し、画面上にメニューが表示されます。スライドショーを再開するには、「再開」を選択します。
コマ送り／コマ戻し		▼または▶に倒すとコマ送り、▲または◀に倒すとコマ戻しします。
終了	**MENU**	スライドショーを終了して再生画面に戻ります。

- 動画は先頭フレームが静止画で表示されます。
- 非表示設定された画像およびスモールピクチャーの画像は表示されません。

オートパワーオフ機能

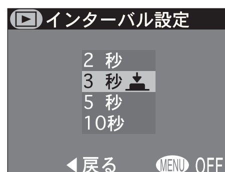
スライドショーをセットして、カメラの操作を行わないまま30分経過すると、オートパワーオフ機能により自動的にカメラの電源がOFFになり、電源ランプが消灯します。

一時停止中

操　作	ボタン	内　容
再開 / インターバル設定画面の切り換え	▲▼	マルチセレクターを▲または▼に倒して項目を選択し、マルチセレクターの中央部を押すと実行されます。 •「**再開**」: スライドショーを一時停止した場所から再開します。 •「**インターバル設定**」: 各コマの表示間隔を指定するインターバル設定画面に切り換えます。
終了と再生メニューの表示	◀	スライドショーを終了して再生メニュー画面に戻ります。
終了と再生画面の表示	**MENU**	スライドショーを終了して再生画面に戻ります。

インターバル設定

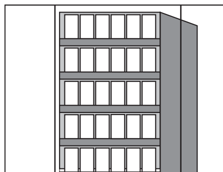
インターバル設定画面では、各コマの表示間隔（インターバル）を指定できます。マルチセレクターを▲または▼に倒して表示間隔（2秒/3秒/5秒/10秒）を選択し、マルチセレクターの中央部を押します。



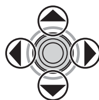
• 実際のインターバル時間は、画質モード、画像サイズによっては、指定した時間どおりに表示されない場合もあります。

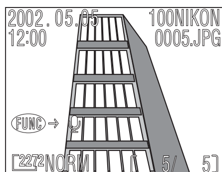
アオリ効果

画像の上下で異なる被写体の横幅の比率を変え、遠近感を補正します。撮影された画像から作成して別画像として保存します。アオリ撮影で撮影した場合と同様の効果が得られます。次の手順で操作してください。



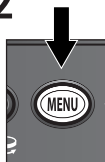
1

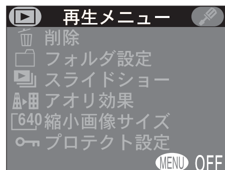




再生モードでアオリ効果をする画像を表示します。

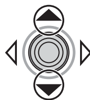
2

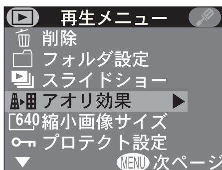




MENUボタンを押して、再生メニュー画面を表示します。

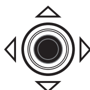
3

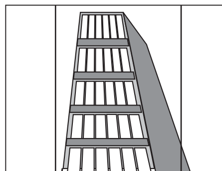




マルチセレクターを▲または▼に倒して「アオリ効果」を選択します。

4



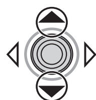
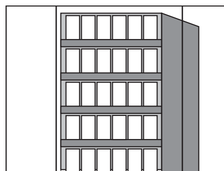


マルチセレクターの中央部を押します。

- アオリ効果操作画面に切り換わり、画面に緑色の平行した2本のガイドラインが表示されます。



5

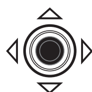
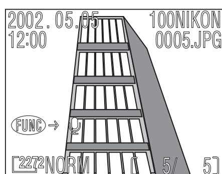
マルチセレクターを使用して、画像を次のように操作します。

変　形	操　作	内　容
画像の上側を拡げる		▲に倒すと、画像の上側を横方向に、左右均等に引き伸ばします。画像を上の角度から見たような効果が得られます。
画像の下側を拡げる		▼に倒すと、画像の下側を横方向に、左右均等に引き伸ばします。画像を下の角度から見たような効果が得られます。

 画像変形時のご注意

- 画像を左右に引き伸ばす比率が大きくなるにつれ、粒子の粗い画像になります。
- 変形により、元の画像サイズより外側に出た部分はカットされます。画像の残したい部分がフレームに収まっているかどうかご確認ください。

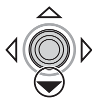
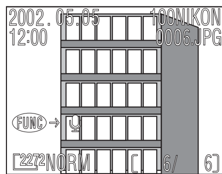
6

画像を操作したら、マルチセレクターの中央部を押します。

- アオリ効果の処理がされた画像の記録が開始され、元画像の再生画面に戻ります。

7

▼に倒して、作成したアオリ効果の画像を確認します。

- 作成されたアオリ効果の画像は、最後に記録された画像の後ろに表示されます。
- アオリ効果の画像の撮影日時は、元の画像と同じです。

アオリ効果の画像は元画像とは別の画像として記録されます。

- アオリ効果の画像の画質モードや画像サイズは、元画像と同じになります。
- アオリ効果の画像のファイル名は、先頭文字「TSCN」に新規のファイル番号（画像記録フォルダ内にある最大の番号に1を加えた番号）を付けた名前（拡張子は元画像と同じ）となります。
- 元画像を削除してもアオリ効果の画像は削除されません。またアオリ効果の画像を削除しても元画像は削除されません。
- 元画像のプリント指定やプロテクト設定はアオリ効果の画像には反映されません。またアオリ効果の画像のプリント指定やプロテクト設定は元画像には反映されません。個別に設定してください。
- アオリ効果の画像を記録するのに約40秒かかります。

アオリ効果ができない場合

- 画質モードをHIに設定して撮影した画像のアオリ効果はできません。
- 動画のアオリ効果はできません。
- スモールピクチャーのアオリ効果はできません。
- アオリ効果の処理がされた画像からアオリ効果はできません。
- COOLPIX4500以外のデジタルカメラで撮影された画像に対しては、アオリ効果機能の動作は保証しておりません。

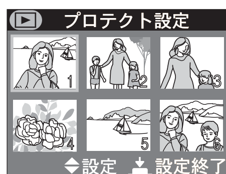
640 縮小画像サイズ

スモールピクチャー（83）の画像サイズを、使用目的に合わせて、４種類の画像サイズ（640 × 480、320 × 240、160 × 120、96 × 72ピクセル）から選択します。

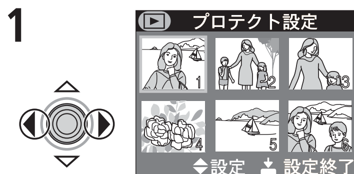


プロテクト設定

コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を誤って削除しないようにプロテクト（保護）を設定する画像を選択します。



1



マルチセレクターを◀または▶に倒してプロテクトを設定する画像に緑色の枠を合わせます。

2



▲または▼に倒してプロテクト設定を行います。

- プロテクト設定された画像には🔑アイコンが表示されます。1と2の手順を繰り返してプロテクトを設定する画像をすべて選択します。
- プロテクトを解除する場合は、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼に倒して🔑アイコンを消してください。

3



マルチセレクターの中央部を押すと操作完了です。画像のプロテクト状態を変更しないでプロテクト設定を終了する場合は、MENUボタンを押してください。

プロテクト設定した画像について

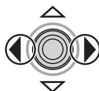
プロテクト設定をした画像は1コマ再生モード、サムネイルモードで削除ができなくなります。ただし、コンパクトフラッシュカードをフォーマットするとプロテクト設定された画像を含む全ての画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

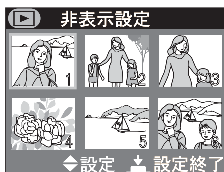
非表示設定

コンパクトフラッシュカードに記録されている画像を、非表示画像選択画面以外では表示されないように設定します。



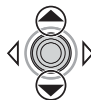
1

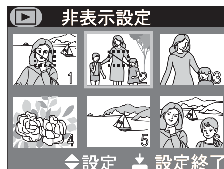




マルチセレクターを◀または▶に倒して非表示を設定する画像に緑色の枠を合わせます。

2

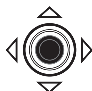


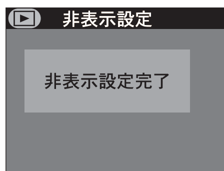


▲または▼に倒して非表示設定を行います。

- 非表示設定された画像にはアイコンが表示されます。1と2の手順を繰り返して非表示設定する画像をすべて選択します。
- 非表示設定を解除する場合は、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼に倒してアイコンを消してください。

3





マルチセレクターの中央部を押すと操作完了です。画像の非表示設定を変更しないで終了する場合は、MENU ボタンを押してください。

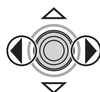
プリント指定

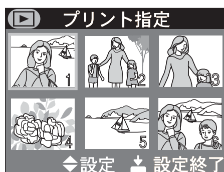
プリント時に出力する画像を指定し、枚数や写し込む情報を設定します。ここで設定した内容は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）に対応しています。



1 プリント画像選択画面でプリント枚数を指定します。

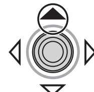
1.1





マルチセレクターを◀または▶に倒してプリント設定する画像に緑色の枠を合わせます。

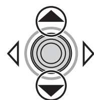
1.2

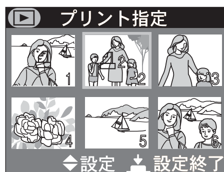




▲に倒してプリントを設定する画像を指定します。設定された画像にはアイコンが表示されます。

1.3

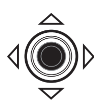


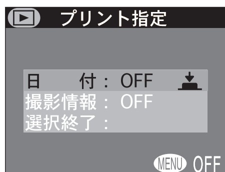


マルチセレクターでプリントする枚数を指定します。

- ▲に倒すとプリント枚数が増加し（最高９枚）、▼に倒すと減少します。
- プリント指定を解除する場合は、プリント枚数を１のときに▼に倒してください。
- 1.1～1.3の手順を繰り返して、プリントする画像をすべて選択します。
- プリント設定を変更せずに終了するときは、MENU ボタンを押してください。

1.4

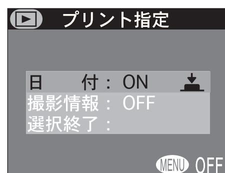




マルチセレクターの中央部を押すと選択が完了し、プリント指定画面が表示されます。

2 プリント指定画面で、プリント時に写し込む情報を設定します。

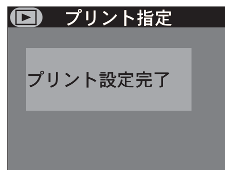
プリント指定画面では、画像の情報をプリント時に写し込むよう設定できます。マルチセレクターを▲または▼に倒して項目を選択します。選択された項目は、マルチセレクターの中央部を押すごとに**ON**（設定）と**OFF**（解除）が切り換わります。「**ON**」に設定すると、次の項目が設定できます。



情　報	内　容
日　付	画像が撮影された日付をプリント画像に写し込みます。
撮影情報	撮影時のシャッタースピードと絞り値をプリント画像に写し込みます。

3 プリント指定画面を終了します。

マルチセレクターを▲または▼に倒して「**選択終了**」を選択し、マルチセレクターの中央部を押します。「**プリント設定完了**」の画面が表示され、再生メニュー画面に戻ります。



プリント設定の解除

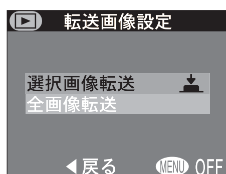
一括してプリント指定を解除する場合は、再生メニューの「削除」で「プリント指定解除」を選択してください（147）。

デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）

「プリント指定」で設定した情報は、デジタルプリントオーダーフォーマット（DPOF）でコンパクトフラッシュカードに保存されます。従来の写真と同様に、デジタルプリントサービス取扱店に依頼するか、DPOF対応プリンタを使用すると、プリント指定した画像をコンパクトフラッシュカードから直接プリントすることができます（ニコンデジタルフォトプリンタ NP-100は、画像情報、日付機能に対応していません）。

転送画像設定

画像の転送設定を行います。転送設定された画像は転送マーク付きの画像として、付属のNikon View 5ソフトウェアを使用したときに一括してパソコンに転送することができます。



設　定	内　容
選択画像転送	選択した画像に転送設定を行います。
全画像転送	撮影した全画像に転送設定を行います。

選択画像転送

1



マルチセレクターを◀または▶に倒して転送設定をする画像に緑色の枠を合わせます。

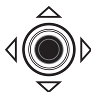
2

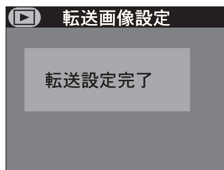


▲または▼に倒して転送設定を行います。

- 転送設定された画像には アイコンが表示されます。1と2の手順を繰り返して転送設定する画像をすべて選択します。
- 転送設定を解除する場合は、すでに選択した画像上でもう一度▲または▼に倒して アイコンを消してください。

3

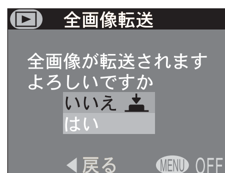




マルチセレクターの中央部を押すと操作完了です。画像の転送設定を変更しないでを終了する場合は、メニューボタンを押してください。

全画像転送

撮影した全画像をパソコンに転送する設定を行います。



転送設定についてのご注意

コンパクトフラッシュカードにすでに記録した画像に対して、すべての画像に転送設定をセットしたり、すべての画像の転送設定を解除することができます。ただし、1 枚のコンパクトフラッシュカードに転送設定できる画像は 999 コマまでです。

999 コマを超える画像を転送する場合は Nikon View 5 を使用すると、すべての画像を一括で転送できます。詳細は Nikon View 5 リファレンスマニュアル（CD-ROM）をご覧ください。

COOLPIX4500以外のニコン製デジタルカメラで設定した転送設定

COOLPIX4500以外のニコン製デジタルカメラで転送設定したコンパクトフラッシュカードを COOLPIX4500 に挿入しても転送設定は認識されません。COOLPIX4500 で再度転送設定してください。

転送設定の解除

一括して転送設定を解除する場合は、再生メニューの「削除」で「転送設定解除」を選択してください（147）。

付録

この章では別売アクセサリー、カメラのお手入れ方法、警告表示が表示された場合やカメラがうまく作動しない場合の対処方法、およびカメラの仕様などについて説明します。

別売アクセサリー

COOLPIX4500には、次の別売アクセサリーが使用できます。詳しくは販売店にお問い合わせください。本製品は当社製のアクセサリーに適合するよう作られております。当社製品との組み合わせでご使用ください。

リチャージャブルバッテリー	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL1
AC アダプタ / バッテリーチャージャー	AC アダプタ / バッテリーチャージャー EH-21
AC アダプタ	AC アダプタ EH-53
バッテリーチャージャー	•バッテリーチャージャー MH-53 •バッテリーチャージャーMH-53C（車載用充電器）
ソフトケース	ソフトケース CS-CP10
PC カードアダプタ	PC カードアダプタ EC-AD1
コンバーターレンズ / スライドコピーアダプタ	•フィッシュアイコンバータ FC-E8（0.21 倍） •ワイドコンバータ WC-E63（0.63 倍） •ワイドコンバータ WC-E68※1（0.68 倍） •テレコンバータ TC-E2（2 倍） •テレコンバータ TC-E3ED（3 倍） •スライドコピーアダプタ ES-E28 •アダプターリング UR-E7※1
リモートコード	リモートコード MC-EU1
液晶モニタフード	LCD フード HL-CP10
増灯ブラケット / 増灯アダプタ	•増灯ブラケット SK-E900※2 •増灯アダプタ AS-E900※2
マクロライト	MACRO COOL-LIGHT SL-1

※1　ワイドコンバータWC-E68の取り付けには、アダプターリングUR-E7が必要です。

※2　ニコン製別売スピードライトの取り付けに必要です。

使用できるコンパクトフラッシュカードおよびマイクロドライブ

付属のコンパクトフラッシュカードおよびニコンコンパクトフラッシュカード EC-CF シリーズ以外に、次の他社製カードが動作確認されております。

- SanDisk 社製コンパクトフラッシュカード：
  SDCFB シリーズ　16 MB、32 MB、48 MB、64 MB、96 MB、128 MB
- LEXAR MEDIA 社製コンパクトフラッシュカード：
  4X USB シリーズ　8 MB、16 MB、32 MB、48 MB、64 MB、80 MB
  8X USB シリーズ　8 MB、16 MB、32 MB、48 MB、64 MB、80 MB
  10X USB シリーズ 128 MB、160 MB
- IBM 社製マイクロドライブ：
  DSCM-11000

その他のメーカーのコンパクトフラッシュカードおよびマイクロドライブについては動作の保証はいたしかねます。上記コンパクトフラッシュカードおよびマイクロドライブの詳細については、各社にご相談ください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ / ファインダー

レンズやファインダーのガラス部分をクリーニングするときは、直接手で触らないように、ご注意ください。ほこりや糸くずはブロアーで払います。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布でガラス部分の中心から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。

液晶モニタ

ほこりや糸くずはブロアーで払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラ本体

ブロアーを使ってほこりや糸くずを払い、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。海辺などでカメラを使用した後は、真水を湿らせてよく絞った布で砂や塩分を軽く拭き取り、よく乾かします。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使用しないでください。

保管について

長期間カメラを使用しないときはバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前にカメラの電源がOFFになっていることを確認してください。また、カメラを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがありますので、月に一度を目安に、バッテリーを入れてカメラを操作することをおすすめします。

カメラを保管するときは、次のような場所を避けてください：

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60%を越える場所

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズに触れたり、レンズに無理な力を加えたりしないでください。

●レンズ部は回転範囲内でゆっくり回してください

無理に回すと故障の原因になります。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●お手入れ方法について

手入れの際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

保護ガラスや液晶画面が汚れたときは、ブロアーでゴミやホコリを吹き払い、汚れが取れない場合は乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。固いもので拭くと傷になりますのでご注意ください。

●保管する際には

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーを必ず取り出しておいてください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってご使用いただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れカメラを操作することをおすすめします。

●バッテリーやACアダプタを取り外すときは必ず電源オフの状態で行ってください

電源オンの状態で、バッテリーの取り出し、ACアダプタの取り外しを行うと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中の前記操作は行わないでください。

●液晶モニタについて

液晶モニタの特性上、一部の画素に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。予めご了承ください。記録される画像には影響はありません。

- 屋外では日差しの加減で液晶モニタが見えにくい場合があります。
- 液晶モニタ画面を強くこすったり、強く押したりしないでください。表示パネルの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニタが破損した場合、ガラスの破損などでケガをするおそれがありますので十分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、十分ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニタ画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

付録

バッテリーの取り扱いについて

●バッテリー使用上のご注意

- バッテリーを電源として長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがありますので注意してください。
- バッテリー容量のなくなったリチャージャブルバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチの ON/OFF を繰り返さないでください。バッテリーの寿命に影響をおよぼす可能性があります。

●撮影の前にリチャージャブルバッテリーをあらかじめ充電する

撮影の際は、リチャージャブルバッテリーを充電してください。付属のリチャージャブルバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

●予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

●低温時のバッテリーについて

バッテリーには一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温で使用する場合は、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には容量の十分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は十分に充電されたリチャージャブルバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

●バッテリーの接点について

バッテリーの接点が汚れていると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合がありますので、バッテリーを入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

商標説明

- CompactFlash™（コンパクトフラッシュ）は米国 SanDisk 社の商標です。
- Microsoft® および Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- IBM および microdrive（マイクロドライブ）は International Business Machines Corporation の米国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、Power Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、QuickTime は米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe および Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- MMX および Pentium は米国インテル社の登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

インターネットをご利用の方へ

ニコンデジタルカメラの最新情報は、下記のアドレスのホームページ上でご覧いただけます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

故障かな？と思ったら

カメラが正常に作動しないときは、お買い上げの販売店や当社サービス部門にお問い合わせいただく前に、下表の項目をご確認ください。点検しても直らない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス部門までお問い合わせください。

こんな時は	ここをご確認ください	参照ページ
液晶モニタに何も写らない	•カメラの電源がOFFになっています。 •バッテリーが正しく装着されていません。またはバッテリーカバーがしっかりと閉まっていません。 •バッテリーの残量がありません。 •ACアダプタEH-53またはACアダプタ/バッテリーチャージャーEH-21（別売）が正しく接続されていません。 •オートパワーオフが作動して、カメラの電源がOFFになっています。 •液晶モニタが消灯になっています。[□] ボタンを押して点灯してください。 •USBケーブルが接続されています。 •ビデオケーブルが接続されています。 •リモートコードMC-EU1が接続され、通信待機状態になっています。	18 10 19 12 137 25 38 43 —
カメラの電源が突然切れる	•バッテリーの残量がありません。 •バッテリーを低温下で使用しています。	19 168
液晶モニタに画質モードなど、カメラの設定内容の情報や画像情報が表示されない	•設定内容や画像情報を非表示にセットしている可能性があります。設定内容または画像情報が表示されるまで [□] ボタンを押してください。	25

こんな時は	ここをご確認ください	👁
液晶モニタの画面がよく見えない	•周囲の光が明るすぎます。暗い場所に移動するか、別売の液晶モニタフードHL-CP10を使用してください。 •液晶モニタの明るさを調整してください。 •液晶モニタが汚れています。	— 135 166
レンズ部分が回転しない	•スイバルリミット機構がセットされています。	21
シャッターボタンを押し込んでも撮影できない	•バッテリーの残量がありません。 •液晶モニタに「メモリー残量がありません」というメッセージが表示されます。コンパクトフラッシュカードに画像を記録する空き容量がありません。 •スピードライトランプが点滅しています：スピードライトの充電中です。 •液晶モニタに「フォーマットされていません」というメッセージが表示されます：コンパクトフラッシュカードがCOOLPIX4500用に初期化されていません。 •セルフタイマー撮影になっています。	19 19 27 140 65
撮影した画像が暗すぎる（露出不足）	•スピードライトモードが発光禁止になっています。 •スピードライトが指などでさえぎられています。 •被写体がスピードライトの光が届かない位置にあります。 •露出補正値がマイナス側にかかりすぎています。	71 22 178 77
撮影した画像が明るすぎる（露出過度）	•露出補正値がプラス側にかかりすぎています。	77
内蔵スピードライトが発光しない	•スピードライトモードが発光禁止になっています。 •スピードライトが発光しない機能が設定されています： ・「連写」メニューで「連写」「マルチ連写」「UH連写」「動画」にセットされているとき ・「BSS」がONのとき ・「コンバータ」がOFF以外にセットされているとき ・「露出制御」の「露出固定」がセットされているとき ・「スピードライト：発光切替」が「内蔵発光禁止」にセットされているとき •スピードライトが発光しないシーンモードが設定されています。 •バッテリーの残量が少なくなっています。	71 105 108 116 119 126 49 18

こんな時は	ここをご確認ください	👁
画像の色合いが不自然になる	•適切なホワイトバランスが選択されていません。	101
ピントが合わない	•AF ランプが高速点滅しています：カメラが撮影者の意図した被写体に、正しくピントを合わせることができません。 •ピントを合わせたい被写体よりも近いものが A F エリアと重なっています。	66 121
ズーム操作ができない	•撮影メニューのコンバータのフィッシュアイ1またはフィッシュアイ２に設定されています。	116
画像が上下逆に表示される	•UH 連写、動画、パノラマアシストモード、多重露出で対面撮影を行っているか、これらの設定で対面撮影された画像を再生しています。	105、76、53、54
画像がブレる	•撮影中にカメラが動きました。次の方法でブレを小さくしてください。 －スピードライトを使用してください。 － BSS（ベストショットセレクタ）機能を使ってください。 －三脚を使用して、カメラを安定させてください（セルフタイマーを使うと効果的です）。	71 108 —
ノイズが発生し、画像がザラつく	•撮影メニューのノイズ除去を使用してください。 •シャッタースピードが遅すぎます。スピードライトを使用してください。 •撮像感度がISO800相当にセットされています。	130 71 78
画像を再生できない	•パソコンか他社製のカメラで､画像が上書きされました。または名前が変更されました。	—
スモールピクチャーを作成できない	•レビュー再生モードになっています。 •表示されている画像が次のいずれかです。 ・画質モードの HI で撮影された画像 ・UH 連写で撮影された画像 ・動画 ・スモールピクチャー	29 111 105 76 83

付録

こんな時は	ここをご確認ください	👁
テレビに正しく表示されない	•テレビと正しく接続されていません。 •ビデオモードが合っていません。 •テレビの設定、調整が合っていません：テレビの使用説明書も合わせてお読みください。	43 142 —
再生時で画像の拡大表示ができない	•表示画像が動画です。 •表示画像がスモールピクチャーです。 •UH 連写の画像です。	85 83 105
カメラをパソコンに接続時、またはコンパクトフラッシュカードをカードリーダーやカードスロットに挿入したときに、Nikon View 5 が自動的に起動しない	•カメラの電源が OFF になっています。 •ACアダプタEH-53またはACアダプタ/バッテリーチャージャーEH-21（別売）が正しく接続されていません。またはバッテリーの残量がありません。 •USB ケーブルが正しく接続されていません。またはカードがカードリーダー、カードアダプター、またはカードスロットに正しく挿入されていません。 •セットアップメニューの「USB」を“PTP”に設定しています（Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98SE、Mac OS 9 の場合）。 Nikon View 5 についてはNikon View 5 リファレンスマニュアルをご参照ください。	18 12 19 38 41 144 —
アオリ効果が使えない	•レビュー再生モードになっています。 •表示されている画像が次のいずれかです。 ・画質モードの HI で撮影された画像 ・UH 連写で撮影された画像 ・動画 ・スモールピクチャー ・アオリ効果の処理がされた画像	29 111 105 76 83 153

警告メッセージについて

液晶モニタに下記の警告メッセージ、およびその他の警告が表示された場合は、修理やアフターサービスをお申し付けになる前に下記の対処方法をご確認ください。

液晶モニタの表示	原因	対処法	参照ページ
（時計アイコン）（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	15
（電池アイコン）（点灯）	バッテリーが消耗しています。	カメラの電源をOFFにして、バッテリーを交換してください。	10 19
電池残量がありません	バッテリーの残量がありません。	カメラの電源をOFFにして、バッテリーを交換してください。	10 19
（砂時計アイコン）カード記録中 しばらくおまちください	•画像の記録中にカメラの電源をOFF にしました。 •画像の記録中に▶（再生）ボタンを押しました。	記録終了時にメッセージが消えます。	—
（カードなしアイコン）カードが 入っていません	コンパクトフラッシュカードが入っていない、もしくは正しく装着されていません。	カメラの電源をOFFにして、コンパクトフラッシュカードが正しく挿入されていることを確認してください。	13
（カードアイコン）このカードは 使用できません	コンパクトフラッシュカードへのアクセス異常です。	•動作確認済みのコンパクトフラッシュカードをご使用ください。 •カードの端子部分が汚れていないかご確認ください。カードが破損している場合は販売店、または当社サービス部門にご相談ください。	165 —
（カードアイコン）カードに異常が あります			

付録

液晶モニタの表示	原因	対処法	
フォーマットされていません フォーマットする▷いいえ	コンパクトフラッシュカードがCOOLPIX 4500仕様にフォーマットされていません。	マルチセレクターの▲または▼で「フォーマットする」を選択し、マルチセレクターの中央部を押してカードをフォーマットするか、カメラの電源をOFFにして、適切なカードに交換してください。	13
メモリー残量がありません	画像を記録する空き容量がありません。	• 画質モード、または画像サイズを変更してください。 • 不要な画像を削除してください。 • 新しいカードに交換してください。	111 147 13
	プリント指定情報または転送画像設定情報を書き込む空き容量がありません。	不要な画像を削除して、再度プリント指定または転送画像設定をしてください。	159 161
画像を登録できません	• 画像の保存中にエラーが発生しました。 • フォルダまたはファイル番号のオーバーフローです。 • コンパクトフラッシュカードのフォーマットが異なります。	• 新しいコンパクトフラッシュカードに入れ換えるか、コンパクトフラッシュカードをフォーマットしてから連番モードをOFFにするか、リセットしてください。 • コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。	13 138 140
表示可能な画像がありません	全ての画像が非表示設定されています。	再生メニューで非表示設定を解除してください。	158
撮影画像がありません	コンパクトフラッシュカードに撮影された画像が入っていません。	• シャッターボタンを半押しするか、▶ボタンを押して撮影モードに戻り、画像を撮影してください。	26 29

液晶モニタの表示	原因	対処法	👁
このファイルは表示できません	パソコン、または他社のカメラで作成したファイルです。	•ファイルを削除してください。 •コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。	— 140
フォルダの削除ができません	フォルダ内にカメラで認識できないファイルか、プロテクト設定または非表示設定された画像があります。	•パソコンや他社製のカメラでファイルが上書きされた場合はファイルを削除するか、コンパクトフラッシュカードを再フォーマットしてください。 •プロテクト設定または非表示設定を解除してください。	140 157、158
ファイルの削除ができません	プロテクト設定された画像があります。	プロテクト設定を解除してください。	157
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	カメラの電源をOFFにして、バッテリーを取り出します（またはACアダプタを取り外します）。再度バッテリーを入れて、電源をＯＮにしてください。システムエラーの表示が続く場合は当社サービス部門までご連絡ください。	10
スピードライトがポップアップしていません	被写体が暗く、自動的に上がる内蔵スピードライトを指で押さえています。	内蔵スピードライトから指を離して、再度シャッターボタンを半押ししてください。	22

主な仕様

形式		ニコンデジタルカメラ E4500
有効画素数		4.0 メガピクセル
撮像素子		1/1.8 型高密度 CCD 総画素数：4.13 メガピクセル
	画像サイズ	•2272 × 1704 •1024 × 768 •1600 × 1200 •640 × 480 •1280 × 960 •2272 × 1520（3:2）
レンズ		4 倍ズームニッコール
	焦点距離	f = 7.85 〜 32.0mm（35mm 判換算 38 〜 155mm）
	絞り	F2.6 〜 F5.1
	レンズ構成	8 群 10 枚
電子ズーム		最大 4.0 倍
オートフォーカス(AF)		コントラスト検出方式 TTL AF、マルチエリアオートフォーカス可能
	撮影距離	30cm 〜∞（ズームのワイドポジションのみ 50cm 〜∞） （マクロ・マニュアルフォーカス時はレンズ前約 2 c m［ズームのミドルポジション］〜∞）
	AF エリア	5 カ所、自動選択 / 手動選択切り換え可能
ファインダー		実像式ズームファインダー、LED 表示
	倍率	0.34 〜 1.27
	視野率	約 80%
	視度調整機能	− 2 〜＋ 2m^{-1}
液晶モニタ		1.5 型低温ポリシリコン TFT 液晶、110,000 画素、輝度調節機能付き
	視野率（撮影時）	縦：約 97%　横：約 97%

記録形式		
	記録媒体	コンパクトフラッシュカード（Type I/II ） マイクロドライブ（1GB）
	画像ファイル	Design rule for Camera File Sysyem（DCF）、Exif2.2 準拠、Digital Print Order Format（DPOF）準拠
	ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline 準拠 FINE（約1/4）、NORMAL（約1/8）、BASIC（約1/16） 非圧縮：HI（TIFF-RGB） 動画：QuickTime
露出		
	測光方式	4 モード TTL 測光方式 •256 分割マルチ測光 •スポット測光 •中央部重点測光 •AF スポット測光
	露出制御	プログラムオート（プログラムシフト可能）、シャッター優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、露出補正（－2～＋2EV、1/3EVステップ）、オートブラケティング
	露出連動範囲（ISO100 換算）	EV － 2.2 ～＋ 17.0（広角側） EV － 0.3 ～＋ 18.1（望遠側）
シャッター		メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
	シャッタースピード	1 ～ 1/2300 秒（プログラムオート、シーンモード）、8 ～ 1/2300 秒（絞り優先オート）、8 ～ 1/2000 秒（シャッター優先オート）、最大5分までの長時間露出および 8 ～ 1/2000 秒（マニュアル露出）
絞り		7 枚羽根虹彩絞り
	絞りステップ数	10 段、1/3EV ステップ
撮像感度		ISO100 相当、感度切り換え可能（オート、ISO100、ISO200、ISO400、ISO800 相当）
セルフタイマー		約 10 秒または約 3 秒から選択可能

内蔵スピードライト	調光範囲：0.5～1.6m（T）、0.5～3m（W） 自動ポップアップ機能あり
調光方式	自動調光制御
増灯ターミナル	増灯ブラケットSK-E900を介してニコン35mm一眼レフ用スピードライトが使用可能（SB-80DX、30、28DX、28、26、25、24、22s、22にて増灯撮影が可能）
インターフェース	USB
ビデオ出力	NTSC、PALから選択可能
入出力端子	•DC入力端子 •オーディオビデオ（AV）出力端子 •デジタル端子（USB）
電源	•Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL1（付属）、6Vリチウム電池2CR5（DL245）（別売） •ACアダプタEH-53、ACアダプタ/バッテリーチャージャーEH-21（別売）
連続撮影時間	約100分（当社試験条件による［液晶モニタ点灯、撮影ごとにズーム操作、約3割のスピードライト撮影、2272×1704、NORMALモード］）
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
大きさ	130（W）×73（H）×50（D）mm
質量（重さ）	約360g（バッテリー、コンパクトフラッシュカードを除く）
使用条件	
温度	0～40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータはすべて常温（20℃）、付属の専用バッテリーEN-EL1をフル充電で使用時のものです。
- 電池の使用期間は、電池の種類および使用状況により異なりますのでご注意ください。撮影時間が短い場合があります。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

Nikon View 5 動作環境（Windows）

OS	Windows XP Home Edition/XP Professional、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition（Me）、Windows 98 Second Edition（SE）プリインストールモデル
機種	USB ポート内蔵機種のみ
CPU	Pentium 300MHz 以上
RAM（メモリ）	64MB 以上推奨
ハードディスク	Nikon View 5 インストール時に 25MB Nikon View 5 動作時に使用するコンパクトフラッシュカードの 2 倍＋ 10MB 以上の空き容量（起動ディスク）
解像度	800 × 600 ドット以上、16 ビットカラー以上
その他	インストール時に CD-ROM ドライブが必要

Nikon View 5 動作環境（Macintosh）

OS	Mac OS 9.0、9.1、9.2、Mac OS X（10.1.2 以降）
機種	iMac、iMac DV、Power Macintosh G3（Blue & White)、Power Mac G4 以降、iBook、Power Book G3（USB 内蔵モデル）以降
RAM（メモリ）	64MB 以上推奨
ハードディスク	Nikon View 5 インストール時に 25MB Nikon View 5 動作時に使用するコンパクトフラッシュカードの 2 倍＋ 10MB 以上の空き容量（起動ディスク）
解像度	800 × 600 ドット以上、16 ビットカラー以上
その他	インストール時に CD-ROM ドライブが必要

カスタマーサポートについて

■この製品の操作方法についてのお問い合わせは

この製品の操作方法について、さらにご質問がございましたら下記のニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

〒140 - 0015
東京都品川区西大井 1 - 4 - 25（コア・スターレ西大井第一ビル 2F）
ニコンカスタマーサポートセンター



TEL 0570 - 02 - 8000

受付時間：祝日を除く月〜金（9：30 〜 18：00）
＊このほか年末年始、夏期休暇など、都合により休業する場合があります。

- お電話は、市内通話料金でご利用いただけます。
- 全国共通電話番号「0570 - 02 - 8000」にお電話いただき、音声によるご案内にしたがってご利用の製品グループ窓口の番号を入力していただければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせていただきます。
- 携帯電話、PHS 等をご利用のお客様は、**03 - 5977 - 7033** におかけください。
- FAX でのご相談は、**03 - 5977 - 7499** におかけください。

■お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■製品の修理に関するお問い合わせは

〒140 - 8601
東京都品川区西大井 1 - 6 - 3
株式会社ニコン　大井サービス課
TEL　03 - 3773 - 2221　受付時間：祝日を除く月〜金（9：00 〜 17：45）
＊都合により休む場合があります。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行
TEL 0570 - 02 - 8000　　FAX 03 - 5977 - 7499

【お問い合わせ承り書】太枠内のみご記入ください。

お問い合わせ年月日：　　　　年　　月　　日

お買い上げ年月日：　　　　年　　月　　日

製品名：　　　　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　□会社
〒

TEL：
FAX：

ご使用のパソコンの機種名：
メモリ容量：　　　　ハードディスクの空き容量：
OS のバージョン：　　　　ご使用のインターフェースカード名：
その他接続している周辺機器名：
ご使用のアプリケーションソフト名：
ご使用の当社ドライバソフトウェアのバージョン：

問題が発生したときの症状、表示されたメッセージ、症状の再現：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください。）

※このページはコピーしてお使いください。　整理番号：

索引



索引

英数・マーク

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

Nikon

■アフターサービスのご案内

■技術的なお問い合わせのご案内

内容および操作に関する技術的なお問い合わせは、下記ニコンカスタマーサポートセンターをご利用ください。

＜ニコンカスタマーサポートセンター＞

140-0015　東京都品川区西大井1-4-25（コア・スターレ西大井第一ビル2階）



0570-02-8000
市内通話料金でご利用いただけます。

全国共通電話番号「0570-02-8000」にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用の製品グループ窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

営業時間　9:30～18:00（土・日曜日・祝日を除く毎日）

・このほか年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033**におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499**におかけください。

株式会社ニコン

Printed in Japan
SB3B00500501(10)
6MAA2310-04